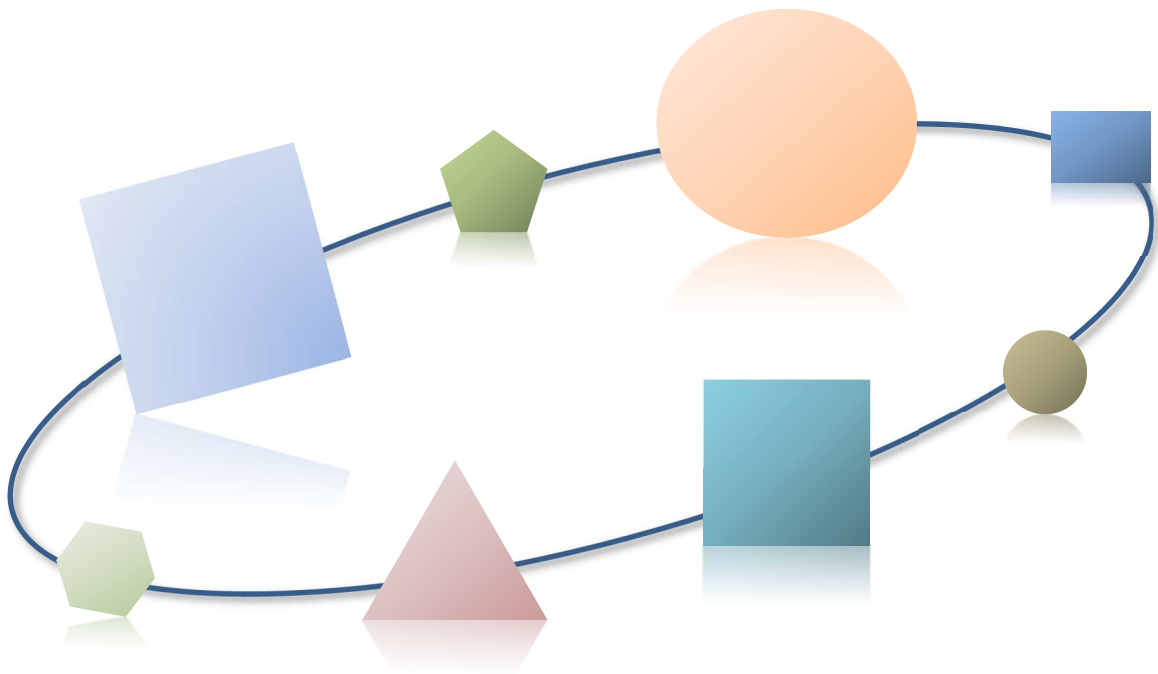


令和 2 年度
蒲郡市公共施設白書



令和 3 年 3 月
蒲郡市

目 次

第1章 はじめに.....	1
1-1 背景	1
1-2 本白書作成の目的	1
第2章 蒲郡市の概要.....	3
2-1 蒲郡市の概況	3
2-2 人口の推移・目標人口	4
2-3 財政状況の推移	5
2-4 公共施設の保有状況	8
2-5 将来の維持更新費用	11
2-6 公共施設整備状況比較	15
第3章 施設用途ごとにみた現状と課題.....	20
3-1 庁舎等施設（庁舎・車庫）	26
3-2 公民館等施設（市民会館、公民館）	29
3-3 生涯学習施設（博物館等、図書館）	36
3-4 運動・公園施設（スポーツ施設等、公園）	39
3-5 学校教育施設（小学校、中学校、専門学校、その他（学校教育））	45
3-6 児童福祉施設（保育園、児童館）	56
3-7 保健・福祉施設（福祉センター等）	69
3-8 衛生施設（ごみ処理施設等）	73
3-9 公営住宅施設（公営住宅）	75
3-10 観光施設（観光施設）	80
3-11 消防・防災施設（消防署、消防資機材庫等）	84
3-12 その他施設（駅周辺施設、その他）	87
第4章 地区別にみた公共施設の現状.....	90
4-1 地区の定義	90
4-2 各地区の人口構成と公共施設保有量	91
4-3 大塚地区の現状	92
4-4 三谷地区の現状	97
4-5 蒲郡北地区の現状	102
4-6 蒲郡南地区の現状	108
4-7 塩津地区の現状	114
4-8 形原地区の現状	119
4-9 西浦地区の現状	124

第1章 はじめに

1-1 背景

蒲郡市には、学校や公民館、文化施設など、様々な公共施設が整備されています。しかし、近年、建物自体の老朽化、市民のニーズの多様化、少子高齢化の進展などにより、各施設を取り巻く環境は日々変化しつつあります。

本市が保有する施設はモーターボート競走会館からの繰入金が増えた昭和 50 年代までに整備されたものが多く、近い将来、一定期間に大規模改修や建替えが集中することが想定され、既存の施設を現状のまま維持するには多額の費用が必要になることが見込まれます。

また、人口減少、少子高齢化による世代構成の変化の中で、社会が公共施設に求めるニーズが大きく変化し、高度経済成長期の整備時に想定した設置目的が、現在のニーズに即していない可能性があります。このような状況の中で、財政状況や社会情勢の変化を考慮し、将来の公共施設のあるべき姿を検討する必要があります。

さらに近年、南海トラフ地震の発生が高い確率で予想されていることや、豪雨災害が激甚化する傾向にあることから、防災対策の観点からも検討を行う必要があります。

1-2 本白書作成の目的

公共施設白書は、本市が所有している公共施設について、現状と課題をありのままに示すものです。

本白書は、上記の背景に基づき、将来の公共施設のあるべき姿を検討するための基礎資料とするために、平成 26 (2014) 年度にはじめて策定をした蒲郡市公共施設白書（以下「前白書」と表記します。）の内容を改訂したものです。

前白書を策定して以降、公共施設の状況も変化していることから、本白書では改めて直近のデータを整理しています。

【本白書をご覧くださいにあたっての注意点】

- ・公共施設の現状については、令和元（2019）年度末時点の値を用いています。ただし、全国や他の自治体との比較の際に用いている公共施設面積等は、比較が可能な年度である平成 30（2018）年度末時点の値を用いています。
- ・本白書に掲載している数値は、表示単位未満を四捨五入して掲載しています。そのため表示数値の合計は合計値と一致しない場合があります。
- ・体育施設や公園において、複数の施設を一括した形で指定管理を行っている場合は、施設ごとの経費を費用に応じて按分して掲載しています。

第2章 蒲郡市の概要

2-1 蒲郡市の概況

- ・ 本市は本州のほぼ中心に位置し、渥美半島と知多半島に囲まれた温暖な気候の海辺の街です。温暖な気候を生かしたハウスみかん栽培が盛んで、日本有数の出荷量を誇ります。
- ・ 昭和 29（1954）年に三谷町・蒲郡町・塩津村が合併し、市制が施行されました。昭和 30（1955）年に大塚村の大字相楽・大塚地区、昭和 37（1962）年に形原町、昭和 38（1963）年に西浦町が合併し、現在に至っています。（各市町村・地区の呼称は合併当時のものです。）
- ・ 海辺のテーマパーク、温泉、ボートレース場を有する本市には、観光や娯楽を目的に市外より多くの方が訪れます。
- ・ 現在、国道 23 号蒲郡バイパスの整備が進んでおり、蒲郡インターチェンジから西の区間が開通したことで、西三河地域や名古屋圏との相互交通アクセスが一層容易となりました。蒲郡インターチェンジから東の区間についても、工が進んでいます。
- ・ 古くからの漁師町や、繊維工業で栄えたまちを起源としており、限られた平地部に集中して市街地が形成されています。また J R 東海道本線、名鉄蒲郡線などの公共交通も充実しており、コンパクトな都市となっています。

図 2-1 蒲郡市の概況

人口 (H27(2015)国勢調査)	81,100 人
世帯数 (H27(2015)国勢調査)	29,950 世帯
財政力指数 (R1(2019)年度)	0.88
歳入総額（普通会計） (R1(2019)年度決算)	342.1 億円
歳出総額（普通会計） (R1(2019)年度決算)	317.9 億円



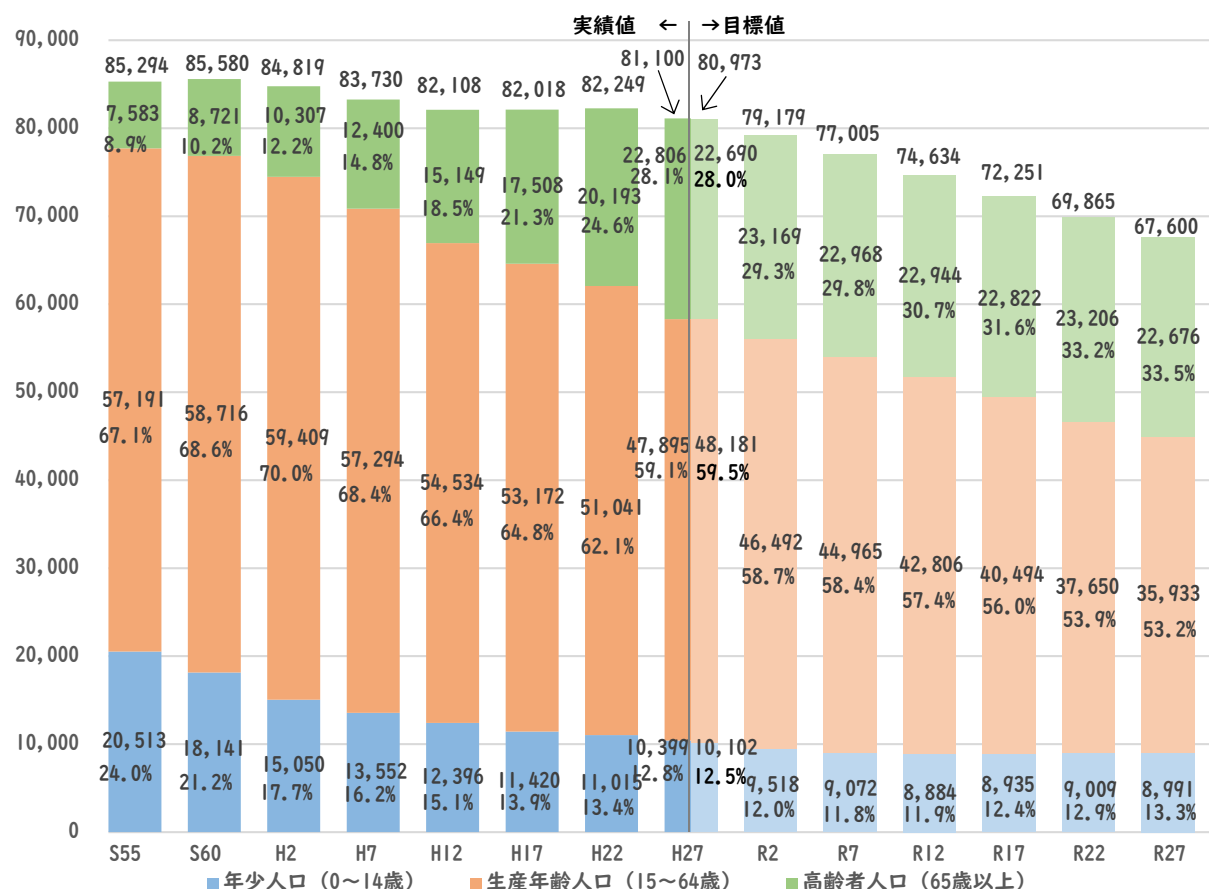
出所：国勢調査、地方公共団体の主要財政指標一覧、蒲郡市決算統計資料

2-2 人口の推移・目標人口

- ・ 人口は、昭和 60（1985）年以降緩やかに減少を続けており、平成 27（2015）年現在で 81,100 人となっています。
- ・ 平成 22 年国勢調査をもとに平成 28（2016）年 3 月に市が策定をした蒲郡市まち・ひと・しごと創生人口ビジョンにおいて、令和 27（2045）年の目標人口は 67,600 人としています。
- ・ 目標人口の年齢階層別の内訳をみると、平成 27（2015）年から令和 27（2045）年の間に、生産年齢人口は 47,895 人（59.1％）から 35,933 人（53.2％）に減少する見込みであり、これに伴う税収減などが見込まれます。一方で、高齢者人口は 22,806 人（28.1％）から 22,676 人（33.5％）と、比率が上昇する見込みで、将来は現在よりも少ない生産年齢人口で高齢者を支える構造となります。

このような状況下では、人口減少に伴う余剰施設の発生や、高齢化に伴う公共施設の利用ニーズの変化が想定されます。今後これらに見合った公共施設の再編や用途の転用が必要になると考えられます。

図 2-2 人口の推移・目標人口



※実績値は各年の国勢調査の結果（年齢不詳按分済）をもとに作成しています。

※目標値は蒲郡市まち・ひと・しごと創生人口ビジョン（平成 22（2010）年国勢調査をもとに平成 28（2016）年 3 月に策定）をもとに作成しています。

※平成 27（2015）年のデータについては、実績値と目標値を併記しています。

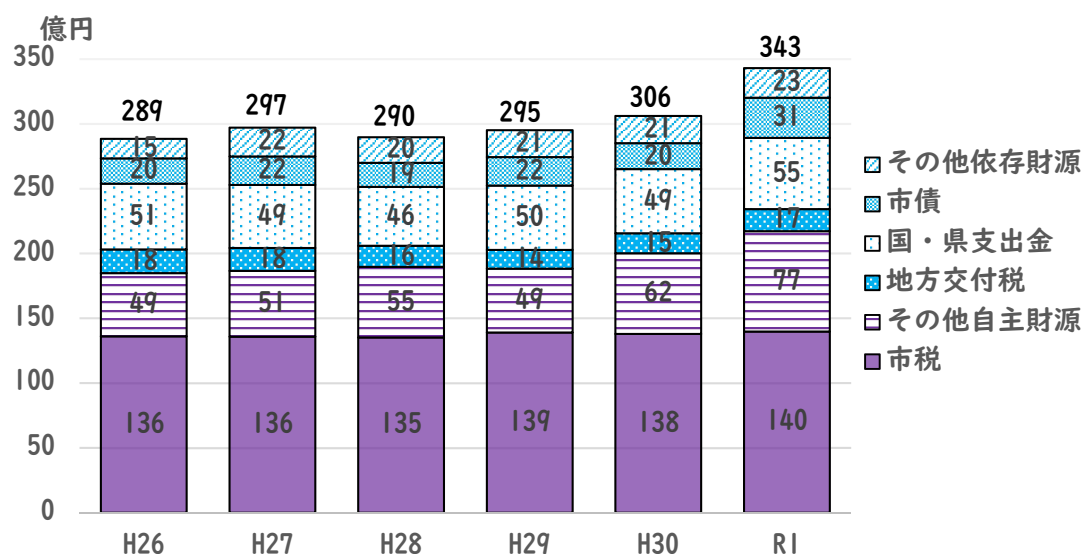
出所：蒲郡市まち・ひと・しごと創生人口ビジョン、国勢調査

2-3 財政状況の推移

2-3-1 歳入の推移（普通会計）

- ・ 普通会計における歳入総額は、平成 26（2014）年度から 30（2018）年度にかけて 280 億円から 310 億円の間に推移しています。なお、令和元（2019）年度は小中学校の教室への空調整備に対応する国・県支出金や市債の増加等により歳入が増加しており、約 343 億円となっています。
- ・ 国・県支出金や地方交付税等の依存財源の歳入は歳入総額の 3～4 割程度を占め、100 億円から 130 億円の間に推移しています。
- ・ 市税やその他自主財源については、180 億円から 220 億円の間に推移しています。しかしながら、将来の人口減少により、これらの自主財源の確保は今後厳しくなると想定されます。

図 2-3 歳入状況（普通会計決算）



出所：地方財政状況調査、蒲郡市決算統計資料

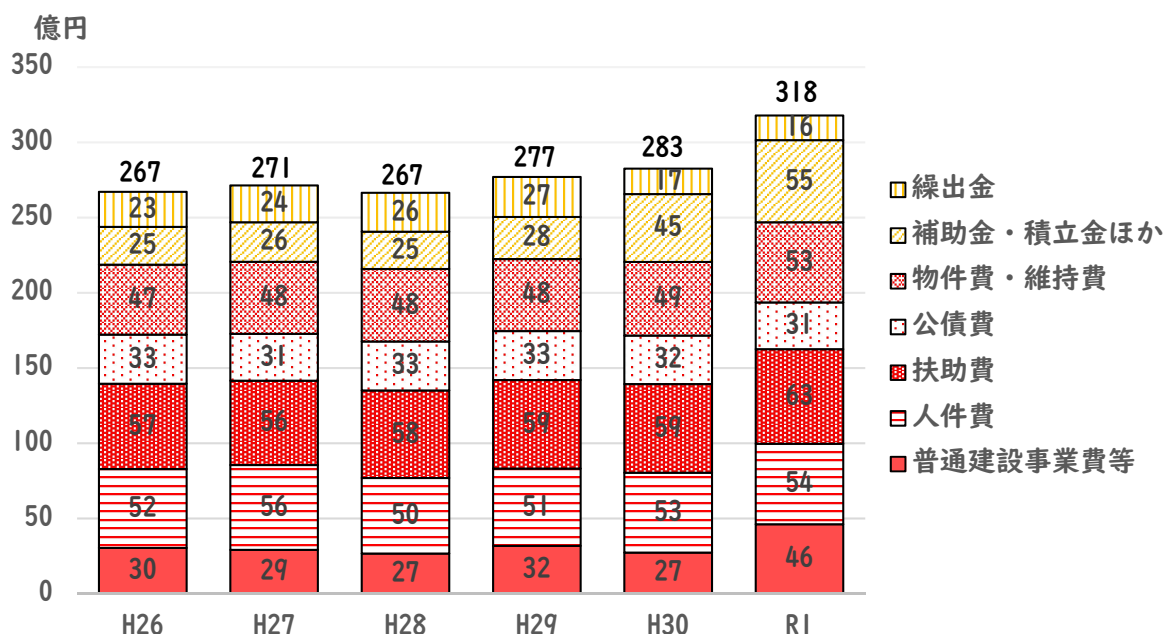
【歳入に関わる語句の説明】

- 普通会計
地方公共団体ごとに各会計に包含する予算内容が異なっているため、財政状況の統一的な把握及び比較するための統計上用いられる会計区分。公営事業会計以外の会計を総合して一つの会計としてまとめたものを指す。
- その他依存財源
地方交付税、国・県支出金、市債以外の、政府や県によって定められた額を交付される財源。地方譲与税、地方消費税交付金、自動車取得税交付金、地方特例交付金等。
- 市債
地方公共団体の長期借入金（年度を超えて元利を償還する借入金）のことをいう。
- 国・県支出金
国庫支出金（国と地方公共団体の経費負担区分に基づき、国が地方公共団体に対して支出する負担金、委託費、特定の施策の奨励又は財政援助のための補助金等）および県支出金（県の市町村に対する支出金）。
- 地方交付税
地方公共団体の自主性を損なわず、地方財源の均衡化を図り、かつ地方行政の計画的な運営を保障するために国税の一定割合の額を国が地方公共団体に交付する税のこと。普通交付税と災害等特別の事情に応じて交付される特別交付税がある。
- その他自主財源
市税以外の、市が自らの権限で収入しうる財源。使用料、手数料、財産収入、寄附金、繰入金等。
- 市税
住民税、固定資産税、都市計画税等の地方税。

2-3-2 歳出の推移（普通会計）

- ・ 普通会計における歳出総額は、平成 26（2014）年度から 30（2018）年度にかけて 260 億円から 290 億円で推移しています。なお、令和元（2019）年度は小中学校の教室への空調整備等のため、歳出総額は約 318 億円に増えています。
- ・ 費目別に見ると扶助費は増加傾向にあり、高齢化が進むことを踏まえると、将来はさらに扶助費の増加が考えられ、財政状況を圧迫する要因となることが想定されます。
- ・ 普通建設事業費等については、令和元（2019）年度の特異的な歳出を除き、30 億円前後を維持しています。しかしながら、今後想定される扶助費の増加によっては、その影響により普通建設事業費等が維持できない可能性もあります。

図 2-4 歳出状況（普通会計決算）



出所：地方財政状況調査、蒲郡市決算統計資料

【歳出に関わる語句の説明】

- 繰出金
普通会計と公営事業会計との間又は特別会計相互間において支出される経費。また、基金に対する支出のうち、定額の資金を運用するためのものも繰出金に含まれる。なお、法非適用の公営企業に対する繰出も含まれる。
- 補助費・積立金ほか
補助費（他の地方公共団体や国、法人等に対する支出）や積立金、投資及び出資金、貸付金。
- 物件費・維持費
物件費（臨時職員の人件費、維持補修費、扶助費、補助費等以外の地方公共団体が支出する消費的（支出の効果が単年度または極めて短期的なもの）な費用の総称）、および維持補修費（公共施設等の管理に必要な費用）。
- 公債費
地方公共団体が発行した地方債の元利償還等に要する経費（地方自治体の借入金の返済にかかる経費）。
- 扶助費
社会保障制度の一環として、児童・高齢者・障害者等に対する支援に要する経費。児童手当・医療費助成、生活保護費、介護保険給付費等。
- 人件費
議員報酬、職員給与、その他報酬の額。
- 普通建設事業費等
普通建設事業費（公共施設等の整備を行う際の経費）や、災害復旧事業費、失業対策事業費。

2-3-3 公共施設に係る経費の推移（普通会計）

- ・ 普通会計施設の維持や整備に係る経費（整備や改修のための工事費や修繕費、工事のための設計業務委託料等）を、支出データから拾い上げ、下の表のとおり公共施設に係る経費をまとめました。
- ・ 経費の推移をみると、令和元（2019）年度は小中学校の教室に空調設備を整備したため金額が大きくなっていますが、6ヵ年度平均では約11.7億円となっています。
- ・ 今後加速が予想される高齢化や生産年齢人口の減少を考慮すると、歳出の推移でみたように、扶助費の増加は続いていくと考えられる一方、歳入については同じような増加が見込めないことから、公共施設に係る経費を維持することが難しくなることが想定されます。

図 2-5 公共施設に係る経費の推移

年度	公共施設に係る経費（千円） ※カッコ内は歳出総額に占める割合
平成 26 年	738,048 (2.8%)
平成 27 年	1,034,558 (3.8%)
平成 28 年	981,529 (3.7%)
平成 29 年	978,420 (3.5%)
平成 30 年	836,778 (3.0%)
令和元年	2,474,565 (7.8%)
平均	1,173,983 (4.2%)

出所：財務課調べ

2-4 公共施設の保有状況

- ・ 令和元（2019）年度末現在、本市では、会計が独立している公営事業会計施設を含め、総施設数 280、延床面積 387,791 ㎡の公共施設を保有しています。普通会計施設では、総施設数 256、延床面積 297,513 ㎡となっています。
- ・ 施設数としては運動・公園施設や消防・防災施設が多くなっていますが、これらの施設の建築物は規模の小さいものが多く、延床面積では学校教育施設が最も多くなっています。

図 2-6 公共施設保有状況

大分類		中分類	総施設数	総面積 (㎡)	延床面積合計 (㎡)
普通会計施設	庁舎等施設	庁舎・車庫	1	19,817	19,817
	公民館等施設	市民会館	1	13,233	22,146
		公民館	11	8,913	
	生涯学習施設	博物館等	2	5,661	7,667
		図書館	1	2,006	
	運動・公園施設	スポーツ施設等	22	15,449	16,702
		公園	36	1,062	
		児童遊園地等	27	191	
	学校教育施設	小学校	13	77,803	141,142
		中学校	7	55,229	
		専門学校	1	4,418	
		その他(学校教育)	1	3,692	
	児童福祉施設	保育園	16	15,260	18,746
		児童館	7	3,486	
	保健・福祉施設	福祉センター等	8	16,671	16,671
	衛生施設	ごみ処理施設等	4	11,587	11,587
	公営住宅施設	公営住宅	9	24,384	24,384
	観光施設	観光施設	15	4,257	4,257
	消防・防災施設	消防署	3	5,805	8,779
		消防資機材庫等	57	2,974	
	その他施設	駅周辺施設	6	797	5,616
		その他	4	1,969	
		臨時・不使用施設	4	2,850	
	普通会計施設合計			256	297,513
公営事業 会計施設	病院施設		1	29,199	29,199
	ボートレース施設		1	48,023	48,023
	水道施設		16	2,245	2,245
	下水道施設		6	10,811	10,811
	公営事業会計施設合計			24	90,278
全施設合計			280	387,791	

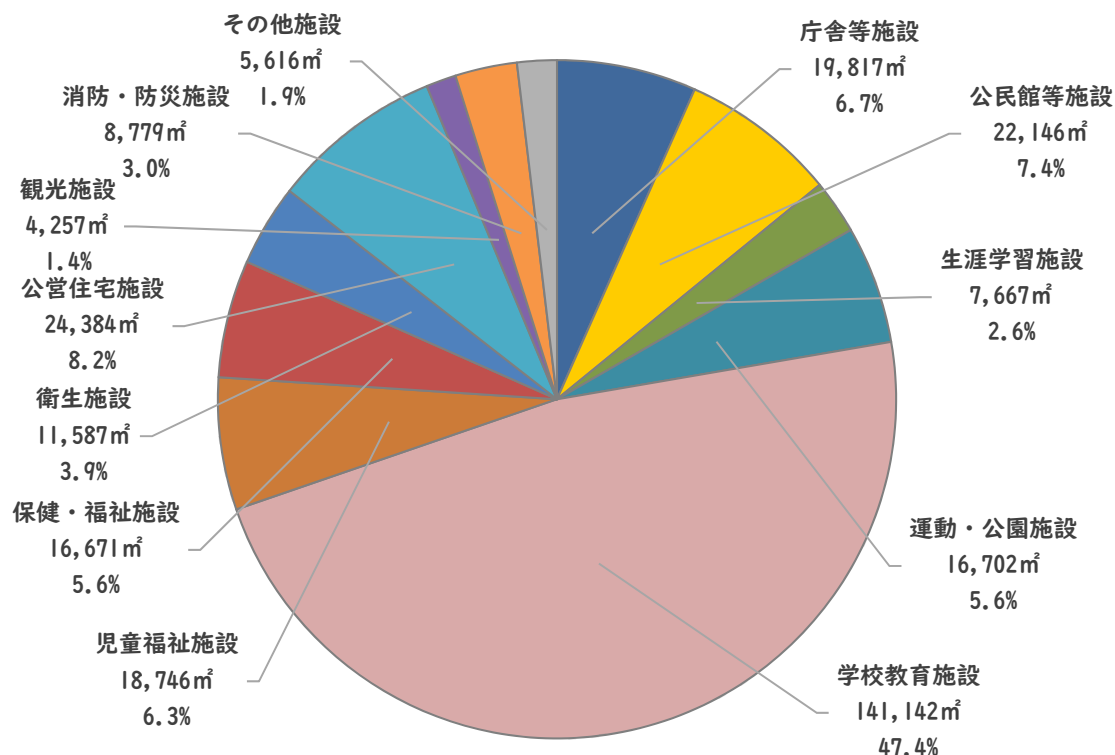
※面積については、小数点以下を四捨五入しています。

※公園や児童遊園地等については、公衆トイレや小屋等建築物といった建築物が対象で、建築物がない施設については、施設数として計上していません。

2-4-1 用途別保有状況

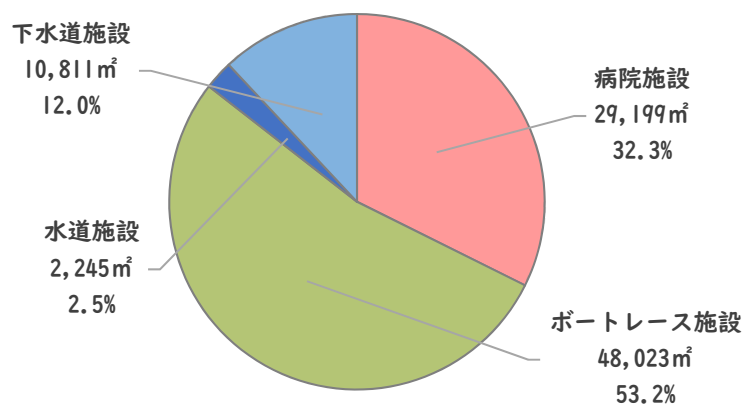
- ・ 普通会計施設における用途別延床面積の内訳を見ると、学校教育施設が141,142㎡で全体の47.4%を占めており、学校教育施設だけで普通会計施設全体の半数近くの床面積を占めています。
- ・ 学校教育施設に次いで多いのは、公営住宅施設が24,384㎡で全体の8.2%、公民館等施設が22,146㎡で全体の7.4%となっています。

図 2-7 施設用途別の建物延床面積の内訳（普通会計施設）



出所：蒲郡市公共施設一覧

図 2-8 （参考）施設用途別の建物延床面積の内訳（公営事業会計施設）



出所：蒲郡市公共施設一覧

2-4-2 築年別整備状況

- ・ 普通会計施設の築年別整備状況を見ると、昭和 44（1969）年度までに建設された建物が 22.6%、昭和 45（1970）年度から昭和 54（1979）年度に建設された建物が 36.9%を占め、築 40 年以上の建物が全体の 59.5%を占めています。
- ・ 築 40 年以上の建物が高い割合を占める背景には、この時期に学校教育施設（小・中学校）の建物が多く建設されてきたこと、昭和 48 年度に公民館等施設である市民会館が建設されたことが挙げられます。学校教育施設については 73.8%が築 40 年を超えています。
- ・ 築 30 年以上の建物は全体の 73.1%を占めており、これらの建物は今後、老朽化による大規模修繕や建替えにより多くのコストがかかることが想定されます。

図 2-9 築年別整備状況（延床面積）（普通会計施設）

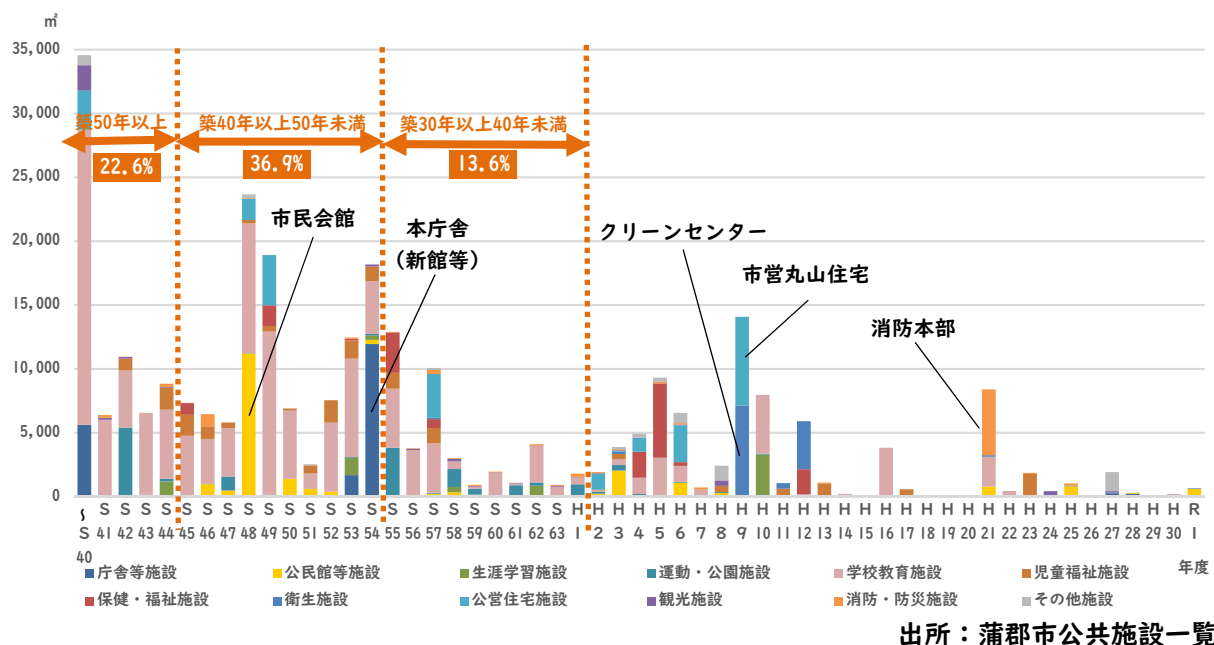
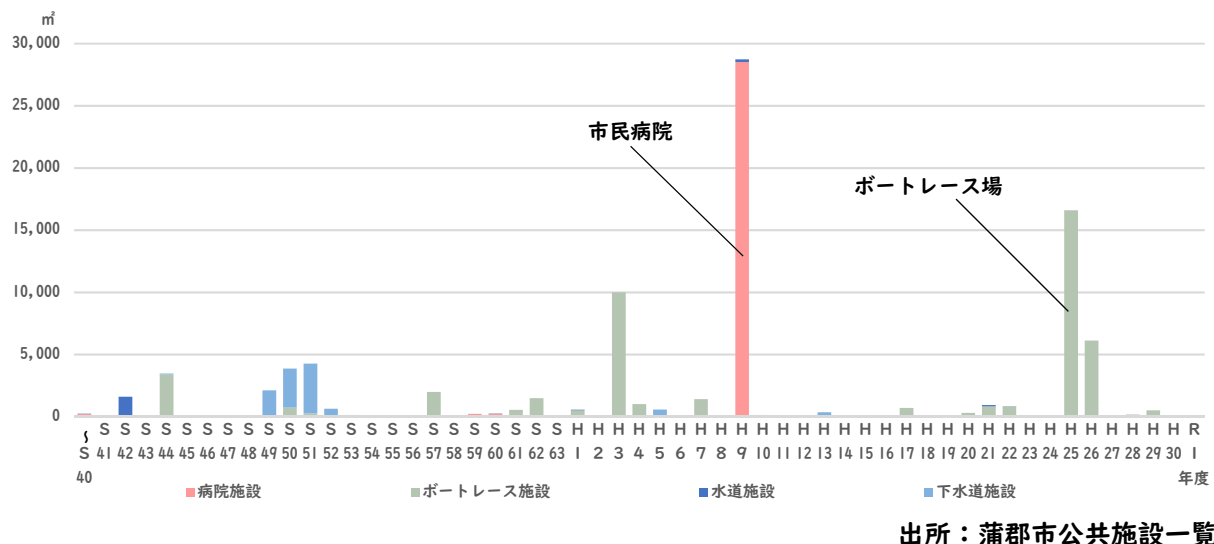


図 2-10 （参考）築年別整備状況（延床面積）（公営事業会計施設）

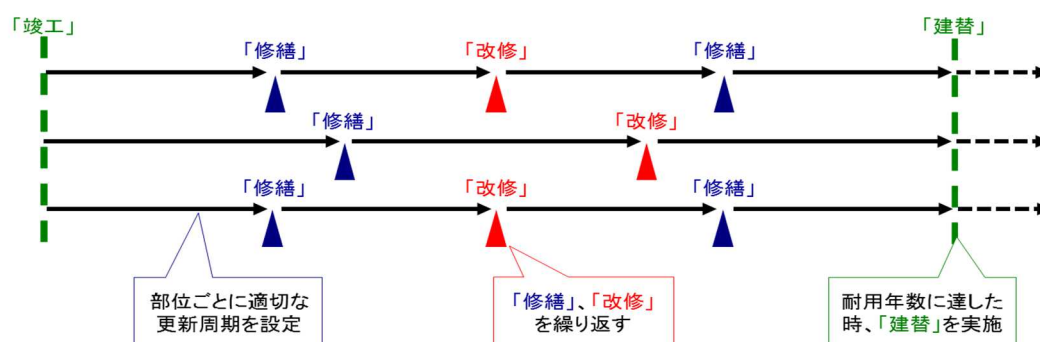


2-5 将来の維持更新費用

本市の公共建築物を、既存のまま維持する場合に必要な将来の修繕・改修・建替費用を試算します。推計にあたり、修繕、改修、建替の定義は以下のとおりとします。将来の維持更新費用シミュレーションでは、下記の修繕・改修・建替を設定した周期ごとに実施すると仮定して、費用を算出します。

図 2-11 修繕・改修・建替の定義

	定義
修繕	比較的軽微な工事。屋根や壁の塗り替え、設備のオーバーホールなど、部材・部品の交換を必要としないものを指す。
改修	部材・部品の交換を必要とするものを指し、大規模改修などが該当する。
建替	新たな施設に建替える。



① 対象施設

本推計の対象施設は普通会計施設のうち、臨時・不使用施設を除く施設としますが、参考までに公営事業会計施設についても同様に算出した費用を掲載しています。

② 耐用年数・設定単価

標準的な改修周期、建替周期は、それぞれ 30 年、60 年と設定しました。あわせて、標準的なシナリオと比較するため、建物を長持ちさせる「長寿命化」を図るシナリオも設定しました。長寿命化を図るシナリオでは、日本建築学会「建築物の耐久計画に関する考え方」において、鉄筋コンクリート造の主要な建物の目標耐用年数は 50～80 年とされていることから、建替周期を 80 年と設定しました。

建替単価は、建物用途ごとに設定しました。また修繕・改修単価は、部位ごとに個別に設定し、各部位・設備の数量は、施設用途、延床面積、階数から推計し算出しました。

図 2-12 長寿命化のイメージ

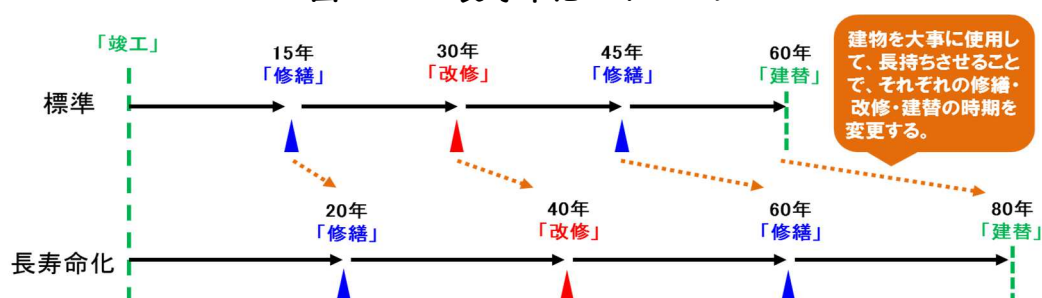


図 2-13 建物用途ごとの建替単価

建物用途	建替単価	出所
小規模事務庁舎（公民館、児童館等）	346,800 円	※ 1
中規模事務庁舎（生きがいセンター、竹島水族館等）	342,600 円	※ 1
大規模事務庁舎（本庁舎、保健医療センター等）	328,700 円	※ 1
学校校舎（小中学校・専門学校の校舎）	258,800 円	※ 1
学校体育館（小中学校・看護専門学校の体育館）	278,600 円	※ 1
中層住宅（8 階未満の市営住宅等）	240,300 円	※ 1
高層住宅（8 階以上の市営住宅）	244,800 円	※ 1
文化ホール（市民会館のホール棟・東ホール棟）	460,000 円	※ 2
室内競技場（市民体育センターの競技場）	436,300 円	※ 2
公衆トイレ（公衆トイレ）	653,100 円	※ 2
倉庫（倉庫、車庫等）	168,900 円	※ 2

※「出所※ 1」の建物用途の建替単価は「建築物のライフサイクルコスト」（国土交通省大臣官房官庁営繕部監修）に掲載された数値を用いています。「出所※ 2」の建物用途の建替単価は同書に掲載されていないため、本市及び近隣自治体の類似施設の新築工事における工事単価の平均値で設定しています。

③ 将来の維持更新費用シミュレーション（シナリオの設定）

各シナリオの概要は以下のとおりです。まず、建物の標準的な耐用年数として 60 年と設定したシミュレーションを行います。続いて、比較のため長寿命化を念頭においたシナリオも設定し、将来のライフサイクルコストを把握します。

シナリオ 1 は、修繕周期 15 年、改修周期 30 年、建替周期 60 年と周期を設定する標準的なシナリオです。

もうひとつ、標準的なシナリオと比較するために、修繕周期 20 年、改修周期 40 年、建替周期 80 年とするシナリオ 2 を設定しました。シナリオ 2 では長寿命化を前提とし、各建物を最大限長く供用した場合の費用を算出します。

図 2-14 標準的なシナリオ 1 における周期設定

メニュー	周期	考え方
修繕	15 年	メーカーが推奨する各部位・設備の推奨する周期を参考とし、設定。ただし、メーカーが推奨する年数は 10 年程度となっているものも多いものの、10 年ごとに修繕を行なうことは費用面から現実的でない判断し、ここでは 15 年と設定。
改修	30 年	建物の耐用年数に到達する 60 年間の間に一度、大規模改修を行うものと設定。
建替	60 年	建物の標準的な耐用年数として、60 年と設定。

図 2-15 長寿命化を前提としたシナリオ 2 における周期設定

メニュー	周期	考え方
修繕	20 年	推奨される周期より間隔を長く設定したもの。既存の部位・設備をなるべく大事に活用することで間隔を延ばすことを想定したシナリオ。
改修	40 年	建物の耐用年数に到達する 80 年間の間に 1 度、大規模改修を行うものと設定。
建替	80 年	長寿命化を図り、80 年間供用すると設定。

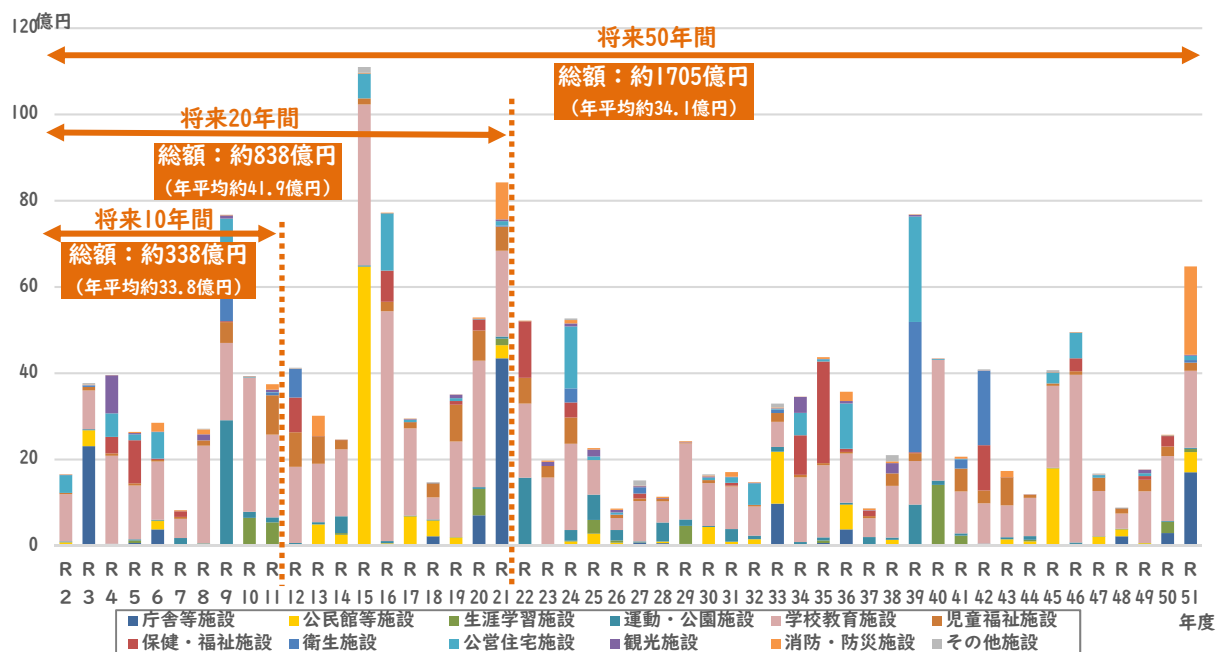
④ シミュレーション結果

【標準的なシナリオⅠにおけるライフサイクルコスト算出結果】

11 ページの設定に基づいた、建替周期 60 年における普通会計施設（臨時・不使用施設を除く）のライフサイクルコストは、将来 50 年間では 1 年あたり平均約 34.1 億円、将来 10 年間では約 33.8 億円、将来 20 年間では約 41.9 億円と推計されています。令和 15（2033）年度は 110 億円を超える結果となっています。

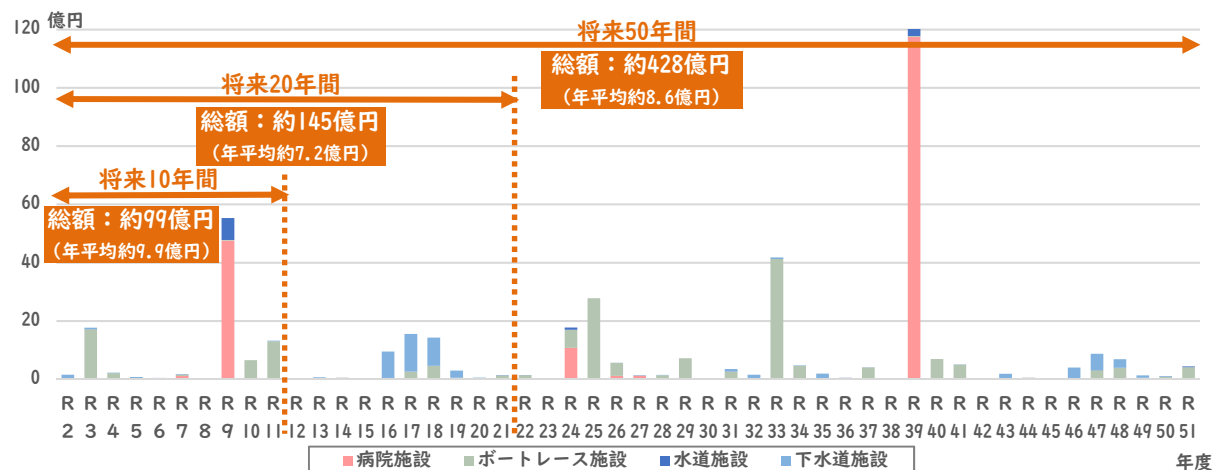
将来 50 年間における 1 年あたり平均費用は最近 6 カ年度における公共施設に係る経費の年度平均（約 11.7 億円）を上回る結果となっています。

図 2-16 標準的なシナリオにおける将来費用（普通会計施設）



期間	年あたり平均費用	合計費用
将来 10 年間	約 33.8 億円	約 338 億円
将来 20 年間	約 41.9 億円	約 838 億円
将来 50 年間	約 34.1 億円	約 1,705 億円

図 2-17 （参考）標準的なシナリオにおける将来費用（公営事業会計施設）

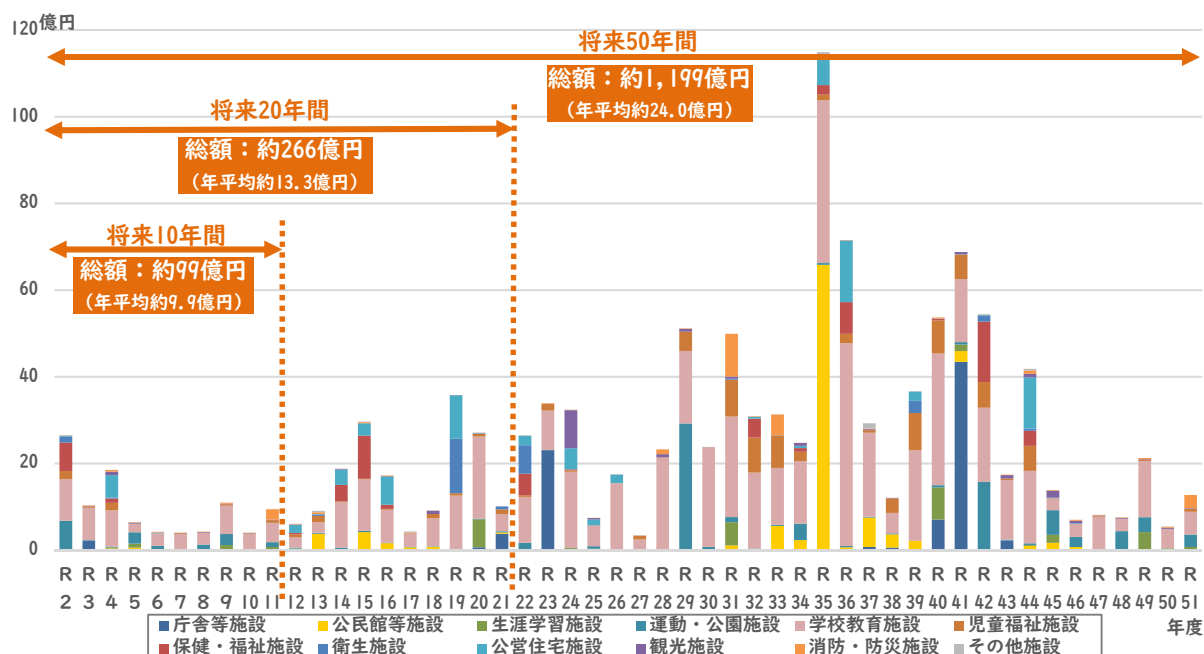


【長寿命化を前提としたシナリオ 2 におけるライフサイクルコスト算出結果】

11 ページの設定に基づいた、建替周期 80 年における普通会計施設（臨時・不使用施設を除く）のライフサイクルコストは、将来 50 年間では 1 年あたり平均約 24 億円、将来 10 年間では平均約 9.9 億円、将来 20 年間では約 13.3 億円と推計されています。仮に既存の施設を全て長寿命化すると、標準的なシナリオ 1 と比較して、将来 50 年間で 1 年あたり約 10.1 億円の費用削減が可能であることがわかります。

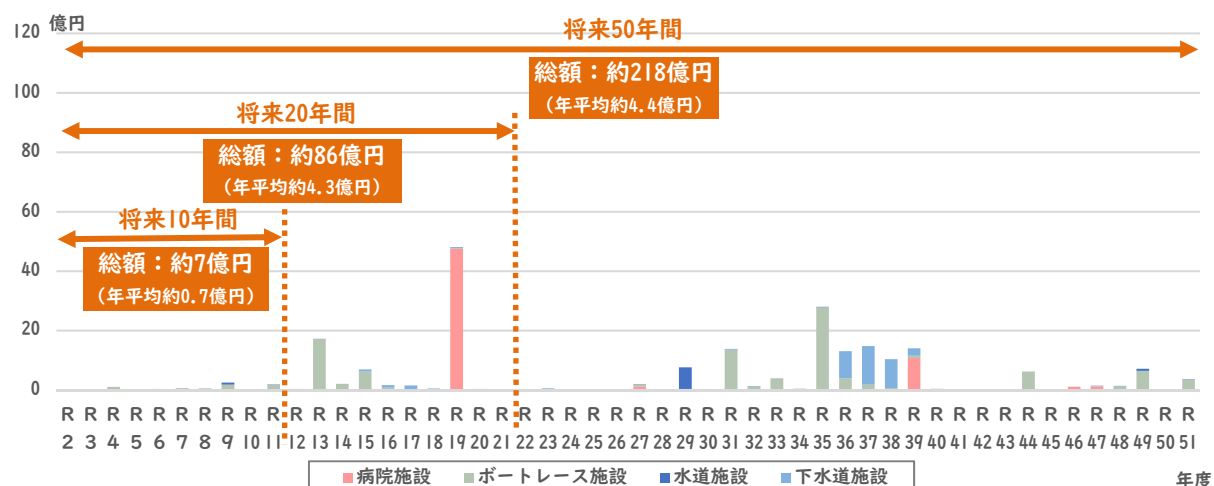
ただし、このような長寿命化を図った場合においても、将来 50 年間における 1 年あたり平均費用は最近 6 カ年度における公共施設に係る経費の年度平均（約 11.7 億円）を上回る結果となっています。

図 2-18 長寿命化を前提としたシナリオにおける将来費用（普通会計施設）



期間	年あたり平均費用	合計費用
将来 10 年間	約 9.9 億円	約 99 億円
将来 20 年間	約 13.3 億円	約 266 億円
将来 50 年間	約 24.0 億円	約 1,199 億円

図 2-19（参考）長寿命化を前提としたシナリオにおける将来費用（公営事業会計施設）



2-6 公共施設整備状況比較

本節では、全国との比較により、本市の公共施設の整備状況を把握します。なお、病院施設やボートレース施設等の公営事業会計施設については、自治体によって施設の有無など状況が大きく異なり、人口規模等を踏まえた整備状況の比較には適さないため、本節では、統計上の比較が可能な普通会計施設を対象に整備状況の比較を行います。

2-6-1 全国における整備状況の比較

- ・本市の人口1人あたりの公共施設面積（3.82 ㎡/人）は、全国平均（3.83 ㎡/人）とほぼ同水準となっています。
- ・本市の可住地面積あたりの公共施設面積（78.1 ㎡/ha）は、全国平均（39.7 ㎡/ha）の約2倍の大きさとなっています。

図 2-20 全国の公有財産整備状況との比較

	蒲都市	全国
人口（人）	81,100	127,094,745
総面積（ha）	5,692	37,297,089
可住地面積（ha）	3,966	12,263,430
公共施設面積（㎡）	309,801	486,665,197
人口1人あたり公共施設面積（㎡/人）	3.82	3.83
可住地面積あたりの公共施設面積（㎡/ha）	78.1	39.7
人口1人あたり庁舎面積（㎡）	0.199	0.140
人口1人あたり公営住宅面積（㎡）	0.301	0.739
人口1人あたり小中学校面積（㎡）	1.64	1.36

※人口は平成27（2015）年国勢調査の結果をもとに掲載しています。

※総面積・可住地面積は平成30（2018）年の値を掲載しています。

※公共施設面積、庁舎面積、公営住宅面積、小中学校面積は、全国との比較が可能な平成30（2018）年度末の値を掲載しています。

※本市の庁舎面積は駐車場棟や車庫を除いています。

出所：国勢調査、統計でみる市区町村のすがた、公共施設状況調

2-6-2 愛知県内の市との整備状況の比較

- ・本市の人口1人あたりの公共施設面積（3.82 m²/人）は県内の市でも6番目に大きく、県内の市の平均（3.56 m²/人）を上回っています。

図 2-21 県内 38 市（1人あたり公共施設面積順）との比較

順位	市名	公共施設面積 (m ²)	人口 (人)	1人あたり公共施設 面積 (m ² /人)
1	田原市	397,563	62,364	6.37
2	新城市	279,183	47,133	5.92
3	名古屋市	10,144,840	2,295,638	4.42
4	常滑市	247,340	56,547	4.37
5	豊田市	1,702,601	422,542	4.03
6	蒲郡市	309,801	81,100	3.82
7	刈谷市	563,627	149,765	3.76
8	弥富市	154,665	43,269	3.57
9	みよし市	220,937	61,810	3.57
10	愛西市	224,257	63,088	3.55
11	豊橋市	1,262,557	374,765	3.37
12	知多市	283,758	84,617	3.35
13	碧南市	237,950	71,346	3.34
14	豊川市	606,205	182,436	3.32
15	半田市	388,059	116,908	3.32
16	津島市	205,815	63,431	3.24
17	東海市	358,793	111,944	3.21
18	西尾市	537,270	167,990	3.20
19	岡崎市	1,139,210	381,051	2.99
20	安城市	549,090	184,140	2.98
21	稲沢市	402,128	136,867	2.94
22	清須市	196,107	67,327	2.91
23	一宮市	1,081,427	380,868	2.84
24	小牧市	423,798	149,462	2.84
25	あま市	243,964	86,898	2.81
26	大府市	248,741	89,157	2.79
27	犬山市	203,736	74,308	2.74
28	長久手市	155,651	57,598	2.70
29	瀬戸市	342,872	129,046	2.66
30	高浜市	116,252	46,236	2.51
31	北名古屋市	202,717	84,133	2.41
32	豊明市	163,325	69,127	2.36
33	尾張旭市	189,901	80,787	2.35
34	春日井市	717,254	306,508	2.34
35	日進市	203,952	87,977	2.32
36	知立市	158,922	70,501	2.25
37	江南市	216,930	98,359	2.21
38	岩倉市	104,857	47,562	2.20

※公共施設面積は、他の自治体との比較が可能な平成 30（2018）年度末の値を掲載しています。

※人口は平成 27（2015）年国勢調査の結果をもとに掲載しています。

出所：国勢調査、公共施設状況調、蒲郡市公共施設一覧

2-6-3 東三河5市との整備状況の比較

- ・東三河5市で比較すると、本市の人口1人あたりの公共施設面積（3.82 m²/人）は、豊橋市、豊川市よりも高い水準となっています。田原市、新城市は本市よりも高い水準となっていますが、これらの市はいわゆる「平成の大合併」で市町村合併を行っており、旧自治体毎に施設が整備されていたことなどから、公共施設面積が大きくなっています。
- ・可住地面積あたりの公共施設面積を比較すると、本市（78.1 m²/ha）は東三河5市の中で最も多くなっています。本市は可住地面積が最も狭く、コンパクトな可住地の中により多くの公共施設が配置されていることが、可住地面積あたりの保有量が多い理由となっています。

図 2-22 東三河5市の公共施設整備状況

	蒲郡市	豊橋市	豊川市	田原市	新城市
人口（人）	81,100	374,765	182,436	62,364	47,133
総面積（ha）	5,692	26,186	16,114	19,112	49,923
可住地面積（ha）	3,966	21,955	10,253	13,748	8,365
公共施設面積（m ² ）	309,801	1,262,557	606,205	397,563	279,183
人口1人あたり公共施設面積（m ² /人）	3.82	3.37	3.32	6.37	5.92
可住地面積あたり公共施設面積（m ² /ha）	78.1	57.5	59.1	28.9	33.4
庁舎面積（m ² ）	16,135	60,221	14,977	25,602	10,208
公営住宅面積（m ² ）	24,383	281,305	84,434	60,914	20,756
小中学校面積（m ² ）	132,924	463,353	247,251	113,038	115,857

※人口は平成27（2015）年国勢調査の結果をもとに掲載しています。

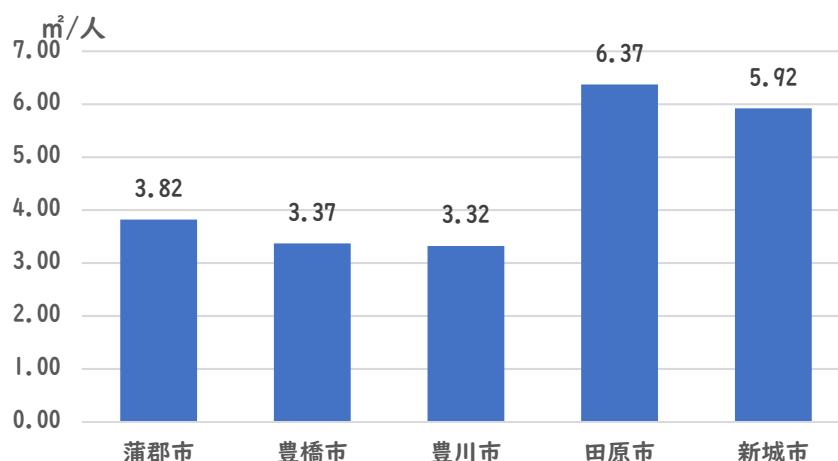
※総面積・可住地面積は平成30（2018）年の値を掲載しています。

※公共施設面積、庁舎面積、公営住宅面積、小中学校面積は、全国との比較が可能な平成30（2018）年度末の値を掲載しています。

※本市の庁舎面積には車庫の面積を含みません。

出所：国勢調査、統計でみる市区町村のすがた、公共施設状況調

図 2-23 人口1人あたりの公共施設面積の比較



出所：国勢調査、公共施設状況調、蒲郡市公共施設一覧

2-6-4 類似自治体との整備状況の比較

ここでは、類似自治体との比較により、本市の公共施設の整備状況を相対的に把握します。

(1) 類似自治体の抽出

本市との比較対象として、自治体としての規模が類似する自治体を抽出します。まず、自治体としての規模を、人口・面積・財政力の3軸で評価を行いました。人口については市内に住む総人口を、面積については総面積および可住地面積を、財政力については財政力指数を用いて評価を行い、本市との差異がいずれも25%程度におさまる代表的な4市（滋賀県守山市、茨城県牛久市、愛知県知多市、奈良県大和郡山市。以下「類似4自治体」と呼びます。）を抽出しました。なお、各自治体の地形の違いを除くために、総面積だけでなく可住地面積も用いて評価を行いました。

図 2-24 蒲郡市と類似4自治体との比較

	蒲郡市	滋賀県 守山市	茨城県 牛久市	愛知県 知多市	奈良県 大和郡山市
人口（人）	81,100	79,859	84,317	84,617	87,050
総面積（ha）	5,692	5,574	5,892	4,590	4,269
可住地面積（ha）	3,966	4,536	4,798	4,338	3,879
財政力指数	0.88	0.87	0.87	0.97	0.72

※人口は平成27（2015）年国勢調査の結果をもとに掲載しています。

※総面積・可住地面積は平成30（2018）年の値を掲載しています。

※財政力指数は令和元（2019）年度の値を掲載しています。

出所：国勢調査、統計でみる市区町村のすがた、地方公共団体の主要財政指標一覧

これら類似4自治体は、人口・面積・財政力の面で本市と似ているだけでなく、近隣都市へのアクセスが良いことからベッドタウンとして発展してきた一方で、湖沼・海・河川・丘陵など自然に恵まれた側面も兼ね備えていることが共通しています。加えて、いずれの自治体も平成の大合併を経ておらず、これまでに急激な規模の変化がない点も考慮して抽出しています。

図 2-25 類似4自治体の概要

滋賀県 守山市	琵琶湖や野洲川の豊かな自然に恵まれ、田園風景も残る、水や緑の自然が豊かなまちである。国道や鉄道を通じて京都・大阪方面への利便性に恵まれ、京都や大阪のベッドタウンとしての性格も有している。
茨城県 牛久市	小野川や稲荷川、牛久沼などの水辺空間や雑木林などの里山景観にも恵まれた、水と緑に囲まれたまちである。東京圏や隣接県とは鉄道や高速道路で結ばれ、東京都心へのアクセスにも恵まれており、東京圏や近隣市町村のベッドタウンとして人口が増加してきた。
愛知県 知多市	臨海部には発電所や製油所などのエネルギー産業が立地している一方、内陸部には田や畑、森林などの緑が広がっており、市民の憩いの場ともなっている。名古屋駅まで鉄道で20分圏内であり、名古屋のベッドタウンとしても発展してきた。
奈良県 大和郡山市	奈良県北部の大和平野に位置しており、大和川流域に広がる田園地帯と西部の矢田丘陵からなる自然豊かなまちである。鉄道が南北に縦断し、高速道路の整備も進んでおり、京阪神のベッドタウンとして人口が増えてきた。

出所：各自治体総合計画およびホームページ

(2) 類似 4 自治体との公共施設整備状況比較

- ・ 本市は、類似 4 自治体と比較すると、公共施設面積が最も大きい大和郡山市とほぼ同水準にあります。
- ・ 人口 1 人あたりの公共施設面積を比較すると、本市は他の自治体より多くの公共施設を保有していることがわかります。また、可住地面積あたりの公共施設面積も、最も大きい大和郡山市とほぼ同水準にあります。
- ・ 代表的な施設用途別に見ても、庁舎、小中学校において、本市は類似 4 自治体より延床面積が大きくなっています。公営住宅においても、大和郡山市に次いで 2 番目の大きさとなっています。

図 2-26 類似 4 自治体と蒲郡市の公共施設整備状況

	蒲郡市	滋賀県 守山市	茨城県 牛久市	愛知県 知多市	奈良県 大和郡山市
人口（人）	81,100	79,859	84,317	84,617	87,050
総面積（ha）	5,692	5,574	5,892	4,590	4,269
可住地面積（ha）	3,966	4,536	4,798	4,338	3,879
公共施設面積（㎡）	309,801	215,578	195,954	283,758	312,312
人口 1 人あたり公共 施設面積（㎡/人）	3.82	2.70	2.32	3.35	3.59
可住地面積あたり公共 施設面積（㎡/ha）	78.1	47.5	40.8	65.4	80.5
庁舎面積（㎡）	16,135	9,222	6,196	10,785	9,081
公営住宅面積（㎡）	24,383	20,134	15,963	7,108	41,915
小中学校面積（㎡）	132,924	99,886	99,835	126,062	125,552

※人口は平成 27（2015）年国勢調査の結果をもとに掲載しています。

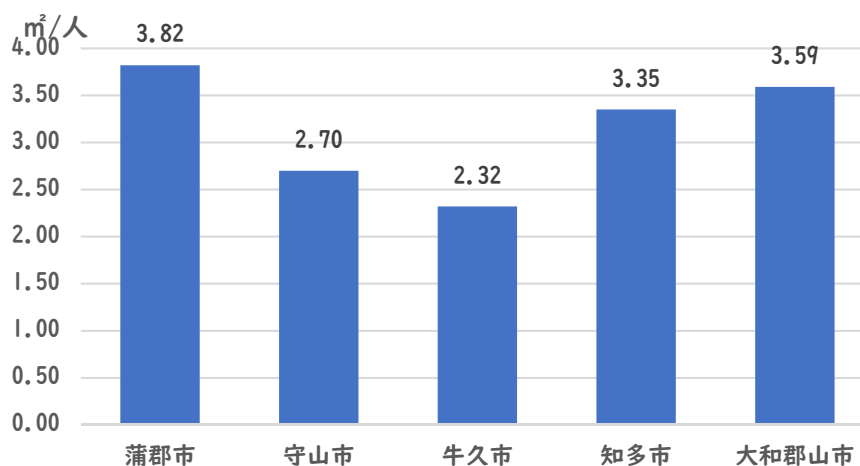
※総面積・可住地面積は平成 30（2018）年の値を掲載しています。

※公共施設面積、庁舎面積、公営住宅面積、小中学校面積は、全国との比較が可能な平成 30（2018）年度末の値を掲載しています。

※本市の庁舎面積には車庫の面積を含みません。

出所：国勢調査、統計でみる市区町村のすがた、公共施設状況調

図 2-27 人口 1 人あたりの公共施設面積の比較



出所：国勢調査、公共施設状況調

第3章 施設用途ごとにみた現状と課題

本章では、本市が保有する公共施設の現況と課題を整理し、今後の整備方針を検討するための基礎資料とします。基本構成は下記のとおりとします。本章で対象とする施設は、普通会計施設の主に延床面積 100 ㎡以上の施設とします。

(1) 配置状況

施設用途別の公共施設の配置状況を整理し、配置図で示します。

(2) 品質・管理運営経費・利用の状況

各施設の設置目的や施設機能等に応じ、品質状況、管理運営経費、利用状況の3つの観点を基本に現状を整理します。

① 品質状況

施設用途ごとに、各施設の老朽化状況を整理します。老朽化状況については、一定の基準に基づき実施した職員による調査の結果を示します。

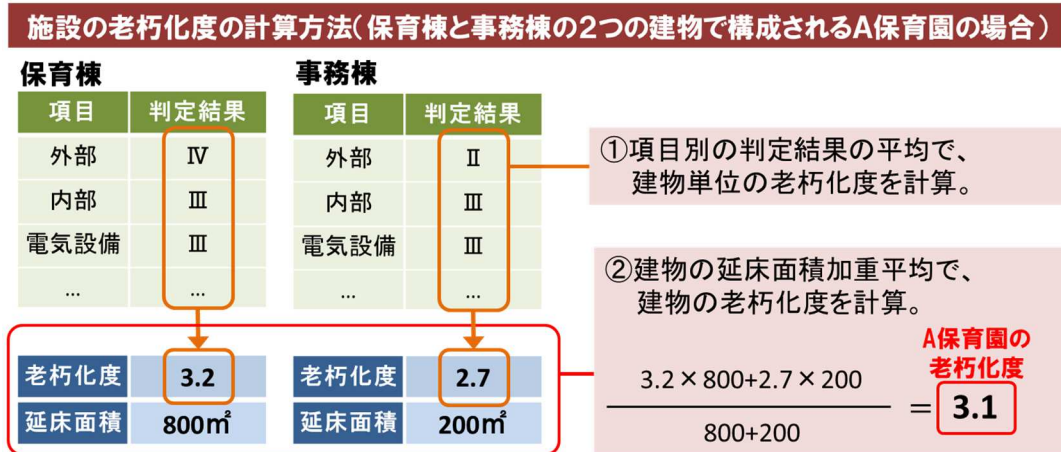
老朽化診断は、各施設の建物ごとに調査を行い、外部（屋根、外壁、建具等）、内部、電気設備、空調設備、衛生設備、搬送設備、その他の7項目を設定し、部位ごとに5段階での判定を実施しました。判定に当たっての考え方は、下表のとおりとしました。

図 3-1 老朽化判定の基本的考え方

判定結果	老朽化診断	対 応
I	老朽化が見られない健全な状態。	特に対応の必要性はない。
II	ほぼ健全な状態。	計画的な保全を継続。状態は常時監視。
III	老朽化が進んでおり、放置すると機能低下又は寿命が早まる。	今後 4～6 年程度に改修が必要。
IV	老朽化が進んでおり、大きな機能低下が発生している。	今後 3 年以内に改修・更新が必要。
V	老朽化がかなり進んでおり、安全性を損なう可能性がある。	安全性や機能面から重大な影響を与えるおそれがあり直ちに改修が必要。

老朽化診断により判定した部位ごとの判定結果の平均値を、各建物における老朽化度としました。本白書では、施設単位で分析を行うこととなります。複数の建物で構成される施設の老朽化度は、各建物の部位ごとの老朽化判定結果の平均値を、建物の延床面積で加重平均した値としました（図 3-2 参照）。

図 3-2 施設の老朽化度の計算方法



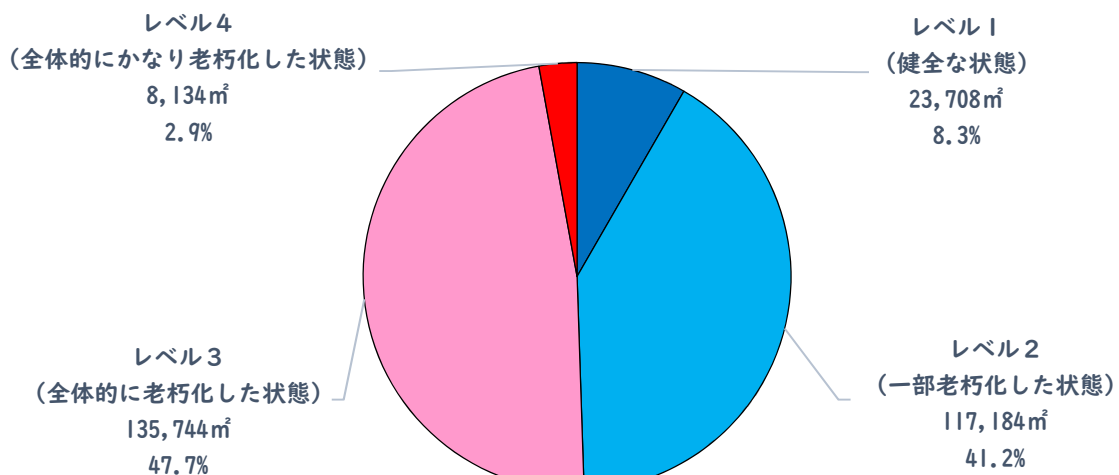
本白書に掲載される老朽化度は、一般的に次のとおり解釈できます。

図 3-3 本白書における老朽化度の解釈

老朽化度	解 釈	対 応
2未満 (レベル1)	ほぼ健全な状態。	計画的な保全を継続。状態は常時監視。
2以上3未満 (レベル2)	一部の部位・建物に老朽化が進行している箇所が存在。	老朽化箇所に対し、早急に修繕・改修を実施することが望ましい。
3以上4未満 (レベル3)	施設全体において老朽化が進行している。	施設全体を改修することが望ましい。
4以上 (レベル4)	施設全体において老朽化がかなり進行しており、老朽化箇所によっては、安全性を損なう可能性がある。	早急な改修が必要。安全性を損なう可能性がある箇所については、直ちに改修が必要。

なお、老朽化診断を行った本章の対象施設（主に延床面積 50 ㎡以上の建物。全 125 施設、延床面積合計 284,769 ㎡）の老朽化状況をみると、面積にしておよそ半分の施設がレベル3以上（施設全体において老朽化が進行している状態）となっています。

図 3-4 老朽化状況別延床面積・割合



※老朽化診断を行った建物のみを対象としているため、面積合計は施設保有面積と合致しない。

② 利用状況

各施設の利用状況を施設用途別に整理します。

図 3-5 利用状況を確認するための指標

施設種別 (大分類)	施設種別 (中分類)	利用状況を確認するための指標
庁舎等施設	庁舎・車庫	・1日平均利用者数/延床面積
公民館等施設	市民会館	・1日平均利用者数/延床面積 ・貸部屋等利用率（年間利用コマ数/年間利用可能コマ数）
	公民館	・1日平均利用者数/延床面積 ・貸部屋等利用率（年間利用コマ数/年間利用可能コマ数）
生涯学習施設	博物館等	・1日平均利用者数/延床面積
	図書館	・1日平均利用者数/延床面積
運動・公園施設	スポーツ施設等	・1日平均利用者数/延床面積 ・貸部屋等利用率（年間利用コマ数/年間利用可能コマ数）
	公園	—
	児童遊園地等	—
学校教育施設	小学校	・延床面積/児童数
	中学校	・延床面積/生徒数
	専門学校	・延床面積/学生数
	その他（学校教育）	・1日平均配食数
児童福祉施設	保育園	・延床面積/園児数
	児童館	・1日平均利用者数/延床面積
保健・福祉施設	福祉センター等	・1日平均利用者数/延床面積 ・貸部屋等利用率（年間利用コマ数/年間利用可能コマ数）
衛生施設	ごみ処理施設等	—
公営住宅施設	公営住宅	・入居率（入居戸数/入居可能戸数）
観光施設	観光施設	・1日平均利用者数/延床面積
消防・防災施設	消防署	—
	消防資機材庫等	—
その他施設	駅周辺施設	—
	その他	—

※利用コマ数とは、部屋・貸出箇所ごとの貸出単位です。例えば、ある部屋について午前・午後・夜間の3区分で貸出可能な場合は1部屋3コマと数えます。1時間単位での貸出の場合は、9:00～17:00まで貸出可能であれば、1部屋8コマと数えます。

また、利用状況を確認する施設用途については、面積あたり1日平均利用者数、貸部屋等利用率、入居率（公営住宅）、園児・児童・生徒数あたり延床面積（保育園、小学校、中学校）をグラフ化して相対比較を行います。

③ 管理運営経費の状況

各施設が年間にどの程度の支出があり、施設の管理運営等に要する経費が発生しているかについて整理します。

図 3-6 管理運営経費の状況を確認するための指標

費 目	内容（表の合計金額は単位未満四捨五入のため合わない場合があります）
施設に係るコスト	光熱水費、工事請負費・修繕費、土地・建物の賃借料、土地・建物以外のリース料、施設・設備管理委託料等
事業運営に係るコスト	事業委託費、事業物件費（需用費・役務費等）等
人に係るコスト	人件費（概算）

(3) ポートフォリオ分析

公共施設の状況を、①品質（老朽化状況）、②供給（利用状況）、③財務（コスト状況）の観点から分析します。この3点に着目する理由を下表のとおり整理しました。

この三つの視点は、いずれも公共施設を運営していく中で満たすべき条件です。他の施設と比較して相対的に悪い状況にある施設は、状況を改善するための方策が必要です。

図 3-7 ポートフォリオ分析の視点

視 点		分析の視点
ハード	品質（老朽化状況）	市民にとって使用しやすい機能を維持しているか
ソフト	供給（利用状況）	行政サービスを効率的に提供しているか
	財務（コスト状況）	適切な経費で施設が運営されているか

品質状況は、平均築年数・老朽化度（各建物の面積加重平均値）の視点から、供給状況は各施設の利用度の視点から、財務状況は各施設の収支の視点（市の正味の収支）から、それぞれの指標の偏差値を算出します。偏差値が低い場合は、他の施設に比べて、その施設の状況がよくないということとなります。下表に、本分析で用いる指標を整理します。

図 3-8 品質、供給、財務の視点からそれぞれの指標

指 標			指標の概要
ハード	品質	平均築年数	建物の新しさを表現するための指標 ※平均築年数は、施設を構成する各建物の令和2（2020）年4月1日を基準とした経過年数（年未満切り上げ）を、施設を構成する全建物の延床面積で加重平均して計算。
		老朽化度	
ソフト	供給	1日あたり平均利用者数	当該施設の稼働状況を把握するための指標
		面積あたり1日平均利用者数	
		平均園児数（または児童・生徒数）あたり面積	
		平均入居率	
		貸部屋等利用率	
	財務	面積あたり市負担額	当該施設の費用面からの運営状況を把握するための指標
		利用者1人あたり1日あたり市負担額	当該施設がどの程度費用面で効率的に使用されているか確認するための指標

これらの指標から施設の特性に応じて適切なものを選択します。また、本分析に馴染まない施設用途や、対象施設数が少なく相対比較が困難な施設用途は本分析の対象外とします。

図 3-9 用途ごとの分析指標

施設種別		品質の視点		供給の視点				財務の視点		
大分類	中分類	平均 築年数	老朽化度	面積あたり 1日あたり 平均 利用者数	平均園児 数・児童数・ 生徒数 あたり面積	平均 入居率	利用率	面積あたり 市負担額	利用者 1人あたり 1日あたり 市負担額	平均園児 数・児童数・ 生徒数あた り市負担額
庁舎等施設	庁舎・車庫	ポートフォリオ分析の対象外（対象施設が少なく相対比較が困難なため）								
公民館等施設	市民会館	ポートフォリオ分析の対象外（対象施設が少なく相対比較が困難なため）								
	公民館	○	○	○			○	○	○	
生涯学習施設	博物館等	ポートフォリオ分析の対象外（対象施設が少なく相対比較が困難なため）								
	図書館	ポートフォリオ分析の対象外（対象施設が少なく相対比較が困難なため）								
運動・公園施設	スポーツ施設等	○	○	○			○	○	○	
	公園	ポートフォリオ分析の対象外（本分析に馴染まない施設用途であるため）								
	児童遊園地等	ポートフォリオ分析の対象外（本分析に馴染まない施設用途であるため）								
学校教育施設	小学校	○	○		○					○
	中学校	○	○		○					○
	専門学校	ポートフォリオ分析の対象外（対象施設が少なく相対比較が困難なため）								
	その他（学校教育）	ポートフォリオ分析の対象外（対象施設が少なく相対比較が困難なため）								
児童福祉施設	保育園	○	○		○					○
	児童館	○	○	○				○	○	
保健・福祉施設	福祉センター等	ポートフォリオ分析の対象外（本分析に馴染まない施設用途であるため）								
衛生施設	ごみ処理施設等	ポートフォリオ分析の対象外（本分析に馴染まない施設用途であるため）								
公営住宅施設	公営住宅	○	○			○		○		
観光施設	観光施設	○	○	○				○	○	
消防・防災施設	消防署	ポートフォリオ分析の対象外（本分析に馴染まない施設用途であるため）								
	消防資機材庫等	ポートフォリオ分析の対象外（本分析に馴染まない施設用途であるため）								
その他施設	駅周辺施設	ポートフォリオ分析の対象外（対象施設が少なく相対比較が困難なため）								
	その他	ポートフォリオ分析の対象外（本分析に馴染まない施設用途であるため）								

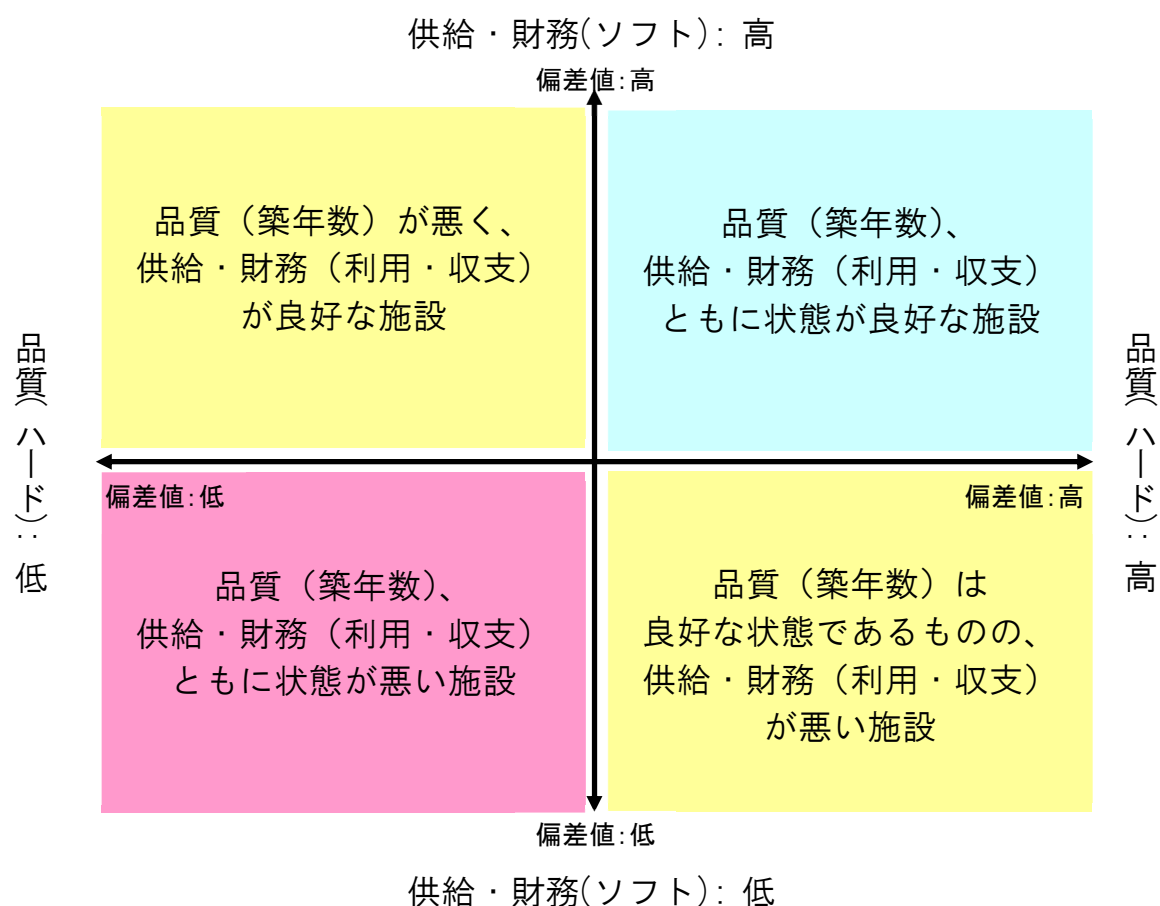
品質に係る指標は施設のハード面での状況を示す指標、供給・財務に係る指標は施設のソフト面での状況を示す指標と捉えることができます。それぞれの指標を品質（ハード）、供給・財務（ソフト）に分類し、それぞれの指標の偏差値の平均を下図のようにプロットすることで、各施設の状況を“可視化”します。

品質状況（ハード）を横軸に、供給・財務状況（ソフト）を縦軸に、偏差値 50 点を中心としたグラフに、各施設の値をプロットすると、そのプロット位置により、各施設の状況を把握することが可能です。

なお、品質状況（ハード）の指標となる偏差値は、全施設を対象として算出します。これにより、当該施設用途が全施設の中でどの程度老朽化した傾向にあるのかを把握できます。供給・財務状況（ソフト）における指標の偏差値は、施設用途ごとに偏差値を算出します。

偏差値を算出し、二軸上のグラフに各施設の値をプロットし、類似施設用途間で相対比較する手法をポートフォリオ分析といいます。

図 3-10 ポートフォリオ分析結果の解釈



3-1 庁舎等施設（庁舎・車庫）

- ・庁舎等施設は、市の行政事務を行うとともに、市民に必要な行政サービスを提供することを目的に設置しています。
- ・本庁舎には、行政事務を行う業務スペースのほか、公用車用の車庫などがあります。
- ・本庁舎につきましては、耐震診断の結果、要改修と判定されたため、耐震化を図る改修工事を実施しました。

図 3-11 配置状況・外観写真（庁舎等施設）



本庁舎

3-1-1 庁舎・車庫

(1) 老朽化状況の把握

- ・本庁舎は部分的に老朽化が進んだ状態となっていますが、定期的な改修を実施しているため、築年数に対しては良好な状態です。

図 3-12 老朽化状況（庁舎・車庫）

施設名称	延床面積 (㎡)	建築年度	老朽化度	老朽化度				
				健全	2.0	3.0	4.0	老朽化
本庁舎	19,817	S36	2.4					

※本庁舎は複数の建物で構成されていますが、建築年度は最も古い建物（本館）のものを掲載しています。

(2) 利用状況の把握

- ・本庁舎は利用者数の正確な把握ができないため、データを掲載していません。

図 3-13 利用状況（庁舎・車庫）

施設名称	延床面積 (㎡)	利用者数（人）						
		H26	H27	H28	H29	H30	R1	6年平均
本庁舎	19,817	—	—	—	—	—	—	—

施設名称	1日あたり 平均利用者数 (人/日)	面積あたり 1日あたり 平均利用者数 (人/㎡・日)	面積あたり1日あたり平均利用者数 (人/㎡・日)					
			0.0	10.0	20.0	30.0	40.0	50.0
本庁舎	—	—						

※利用状況の値は6ヵ年度（平成26（2014）～令和元（2019）年度）の平均値を掲載しています。

※利用者数の正確な把握ができないため、データを掲載していません。

(3) コスト状況の把握

- ・本庁舎は市の行政機能が集中した施設であるため、コストが高くなっています。
- ・施設に係るコストが大部分を占めています。

図 3-14 コスト状況（庁舎・車庫）

施設名称	市の支出（千円）				
	施設に係るコスト	事業運営に係るコスト	人に係るコスト	指定管理料	合計
本庁舎	221,293	24,238	3,900	0	249,432

施設名称	市の支出（千円）					
	0	50,000	100,000	150,000	200,000	250,000
本庁舎						

※支出額の値は6ヵ年度（平成26（2014）～令和元（2019）年度）の平均値を掲載しています。

【参考：類似自治体との比較】

- ・第2章「2-6-4 類似自治体との公共施設整備状況比較」で比較対象とした、滋賀県守山市、茨城県牛久市、愛知県知多市、奈良県大和郡山市と本庁舎面積を比較します。
- ・本市は本庁舎の床面積が大きく、人口あたり庁舎面積も大きいことが分かります。

図 3-15 類似4自治体との庁舎面積の比較

	蒲郡市	滋賀県 守山市	茨城県 牛久市	愛知県 知多市	奈良県 大和郡山市
総人口（人）	81,100	79,859	84,317	84,617	87,050
本庁舎面積（㎡）	16,135	9,222	6,196	10,785	9,081
人口あたり庁舎面積（㎡/人）	0.199	0.115	0.073	0.127	0.104

※人口は平成27（2015）年国勢調査の結果をもとに掲載しています。

※本市の庁舎面積は駐車場棟や車庫を除いています。

※類似自治体についての詳細は17ページをご覧ください。

出所：国勢調査、公共施設状況調

3-2 公民館等施設（市民会館、公民館）

- ・ 公民館等施設には、市民会館と各地区の公民館があります。
- ・ 市民会館は市民の文化の向上及び福祉の増進を図るために設置され、大小さまざまなホールや会議室、茶室などを備えています。
- ・ 公民館は地域における生涯学習、学術及び文化に関する各種事業を行うほか、住民の教養の向上、健康の増進を図り、生活文化の振興、社会福祉の増進に寄与する場として設置しています。
- ・ 東部公民館・三谷公民館・大塚公民館・西浦公民館には図書館の分室、三谷公民館・形原公民館・西浦公民館には住民票の写しや税証明等の発行を行う証明書自動交付機が設置されています。また、東部公民館の部屋を利用して児童クラブが運営されています。
- ・ 三谷公民館の建物の一部は三谷交番として県に貸し出しています。

図 3-16 配置状況・外観写真（公民館等施設）



市民会館



府相公民館



形原公民館

3-2-1 市民会館

(1) 老朽化状況の把握

- ・老朽度が4近く、かなり老朽化が進んでいる状況です。

図 3-17 老朽化状況（市民会館）

施設名称	延床面積 (㎡)	建築年度	老朽化度	老朽化度				
				健全	2.0	3.0	4.0	老朽化
市民会館	13,233	S48	3.9					

※複数の建物で構成されている施設の建築年度は、最も建築年度の古い建物をもとに掲載しています。

(2) 利用状況の把握

- ・年間約21万8千人の方に利用されていますが、利用者は減少傾向にあります。

図 3-18 利用状況（市民会館）

施設名称	延床面積 (㎡)	利用者数（人）						
		H26	H27	H28	H29	H30	R1	6年平均
市民会館	13,233	287,988	220,813	249,285	211,261	184,326	155,205	218,146

施設名称	1日あたり 平均利用者数 (人/日)	面積あたり 1日あたり 平均利用者数 (人/㎡・日)	貸部屋等 利用率 (%)	貸部屋等利用率 (%)					
				0.0	10.0	20.0	30.0	40.0	50.0
市民会館	712.4	0.054	33.2						

※利用状況の値は6ヵ年度（平成26（2014）～令和元（2019）年度）の平均値を掲載しています。

※令和元年度は、新型コロナウイルス感染症の影響に伴う休館期間があります。

(3) コスト状況の把握

- ・市民会館は、指定管理者制度を導入しています。
- ・指定管理料以外の市の支出として、施設に係るコストがかかっています。

図 3-19 コスト状況（市民会館）

施設名称	市の支出（千円）				
	施設に係るコスト	事業運営に係るコスト	人に係るコスト	指定管理料	合計
市民会館	44,990	0	0	100,598	145,588

施設名称	市の支出（千円）					
	0	30,000	60,000	90,000	120,000	150,000
市民会館						

※支出額の値は6ヵ年度（平成26（2014）～令和元（2019）年度）の平均値を掲載しています。

3-2-2 公民館

(1) 老朽化状況の把握

- ・蒲郡公民館、府相公民館、形原公民館以外の公民館は、築 40 年程度経過しており、老朽化度も 3 以上で、全体的に老朽化が進んでいる状況です。

図 3-20 老朽化状況（公民館）

施設名称	延床面積 (㎡)	建築年度	老朽化度	老朽化度				
				健 全	←	→	老朽化	
蒲郡公民館	806	H25	1.0	1.0				
小江公民館	677	S50	3.6					
府相公民館	595	R1	1.0	1.0				
東部公民館	695	S48	3.0					
北部公民館	551	S52	3.0					
西部公民館	418	S50	3.2					
三谷公民館	1,951	S46	3.0					
塩津公民館	554	S50	3.1					
大塚公民館	742	S47	3.0					
形原公民館	845	H21	1.2	1.2				
西浦公民館	1,078	S51	3.1					

※複数の建物で構成されている施設の建築年度は、最も建築年度の古い建物をもとに掲載しています。

※三谷公民館の延床面積には、三谷交番の面積を含んでいます。

(2) 利用状況の把握

- ・利用者数は館によってばらつきがあり、6年平均でみると年間約1万人～3万7千人の方に利用されています。
- ・貸部屋等利用率をみると、東部公民館、北部公民館、塩津公民館、西浦公民館は10%台となっており、相対的に利用率が低い状況です。

図 3-21 利用状況（公民館）

施設名称	延床面積 (㎡)	利用者数（人）						
		H26	H27	H28	H29	H30	R1	6年平均
蒲郡公民館	806	16,508	18,876	17,740	17,158	17,540	18,351	17,696
小江公民館	677	13,555	14,658	14,923	14,983	15,079	15,642	14,807
府相公民館	595	—	—	—	—	—	—	—
東部公民館	695	35,800	30,610	29,945	28,763	32,561	33,731	31,902
北部公民館	551	31,031	32,604	30,040	31,679	29,117	28,108	30,430
西部公民館	418	10,355	9,539	9,237	10,436	10,147	9,132	9,808
三谷公民館	1,951	31,330	35,924	34,304	33,730	34,641	29,037	33,161
塩津公民館	554	18,561	17,911	19,157	17,636	18,727	17,550	18,257
大塚公民館	742	35,625	32,889	30,627	27,751	28,257	26,294	30,241
形原公民館	845	29,701	29,306	25,737	23,497	26,621	23,025	26,315
西浦公民館	1,078	44,266	41,637	35,974	35,215	32,770	31,441	36,884

施設名称	1日あたり 平均利用者数 (人/日)	面積あたり 1日あたり 平均利用者数 (人/㎡・日)	貸部屋等 利用率 (%)	貸部屋等利用率 (%)					
				0.0	10.0	20.0	30.0	40.0	50.0
蒲郡公民館	61.3	0.076	37.8						
小江公民館	51.3	0.076	25.2						
府相公民館	—	—	—	—					
東部公民館	107.3	0.154	18.8						
北部公民館	101.8	0.185	18.5						
西部公民館	32.6	0.078	24.6						
三谷公民館	113.4	0.061	20.6						
塩津公民館	62.0	0.112	16.5						
大塚公民館	104.0	0.140	23.2						
形原公民館	90.2	0.107	34.9						
西浦公民館	129.9	0.121	18.4						

※利用状況の値は6ヵ年度（平成26（2014）～令和元（2019）年度）の平均値を掲載しています。

※令和元（2019）年度は、新型コロナウイルス感染症の影響に伴う休館期間があります。

※府相公民館は令和元（2019）年度に建築されたため、データを掲載していません。

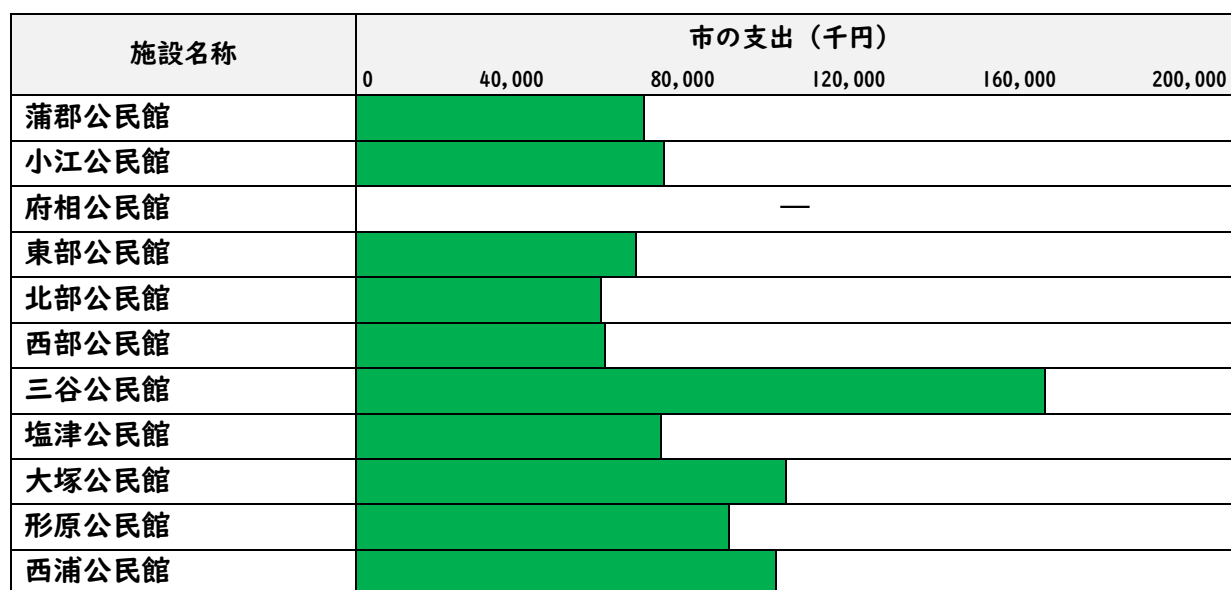
※三谷公民館の面積あたり利用者数については、三谷交番の面積を除外して算出しています。

(3) コスト状況の把握

- ・指定管理料以外の市の支出に着目し支出項目別に見ると、施設に係るコストの割合が大きくなっています。

図 3-22 コスト状況（公民館）

施設名称	市の支出（千円）				
	施設に係るコスト	事業運営に係るコスト	人に係るコスト	指定管理料	合計
蒲郡公民館	693	386	385	5,970	7,433
小江公民館	2,114	0	0	5,587	7,702
府相公民館	—	—	—	—	—
東部公民館	1,586	0	0	5,702	7,287
北部公民館	1,123	0	0	5,373	6,496
西部公民館	1,582	0	0	4,998	6,580
三谷公民館	5,166	614	668	9,978	16,427
塩津公民館	1,844	0	0	5,802	7,645
大塚公民館	3,711	0	0	6,774	10,485
形原公民館	1,374	0	0	7,626	9,000
西浦公民館	2,858	0	0	7,405	10,263



※支出額の値は6ヵ年度（平成26（2014）～令和元（2019）年度）の平均値を掲載しています。

※府相公民館は令和元（2019）年度に建築されたため、データを掲載していません。

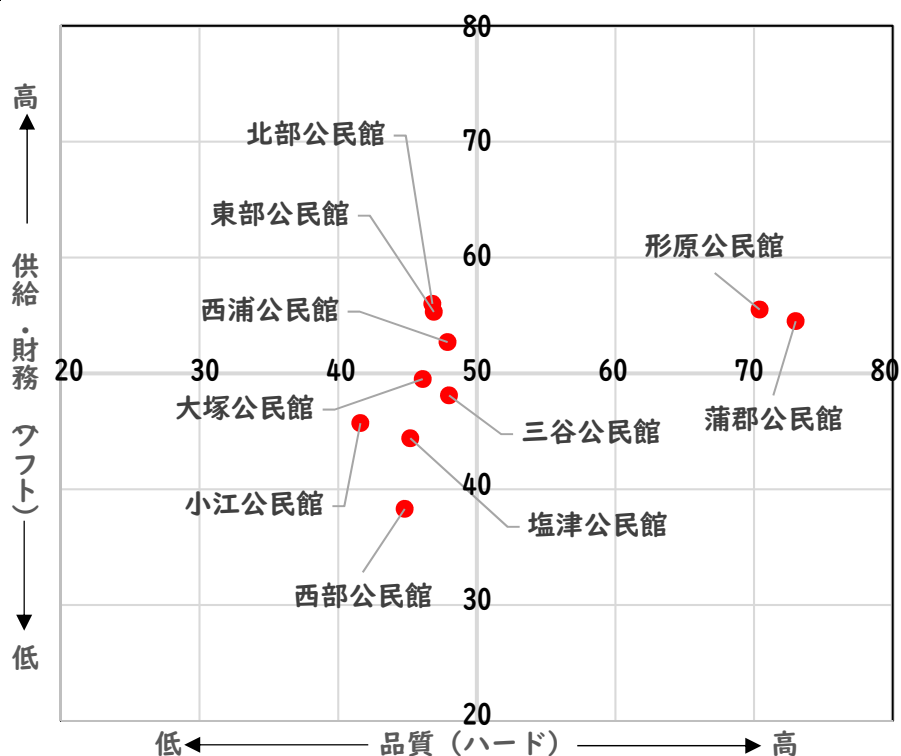
※三谷公民館のコストには、三谷交番に関する市の支出を含んでいます。

(4) ポートフォリオ分析結果

- ・建物の品質については、蒲郡公民館、府相公民館、形原公民館以外は、偏差値 50 以下となっており、本市の公共施設の中でも老朽化が進んでいる状況です。
- ・小江公民館、西部公民館、三谷公民館、塩津公民館、大塚公民館は、建物の品質と供給・財務のどちらの視点においても平均偏差値が 50 を下回っています。

図 3-23 ポートフォリオ分析結果（公民館）

施設名称	延床面積 (㎡)	品質				品質 (ハード) 平均偏差値	供給				財務				供給・財務 (ソフト) 平均偏差値
		平均築年数	偏差値	老朽化度	偏差値		面積あたり 1日あたり 平均利用者数 (人/㎡・日)	偏差値	貸部屋等 利用率 (%)	偏差値	面積あたり 市負担額 (円/㎡)	偏差値	利用者1人 あたり 1日あたり 市負担額 (円/人・日)	偏差値	
蒲郡公民館	806	7.0	71.4	1.0	74.5	72.9 (-0.5)	0.076	40.8	37.8	70.4	9,222	59.5	1.46	47.4	54.5 (-)
小江公民館	677	43.8	43.9	3.6	39.4	41.6 (-1.9)	0.076	40.7	25.2	52.1	11,370	50.3	1.81	39.6	45.7 (-2.4)
府相公民館	595	1.0	75.9	1.0	74.5	75.2 (-)	—	—	—	—	—	—	—	—	—
東部公民館	695	40.5	46.3	3.0	47.5	46.9 (+0.7)	0.154	61.5	18.8	42.7	10,478	54.1	0.77	62.8	55.3 (+2.6)
北部公民館	551	40.8	46.1	3.0	47.5	46.8 (+0.3)	0.185	69.5	18.5	42.1	11,794	48.5	0.73	63.7	56.0 (+1.3)
西部公民館	418	42.5	44.8	3.2	44.8	44.8 (-3.8)	0.078	41.3	24.6	51.1	15,757	31.6	2.26	29.4	38.3 (+2.3)
三谷公民館	1,951	37.6	48.5	3.0	47.5	48.0 (-1.8)	0.061	36.8	20.6	45.2	7,830	65.4	1.56	45.0	48.1 (-5.0)
塩津公民館	554	43.1	44.4	3.1	46.1	45.2 (-0.1)	0.112	50.3	16.5	39.3	13,780	40.0	1.43	48.0	44.4 (-4.3)
大塚公民館	742	42.6	44.8	3.0	47.5	46.1 (+0.3)	0.140	57.7	23.2	49.0	14,125	38.6	1.21	52.8	49.5 (-5.3)
形原公民館	845	10.5	68.8	1.2	71.8	70.3 (-1.5)	0.107	48.9	34.9	66.1	10,648	53.4	1.19	53.5	55.5 (+1.3)
西浦公民館	1,078	36.1	49.6	3.1	46.1	47.9 (-4.1)	0.121	52.5	18.4	42.0	9,457	58.5	0.99	57.8	52.7 (-2.0)



※品質（ハード）の偏差値は、臨時・不使用施設及び企業会計施設を除く全施設を対象として算出しています。

※供給・財務（ソフト）の偏差値は、本項に掲載している施設のみを対象として算出しています。

※品質（ハード）及び供給・財務（ソフト）の偏差値のカッコ内の数値は、前白書における偏差値からの動きを示しています。なお前全白書のデータがない施設については、偏差値の比較を行っておりません。

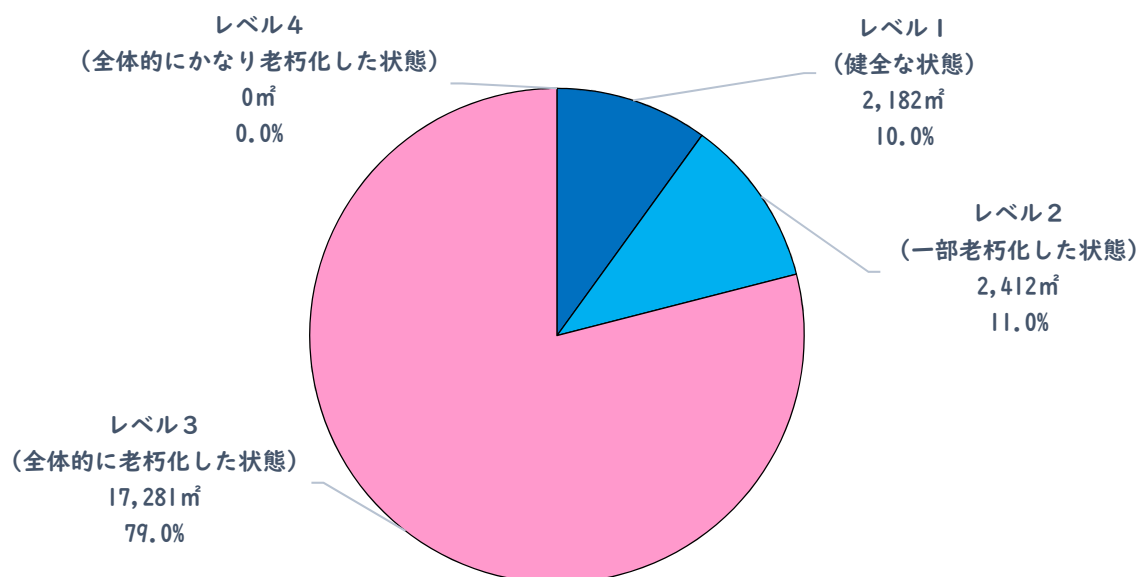
※府相公民館は令和元年度に建築されたため、供給・財務（ソフト）のデータがなく、グラフには掲載されていません。品質（ハード）の偏差値は75.2となっています。

※三谷公民館の面積あたり利用者数については、三谷交番の面積を除外して算出しています。

【参考：老朽化状況別延床面積・割合（公民館等施設）】

- ・公民館等施設（市民会館・公民館）は、面積にして8割近くがレベル3（施設全体において老朽化が進行している状態）となっています。

図 3-24 老朽化状況別延床面積・割合（市民会館・公民館）

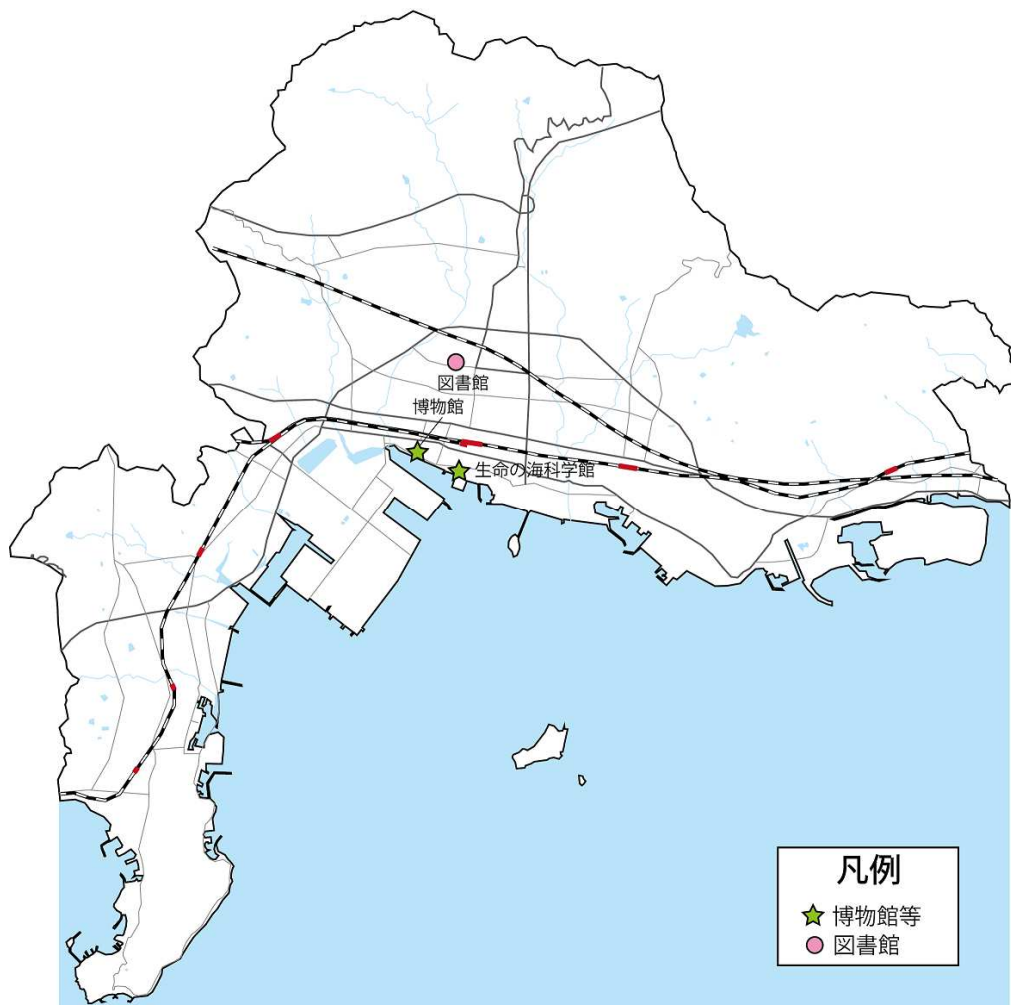


※老朽化診断を行った建物のみを対象としているため、面積合計は市の保有面積と合致しない。

3-3 生涯学習施設（博物館等、図書館）

- ・本市の自然や風土、固有の歴史文化に触れることのできる生命の海科学館や博物館が沿岸部を中心に立地しています。
- ・生命の海科学館では、学習指導要領に沿ったワークショップや出前授業といった「学習プログラム」が積極的に行われています。また、小中学生向けのイベント開催等が活発に行われ、市外の子供たちの来場も多くなっています。
- ・図書館は、図書の閲覧や貸出のほか、学生室を備え中高生等の自習の場としても機能しています。本館のほか、公民館などに分室を6か所設置しています。

図 3-25 配置状況・外観写真（生涯学習施設）



生命の海科学館



博物館



図書館

3-3-1 博物館等

(1) 老朽化状況の把握

- ・生命の海科学館、博物館ともに老朽化度が3を超えており、老朽化が進んだ状態となっています。

図 3-26 老朽化状況（博物館等）

施設名称	延床面積 (㎡)	建築年度	老朽化度	老朽化度				
				健全	2.0	3.0	4.0	老朽化
生命の海科学館	3,297	H10	3.3					
博物館	2,364	S53	3.4					

※複数の建物で構成されている施設の建築年度は、最も建築年度の古い建物をもとに掲載しています。

(2) 利用状況の把握

- ・生命の海科学館は6ヵ年度平均で約8万5千人に利用されており、面積あたり1日あたり利用者は博物館よりも多くなっています。

図 3-27 利用状況（博物館等）

施設名称	延床面積 (㎡)	利用者数（人）						
		H26	H27	H28	H29	H30	R1	6年平均
生命の海科学館	3,297	72,606	89,945	89,468	92,588	85,094	79,009	84,785
博物館	2,364	29,842	31,188	29,216	35,846	35,014	32,623	32,288

施設名称	1日あたり 平均利用者数 (人/日)	面積あたり 1日あたり 平均利用者数 (人/㎡・日)	面積あたり1日あたり平均利用者数 (人/㎡・日)				
			0.00	0.02	0.04	0.06	0.08
生命の海科学館	270.8	0.082					
博物館	108.6	0.046					

※利用状況の値は6ヵ年度（平成26（2014）～令和元（2019）年度）の平均値を掲載しています。

※令和元（2019）年度は、新型コロナウイルス感染症の影響に伴う休館期間があります。

(3) コスト状況の把握

- ・コストは生命の海科学館のほうが高く、概ね施設の利用者数に比例しています。

図 3-28 コスト状況（博物館等）

施設名称	市の支出（千円）				
	施設に係るコスト	事業運営に係るコスト	人に係るコスト	指定管理料	合計
生命の海科学館	41,440	14,712	50,804	0	106,956
博物館	13,881	3,607	28,250	0	45,738

施設名称	市の支出（千円）					
	0	30,000	60,000	90,000	120,000	150,000
生命の海科学館						
博物館						

※支出額の値は6ヵ年度（平成26（2014）～令和元（2019）年度）の平均値を掲載しています。

3-3-2 図書館

(1) 老朽化状況の把握

- ・図書館は築 50 年を経過しています。老朽化度も 3 を超えており、全体的に老朽化が進んでいる状況です。

図 3-29 老朽化状況（図書館）

施設名称	延床面積 (㎡)	建築年度	老朽化度	老朽化度				
				健 全	2.0	3.0	4.0	老朽化
図書館	2,006	S44	3.3					

※複数の建物で構成されている施設の建築年度は、最も建築年度の古い建物をもとに掲載しています。

(2) 利用状況の把握

- ・6年平均では約 30 万人の方に利用されており、市内の公共施設でも利用者の多い施設です。利用者は減少傾向にあります。

図 3-30 利用状況（図書館）

施設名称	延床面積 (㎡)	利用者数（人）						
		H26	H27	H28	H29	H30	R1	6年平均
図書館	2,006	327,335	322,198	311,825	310,374	302,029	272,302	307,677

施設名称	1日あたり 平均利用者数 (人/日)	面積あたり 1日あたり 平均利用者数 (人/㎡・日)	面積あたり1日あたり平均利用者数 (人/㎡・日)				
			0.00	0.20	0.40	0.60	0.80
図書館	1,058.3	0.528					

※利用状況の値は6ヵ年度（平成26（2014）～令和元（2019）年度）の平均値を掲載しています。

※令和元（2019）年度は、新型コロナウイルス感染症の影響に伴う休館期間があります。

(3) コスト状況の把握

- ・図書館は、指定管理者制度を導入しています。
- ・指定管理料以外の市の支出に着目し支出項目別に見ると、施設に係るコストが大きなものとなっています。

図 3-31 コスト状況（図書館）

施設名称	市の支出（千円）				
	施設に係るコスト	事業運営に係るコスト	人に係るコスト	指定管理料	合計
図書館	6,150	66	0	119,128	125,343

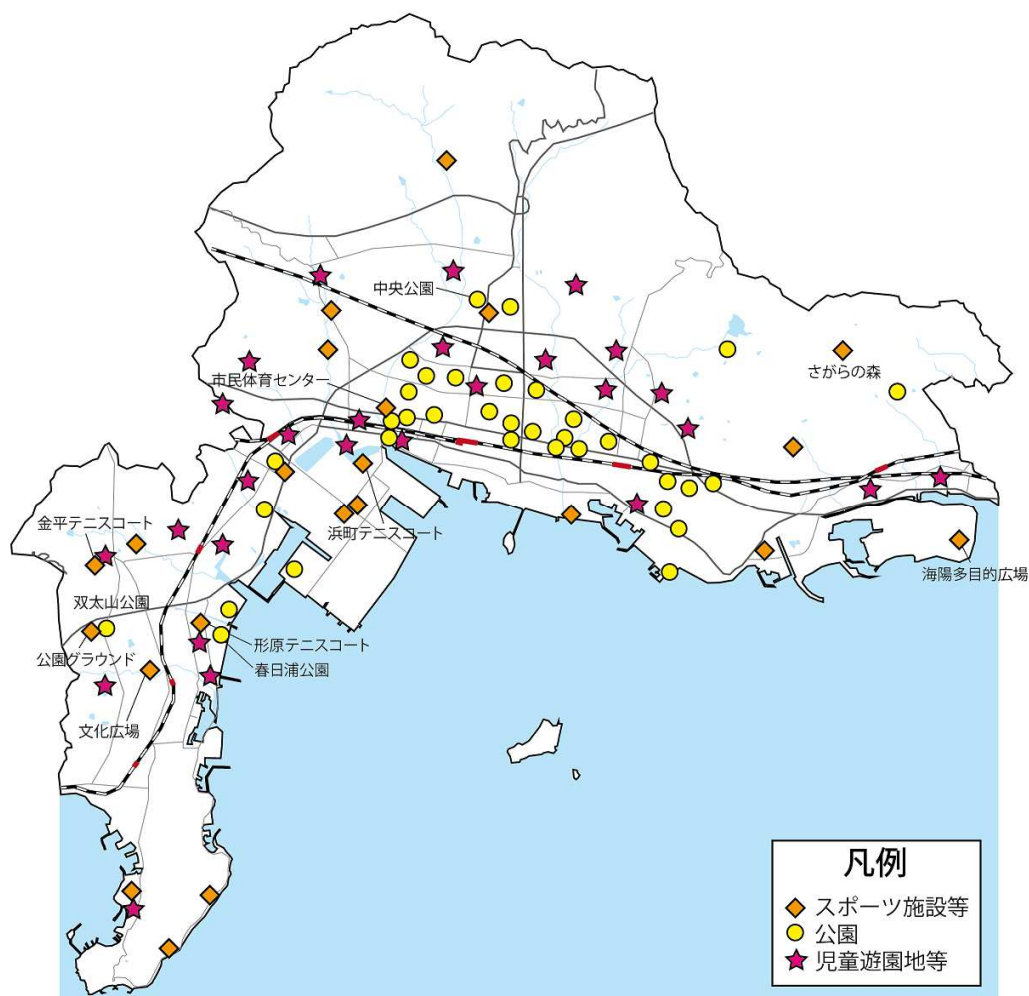
施設名称	市の支出（千円）				
	0	30,000	60,000	90,000	120,000
図書館					

※支出額の値は6ヵ年度（平成26（2014）～令和元（2019）年度）の平均値を掲載しています。

3-4 運動・公園施設（スポーツ施設等、公園）

- ・運動・公園施設は、スポーツの振興を図り、住民福祉の向上に寄与することを目的として設置しています。グラウンド、体育館、テニスコート、多目的広場、公園、児童遊園地等の各種施設が整備されています。
- ・市民体育センターは、武道館や相撲場だけでなく会議室も完備しているスポーツ施設となっています。
- ・小規模な公園、運動広場、児童遊園地のトイレや休憩所、屋外運動施設は配置状況のみ示します。

図 3-32 配置状況・外観写真（体育施設）



市民体育センター



文化広場



双太山公園

3-4-1 スポーツ施設等

(1) 老朽化状況の把握

- ・市民体育センターは、競技場と武道館（武道館および弓道場・相撲場等）ともに、老朽化度が3以上で老朽化が進んでいる状況です。特に老朽化度が4を超え老朽化がかなり進行している競技場については、現在耐震化を図る改修工事を実施しています。
- ・市民体育センター武道館、文化広場、金平テニスコート、さがらの森は老朽化度が3以上となっており、全体的に老朽化が進んでいる状況です。

図 3-33 老朽化状況（スポーツ施設等）

施設名称	延床面積 (㎡)	建築年度	老朽化度	老朽化度	
				健全 1.0 2.0 3.0 4.0 5.0	老朽化
公園グラウンド	2,046	S47	2.7		
市民体育センター	競技場	S42	4.2		
	武道館	S55	3.6		
文化広場	1,857	S58	3.3		
浜町テニスコート	89	H1	2.7		
金平テニスコート	242	S62	3.5		
形原テニスコート	43	S53	調査対象外	調査対象外	
海陽多目的広場	154	H27	調査対象外	調査対象外	
さがらの森	500	S49	3.0		

※市民体育センターは、競技場と武道館（武道館および弓道場・相撲場等）それぞれの老朽化状況を掲載しています。

※複数の建物で構成されている施設の建築年度は、最も建築年度の古い建物をもとに掲載しています。
市民体育センターの武道館については、武道館棟の建築年を掲載しています。

※形原テニスコートと海陽多目的広場は床面積 50 ㎡以上の建物がないため、老朽化度の調査を行っていません。

(2) 利用状況の把握

- ・市民体育センターは、年間約18万人の利用があります。
- ・施設によって利用率の差が大きく公園グラウンド、金平テニスコート、海陽多目的広場は利用率が50%以上となっていますが、形原テニスコート、さがらの森は利用率が20%を下回っています。

図 3-34 利用状況（スポーツ施設等）

施設名称	延床面積 (㎡)	利用者数(人)						
		H26	H27	H28	H29	H30	R1	6年平均
公園グラウンド	2,046	37,593	33,924	34,540	27,350	34,731	30,497	33,106
市民体育センター	10,312	186,939	188,213	181,098	190,170	183,136	157,298	181,142
文化広場	1,857	25,287	27,315	26,023	30,658	28,658	26,019	27,327
浜町テニスコート	89	11,973	13,022	12,022	11,745	11,624	10,179	11,761
金平テニスコート	242	21,144	14,289	18,485	16,673	16,918	12,434	16,657
形原テニスコート	43	2,053	1,751	2,833	2,200	2,372	6,266	2,913
海陽多目的広場	154	—	—	—	16,431	15,643	24,060	18,711
さがらの森	500	4,508	5,432	3,881	6,317	2,824	4,080	4,507

施設名称	1日あたり 平均利用者数 (人/日)	面積あたり 1日あたり 平均利用者数 (人/㎡・日)	貸部屋等 利用率 (%)	貸部屋等利用率 (%)					
				0.0	15.0	30.0	45.0	60.0	75.0
公園グラウンド	107.5	0.053	56.9						
市民体育センター	505.8	0.049	28.6						
文化広場	88.7	0.048	26.0						
浜町テニスコート	32.9	0.368	42.5						
金平テニスコート	48.2	0.199	52.5						
形原テニスコート	8.2	0.192	14.5						
海陽多目的広場	166.9	1.082	58.4						
さがらの森	12.6	0.025	7.0						

※利用状況の値は6ヵ年度（平成26（2014）～令和元（2019）年度）の平均値を掲載しています。

※令和元（2019）年度は、新型コロナウイルス感染症の影響に伴う休館期間があります。

※貸部屋等利用率は競技用の部屋・スペースだけでなく、会議室等を保有している場合は会議室等も含めて計算しています。

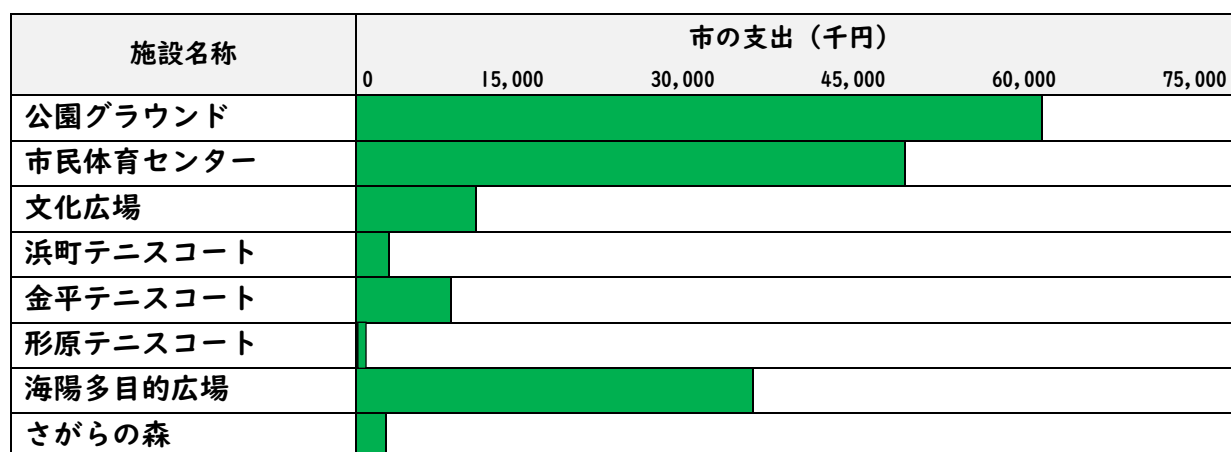
※海陽多目的広場は平成27（2015）年度に建築、平成28（2016）年度の途中から供用開始されたため、平成29（2017）～令和元（2019）年度の平均値を掲載しています。

(3) コスト状況の把握

- ・施設規模が大きい市民体育センターのコストが高くなっています。特に、指定管理料が他施設よりも高くなっています。
- ・公園グラウンド、海陽多目的広場は施設の大規模な改修や建物の増築を行っているため、施設に係るコストが高くなっています。

図 3-35 コスト状況（スポーツ施設等）

施設名称	市の支出（千円）				
	施設に係るコスト	事業運営に係るコスト	人に係るコスト	指定管理料	合計
公園グラウンド	43,136	0	0	18,510	61,646
市民体育センター	1,889	1,963	0	44,814	48,666
文化広場	2,352	0	0	10,372	12,724
浜町テニスコート	0	0	0	2,524	2,524
金平テニスコート	7,317	0	0	1,826	9,143
形原テニスコート	441	0	0	644	1,085
海陽多目的広場	35,898	0	0	0	35,898
さがらの森	2,322	0	0	0	2,322



※支出額の値は6ヵ年度（平成26（2014）～令和元（2019）年度）の平均値を掲載しています。

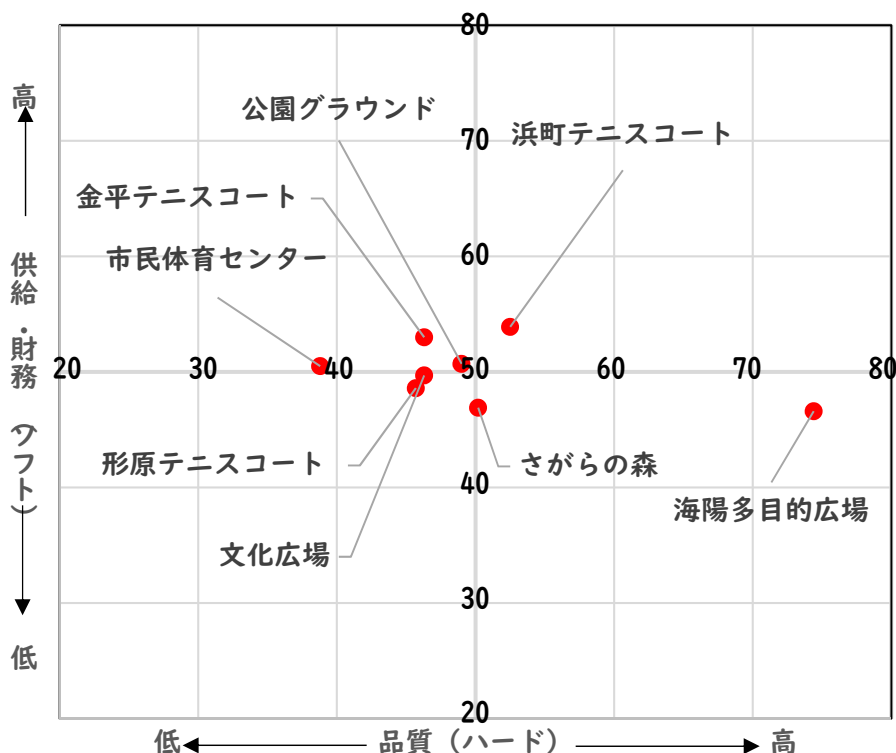
※海陽多目的広場は平成27（2015）年度に建築、平成28（2016）年度の途中から供用開始されたため、平成29（2017）～令和元（2019）年度の平均値を掲載しています。

(4) ポートフォリオ分析結果

- ・市民体育センターは建物の品質の平均偏差値が 40 を下回っており、特に老朽化が進んでいます。
- ・文化広場、形原テニスコート、海陽多目的広場、さがらの森は供給・財務の平均偏差値が 50 を下回っています。

図 3-36 ポートフォリオ分析結果（スポーツ施設等）

施設名称	延床面積 (㎡)	品質				品質 (ハード) 平均偏差値	供給				財務				供給・財務 (ソフト) 平均偏差値
		平均築年数	偏差値	老朽化度	偏差値		面積あたり 1日あたり 平均利用者数 (人/㎡・日)	偏差値	貸部屋等 利用率 (%)	偏差値	面積あたり 市負担額 (円/㎡)	偏差値	利用者1人 あたり 1日あたり 市負担額 (円/人・日)	偏差値	
公園グラウンド	2,046	40.2	46.5	2.7	51.5	49.0 (-0.3)	0.053	44.0	56.9	61.5	29,803	52.2	6.52	45.2	50.7 (+7.4)
市民体育センター	10,312	45.9	42.3	3.9	35.3	38.8 (-5.5)	0.049	43.9	28.6	46.1	3,158	56.0	0.50	56.2	50.5 (-3.9)
文化広場	1,857	36.6	49.2	3.3	43.4	46.3 (-5.4)	0.048	43.9	26.0	44.7	5,668	55.6	1.26	54.8	49.7 (+2.5)
浜町テニスコート	89	31.0	53.4	2.7	51.5	52.5 (+0.4)	0.368	53.5	42.5	53.6	28,224	52.4	0.60	56.0	53.9 (+1.2)
金平テニスコート	242	33.0	51.9	3.5	40.7	46.3 (-2.9)	0.199	48.4	52.5	59.1	35,513	51.4	2.09	53.3	53.0 (-2.1)
形原テニスコート	43	41.3	45.7	調査対象外	調査対象外	45.7 (-0.4)	0.192	48.2	14.5	38.4	25,491	52.8	1.08	55.1	48.6 (+1.3)
海陽多目的広場	154	3.2	74.3	調査対象外	調査対象外	74.3 (-)	1.082	75.0	58.4	62.3	229,179	23.9	17.53	25.0	46.6 (-)
さがらの森	500	31.8	52.8	3.0	47.5	50.2 (-)	0.025	43.2	7.0	34.3	4,640	55.7	1.57	54.3	46.9 (-)



※品質（ハード）の偏差値は、臨時・不使用施設及び企業会計施設を除く全施設を対象として算出しています。

※供給・財務（ソフト）の偏差値は、本項に掲載している施設のみを対象として算出しています。

※品質（ハード）及び供給・財務（ソフト）の偏差値のカッコ内の数値は、前白書における偏差値からの動きを示しています。なお、前白書のデータがない施設については、偏差値の比較を行っておりません。

※海陽多目的広場は平成 27（2015）年度に建築、平成 28（2016）年度の途中から供用開始されたため、平成 29（2017）～令和元（2019）年度の平均値を掲載しています。

3-4-2 公園

(1) 老朽化状況の把握

- ・中央公園（管理事務所・トイレ）は老朽化度が3以上となっており、全体的に老朽化が進んでいる状況です。

図 3-37 老朽化状況（公園）

施設名称	延床面積 (㎡)	建築年度	老朽化度	老朽化度				
				健 全	←	→	老朽化	
中央公園	148	S55	3.0	1.0	2.0	3.0	4.0	5.0
双太山公園	220	H1	2.5					
春日浦公園	78	H10	2.2					

※複数の建物で構成されている施設の建築年度は、最も建築年度の古い建物をもとに掲載しています。

(2) コスト状況の把握

- ・中央公園、双太山公園、春日浦公園では指定管理料が発生しています。敷地面積の大きい中央公園のコストが高くなっています。

図 3-38 コスト状況（公園）

施設名称	市の支出（千円）				
	施設に係るコスト	事業運営に係るコスト	人に係るコスト	指定管理料	合計
中央公園	0	0	0	18,720	18,720
双太山公園	0	0	0	6,663	6,663
春日浦公園	0	0	0	3,808	3,808

施設名称	市の支出（千円）					
	0	4,000	8,000	12,000	16,000	20,000
中央公園						
双太山公園						
春日浦公園						

※支出額の値は6ヵ年度（平成26（2014）～令和元（2019）年度）の平均値を掲載しています。

3-5 学校教育施設（小学校、中学校、専門学校、その他（学校教育））

- ・小（中）学校は、学校教育法で「市町村はその区域内にある学齢児童（生徒）を就学させるに必要な小（中）学校を設置しなければならない。」と定められ、小学校は、心身の発達に応じて、初等普通教育を施すことを目的とし、中学校は、小学校における教育の基礎の上に、心身の発達に応じて、中等普通教育を施すことを目的として設置しています。
- ・地域社会に暮らす人々の健康と福祉に貢献できる看護師を育成することを目的に、ソフィア看護専門学校を設置しています。
- ・三谷小学校・塩津小学校・西浦小学校を除く小学校には、放課後に児童を預かる児童クラブが校内に設置されています。令和2年度から新たに蒲郡西部小学校の校内にも児童クラブが設置されました。
- ・市内の小中学校は構造体の耐震化は全て完了しており、災害時の拠点となることが期待されます。

図 3-39 配置状況・外観写真（学校教育施設）



蒲郡南部小学校



大塚中学校



ソフィア看護専門学校

3-5-1 小学校

(1) 老朽化状況の把握

- ・どの小学校も昭和 20 年代から 40 年代にかけて整備されています。
- ・中でも塩津小学校と竹島小学校は老朽化度が 3 以上となっており、全体的に老朽化が進んでいる状況です。

図 3-40 老朽化状況（小学校）

施設名称	延床面積 (㎡)	建築年度	老朽化度	老朽化度	
				健全 1.0 2.0	老朽化 3.0 4.0 5.0
蒲郡南部小学校	6,952	S24	2.5		
蒲郡東部小学校	5,231	S41	2.4		
蒲郡北部小学校	4,854	S27	2.7		
蒲郡西部小学校	3,756	S27	2.6		
三谷小学校	6,147	S32	2.7		
塩津小学校	7,278	S35	3.1		
大塚小学校	5,405	S31	2.8		
形原小学校	6,261	S42	2.9		
西浦小学校	6,242	S28	3.0		
形原北小学校	6,447	S41	2.7		
中央小学校	6,409	S41	2.6		
三谷東小学校	6,765	S32	2.8		
竹島小学校	6,055	S48	3.0		

※校内には複数の建物が建っていますが、建築年度は最も建築年度の古い建物（倉庫等を含む）をもとに掲載しています。蒲郡南部小学校は昭和 33（1958）年度、蒲郡東部小学校は昭和 46（1971）年度、中央小学校は昭和 43（1973）年度が、倉庫等を除く主な建物（校舎や体育館等）で最も古い建物の建築年度となります。

(2) 利用状況の把握

- ・この6か年では、三谷小学校、形原北小学校、中央小学校、三谷東小学校で児童の減少傾向がみられます。
- ・蒲郡西部小学校は、他の小学校に比べて児童1人あたり面積が広がっています。一方で、形原北小学校は児童1人あたり面積が狭くなっています。

図 3-41 利用状況（小学校）

施設名称	延床面積 (㎡)	児童数（人）						
		H26	H27	H28	H29	H30	R1	6年平均
蒲郡南部小学校	6,952	317	322	322	322	332	342	326
蒲郡東部小学校	5,231	289	288	296	294	284	297	291
蒲郡北部小学校	4,854	314	310	315	319	323	304	314
蒲郡西部小学校	3,756	72	77	70	70	67	71	71
三谷小学校	6,147	253	247	235	212	215	215	230
塩津小学校	7,278	528	552	535	527	527	512	530
大塚小学校	5,405	293	287	276	296	297	288	290
形原小学校	6,261	366	355	347	331	353	355	351
西浦小学校	6,242	218	226	235	245	245	241	235
形原北小学校	6,447	586	585	559	536	520	495	547
中央小学校	6,409	328	321	316	310	304	283	310
三谷東小学校	6,765	328	330	322	321	303	300	317
竹島小学校	6,055	320	330	339	338	329	335	332

施設名称	児童1人 あたり面積 (㎡/人)	児童1人あたり面積 (㎡/人)					
		0.0	15.0	30.0	45.0	60.0	75.0
蒲郡南部小学校	21.3						
蒲郡東部小学校	18.0						
蒲郡北部小学校	15.5						
蒲郡西部小学校	52.8						
三谷小学校	26.8						
塩津小学校	13.7						
大塚小学校	18.7						
形原小学校	17.8						
西浦小学校	26.6						
形原北小学校	11.6						
中央小学校	20.7						
三谷東小学校	21.3						
竹島小学校	18.2						

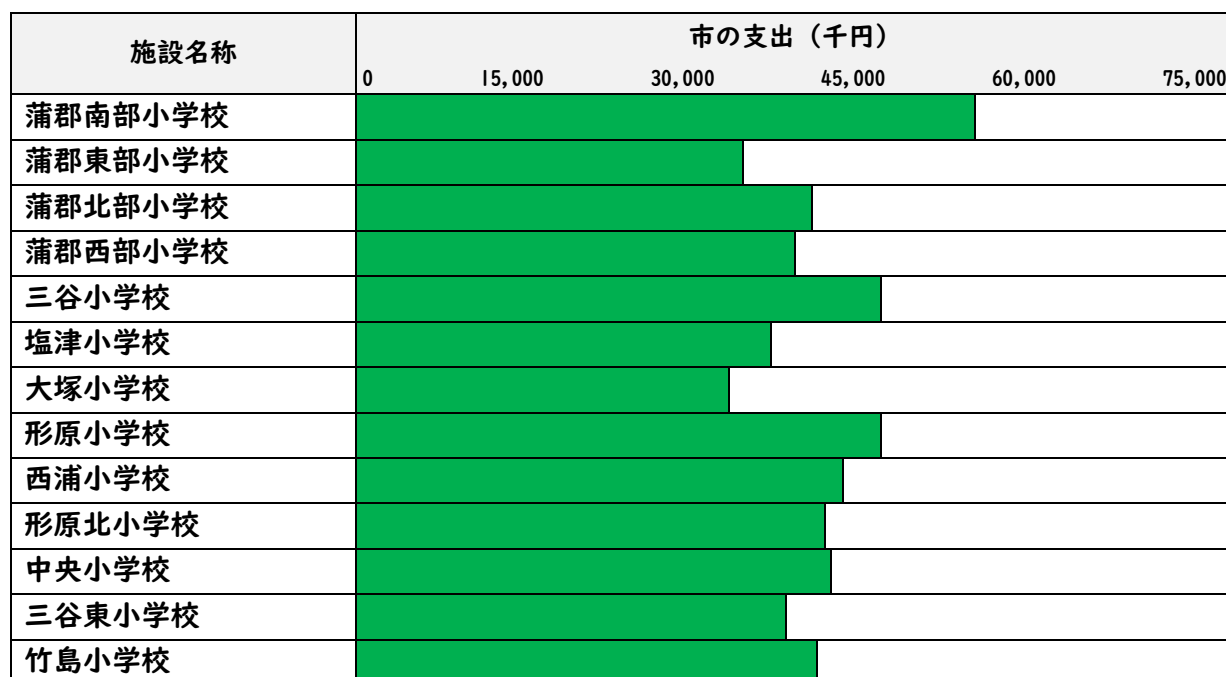
※利用状況の値は6か年度（平成26（2014）～令和元（2019）年度）の平均値を掲載しています。

(3) コスト状況の把握

- ・蒲郡南部小学校のコストが、他の小学校と比較すると高くなっていますが、他の学校については大きな差はなく、児童数によるコストの大きな違いは見られません。

図 3-42 コスト状況（小学校）

施設名称	市の支出（千円）				
	施設に係るコスト	事業運営に係るコスト	人に係るコスト	指定管理料	合計
蒲郡南部小学校	43,448	8,909	2,700	0	55,057
蒲郡東部小学校	24,464	8,701	2,700	0	35,865
蒲郡北部小学校	30,361	8,540	3,333	0	42,234
蒲郡西部小学校	30,059	7,692	2,700	0	40,451
三谷小学校	36,581	8,096	2,700	0	47,377
塩津小学校	25,576	10,165	2,700	0	38,440
大塚小学校	22,916	8,901	2,700	0	34,517
形原小学校	35,053	9,274	2,700	0	47,028
西浦小学校	33,815	8,165	2,700	0	44,679
形原北小学校	31,220	9,566	2,700	0	43,486
中央小学校	32,468	8,596	2,700	0	43,764
三谷東小学校	25,057	8,613	5,867	0	39,536
竹島小学校	31,013	8,961	2,700	0	42,674



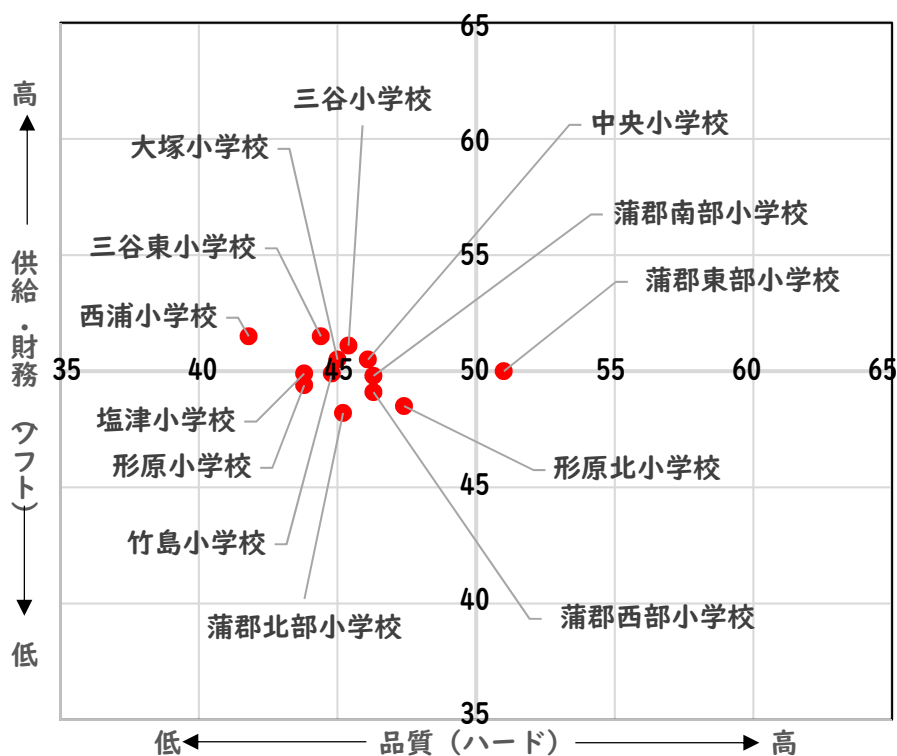
※支出額の値は6ヵ年度（平成26（2014）～令和元（2019）年度）の平均値を掲載しています。

(4) ポートフォリオ分析結果

- ・蒲郡東部小学校を除く小学校は、建物の品質の平均偏差値が50を下回っており、本市の公共施設の中でも老朽化が進んでいる状況です。
- ・改修工事の実施に伴い、平成26年度と比較すると、建物の品質の平均偏差値が向上している施設が多くなっています。

図 3-43 ポートフォリオ分析結果（小学校）

施設名称	延床面積 (㎡)	品質				品質 (ハード)	供給		財務		供給・財務 (ソフト)
		平均築年数	偏差値	老朽化度	偏差値	平均偏差値	児童1人 あたり面積 (㎡/人)	偏差値	児童1人 あたり 市負担額 (円/人)	偏差値	平均偏差値
蒲郡南部小学校	6,952	51.1	38.4	2.5	54.2	46.3 (+0.8)	21.3	49.5	166,802	50.1	49.8 (-1.6)
蒲郡東部小学校	5,231	40.4	46.4	2.4	55.6	51.0 (+0.9)	18.0	46.1	122,266	53.8	50.0 (-1.7)
蒲郡北部小学校	4,854	50.3	39.0	2.7	51.5	45.3 (+1.0)	15.5	43.6	134,940	52.8	48.2 (+0.3)
蒲郡西部小学校	3,756	49.3	39.7	2.6	52.9	46.3 (-1.0)	52.8	81.4	566,839	16.8	49.1 (-2.5)
三谷小学校	6,147	49.8	39.4	2.7	51.5	45.4 (+4.0)	26.8	55.1	201,816	47.2	51.1 (-1.6)
塩津小学校	7,278	46.8	41.6	3.1	46.1	43.9 (-1.6)	13.7	41.9	72,695	57.9	49.9 (-0.8)
大塚小学校	5,405	49.2	39.8	2.8	50.2	45.0 (-1.3)	18.7	46.9	119,378	54.1	50.5 (+0.5)
形原小学校	6,261	50.6	38.8	2.9	48.8	43.8 (+2.8)	17.8	46.0	133,352	52.9	49.4 (-2.4)
西浦小学校	6,242	54.0	36.2	3.0	47.5	41.8 (+1.6)	26.6	54.8	189,601	48.2	51.5 (+4.8)
形原北小学校	6,447	44.4	43.4	2.7	51.5	47.5 (+1.8)	11.8	39.9	81,692	57.2	48.5 (+3.6)
中央小学校	6,409	49.7	39.4	2.6	52.9	46.2 (+2.7)	20.7	48.9	143,124	52.1	50.5 (+3.0)
三谷東小学校	6,765	50.8	38.6	2.8	50.2	44.4 (+1.7)	21.3	49.5	125,577	53.5	51.5 (+0.1)
竹島小学校	6,055	46.2	42.1	3.0	47.5	44.8 (-1.1)	18.2	46.4	127,963	53.3	49.9 (-1.8)



※品質（ハード）の偏差値は、臨時・不使用施設及び企業会計施設を除く全施設を対象として算出しています。

※供給・財務（ソフト）の偏差値は、本項に掲載している施設のみを対象として算出しています。

※品質（ハード）及び供給・財務（ソフト）の偏差値のカッコ内の数値は、前白書における偏差値からの動きを示しています。

3-5-2 中学校

(1) 老朽化状況の把握

- ・どの中学校も昭和 30 年代から 50 年代にかけて整備されています。
- ・中でも三谷中学校、大塚中学校、西浦中学校は老朽化度が 3 以上となっており、老朽化が進んでいます。

図 3-44 老朽化状況（中学校）

施設名称	延床面積 (㎡)	建築年度	老朽化度	老朽化度				
				健全	2.0	3.0	4.0	老朽化
蒲郡中学校	9,383	S35	2.9					
三谷中学校	8,032	S47	3.2					
塩津中学校	7,010	S37	2.6					
大塚中学校	7,443	S32	3.0					
形原中学校	8,716	S40	2.7					
西浦中学校	7,004	S37	3.2					
中部中学校	7,640	S52	2.9					

※校内には複数の建物が建っていますが、建築年度は最も建築年度の古い建物（倉庫等を含む）をもとに掲載しています。形原中学校は昭和 44（1969）年度が、倉庫等を除く主な建物（校舎や体育館等）で最も古い建物の建築年度となります。

(2) 利用状況の把握

- ・この 6 か年では、大塚中学校、形原中学校、西浦中学校で特に生徒の減少傾向がみられます。
- ・大塚中学校と西浦中学校の生徒 1 人あたり面積が広がっています。一方で、蒲郡中学校と形原中学校は、生徒 1 人あたり面積が狭くなっています。

図 3-45 利用状況（中学校）

施設名称	延床面積 (㎡)	生徒数（人）						
		H26	H27	H28	H29	H30	R1	6 年平均
蒲郡中学校	9,383	499	465	477	482	517	492	489
三谷中学校	8,032	309	300	294	291	294	303	299
塩津中学校	7,010	285	247	253	260	257	268	262
大塚中学校	7,443	184	181	170	151	147	137	162
形原中学校	8,716	514	508	500	491	474	450	490
西浦中学校	7,004	135	115	105	95	101	99	108
中部中学校	7,640	341	366	333	337	334	370	347

施設名称	生徒 1 人 あたり面積 (㎡/人)	生徒 1 人あたり面積 (㎡/人)					
		0.0	15.0	30.0	45.0	60.0	75.0
蒲郡中学校	19.2						
三谷中学校	26.9						
塩津中学校	26.8						
大塚中学校	46.0						
形原中学校	17.8						
西浦中学校	64.7						
中部中学校	22.0						

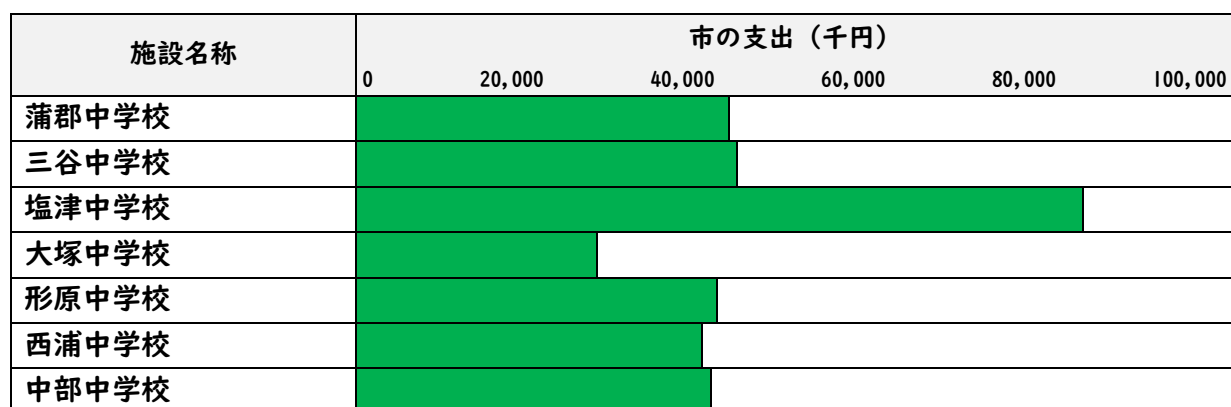
※利用状況の値は 6 か年度（平成 26（2014）～令和元（2019）年度）の平均値を掲載しています。

(3) コスト状況の把握

- ・体育館の大規模改修工事を実施した塩津中学校の施設に関するコストが他の中学校と比較すると高くなっていますが、生徒数によるコストの大きな違いは見られません。

図 3-46 コスト状況（中学校）

施設名称	市の支出（千円）				
	施設に係るコスト	事業運営に係るコスト	人に係るコスト	指定管理料	合計
蒲郡中学校	28,977	11,137	6,500	0	46,614
三谷中学校	35,825	9,112	2,700	0	47,637
塩津中学校	74,697	8,883	2,700	0	86,280
大塚中学校	18,178	8,031	3,967	0	30,175
形原中学校	30,552	10,166	2,700	0	43,418
西浦中学校	30,349	8,487	2,700	0	41,536
中部中学校	30,792	9,241	2,700	0	42,733



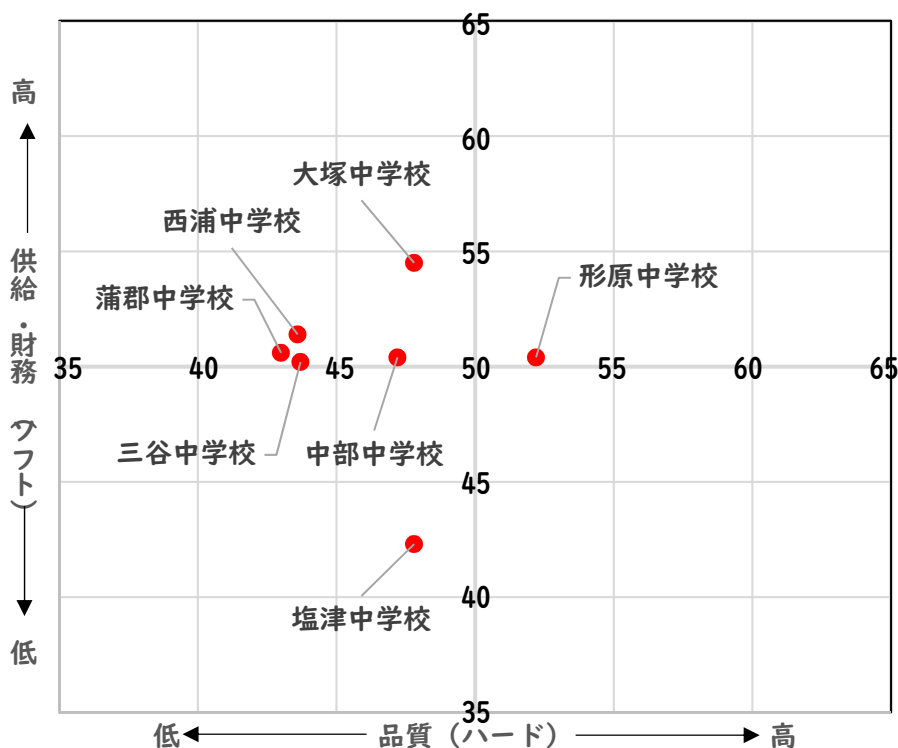
※支出額の値は6ヵ年度（平成26（2014）～令和元（2019）年度）の平均値を掲載しています。

(4) ポートフォリオ分析結果

- ・形原中学校を除く中学校は、建物の品質の平均偏差値が 50 を下回っており、本市の公共施設の中でも老朽化が進んでいる状況です。
- ・平成 26 年度と比較しても、塩津中学校を除き建物の品質の平均偏差値が低下しています。

図 3-47 ポートフォリオ分析結果（中学校）

施設名称	延床面積 (㎡)	品質				品質 (ハード)	供給		財務		供給・財務 (ソフト)
		平均築年数	偏差値	老朽化度	偏差値	平均偏差値	生徒1人 あたり面積 (㎡/人)	偏差値	生徒1人 あたり 市負担額 (円/人)	偏差値	平均偏差値
蒲郡中学校	9,383	52.5	37.3	2.9	48.8	43.1 (-2.7)	19.2	42.0	95,757	59.3	50.6 (-0.9)
三谷中学校	8,032	45.5	42.6	3.2	44.8	43.7 (-2.0)	26.9	46.9	158,929	53.6	50.2 (+1.6)
塩津中学校	7,010	45.3	42.7	2.6	52.9	47.8 (+5.2)	26.8	46.8	333,365	37.9	42.3 (-3.6)
大塚中学校	7,443	38.1	48.1	3.0	47.5	47.8 (-2.9)	46.0	58.9	196,128	50.2	54.5 (+4.0)
形原中学校	8,716	31.8	52.8	2.7	51.5	52.2 (-2.8)	17.8	41.2	91,429	59.7	50.4 (-2.9)
西浦中学校	7,004	45.8	42.4	3.2	44.8	43.6 (-6.7)	64.7	70.5	394,860	32.3	51.4 (-1.9)
中部中学校	7,640	41.5	45.6	2.9	48.8	47.2 (-3.3)	22.0	43.8	120,357	57.0	50.4 (+3.5)



※品質（ハード）の偏差値は、臨時・不使用施設及び企業会計施設を除く全施設を対象として算出しています。

※供給・財務（ソフト）の偏差値は、本項に掲載している施設のみを対象として算出しています。

※品質（ハード）及び供給・財務（ソフト）の偏差値のカッコ内の数値は、前白書における偏差値からの動きを示しています。

3-5-3 専門学校

(1) 老朽化状況の把握

- ・ソフィア看護専門学校は建築年数が 20 年程度であり、一部に老朽化がみられる状態です。

図 3-48 老朽化状況（専門学校）

施設名称	延床面積 (㎡)	建築年度	老朽化度	老朽化度				
				健全	←	→	老朽化	
				1.0	2.0	3.0	4.0	5.0
ソフィア看護専門学校	4,418	H10	2.3					

※複数の建物で構成されている施設の建築年度は、最も建築年度の古い建物をもとに掲載しています。

(2) 利用状況の把握

- ・ソフィア看護専門学校は毎年一定人数の学生数を確保しており、安定した利用状況となっています。

図 3-49 利用状況（専門学校）

施設名称	延床面積 (㎡)	学生数（人）						
		H26	H27	H28	H29	H30	R1	6年平均
ソフィア看護専門学校	4,418	116	110	117	109	109	113	112

施設名称	学生1人 あたり面積 (㎡/人)	学生1人あたり面積 (㎡/人)					
		0.0	10.0	20.0	30.0	40.0	50.0
ソフィア看護専門学校	39.3						

※利用状況の値は6ヵ年度（平成26（2014）～令和元（2019）年度）の平均値を掲載しています。

(3) コスト状況の把握

- ・支出項目別に見ると、人に係るコストの割合が大きくなっています。

図 3-50 コスト状況（専門学校）

施設名称	市の支出（千円）				
	施設に係るコスト	事業運営に係るコスト	人に係るコスト	指定管理料	合計
ソフィア看護専門学校	14,985	15,085	104,533	0	134,602

施設名称	市の支出（千円）					
	0	30,000	60,000	90,000	120,000	150,000
ソフィア看護専門学校						

※支出額の値は6ヵ年度（平成26（2014）～令和元（2019）年度）の平均値を掲載しています。

3-5-4 その他（学校教育）

(1) 老朽化状況の把握

- ・学校給食センターは建築年数が15年程度であり、比較的健全な状態を維持しています。

図 3-51 老朽化状況（その他（学校教育））

施設名称	延床面積 (㎡)	建築年度	老朽化度	老朽化度				
				健 全	←	→	老朽化	
				1.0	2.0	3.0	4.0	5.0
学校給食センター	3,692	H16	1.9					

※複数の建物で構成されている施設の建築年度は、最も建築年度の古い建物をもとに掲載しています。

(2) 利用状況の把握

- ・学校給食センターは、稼働日1日あたり約6,000食を配食しています。
- ・小中学校の児童・生徒数の減少に伴い、配食数は減少する傾向にあります。

図 3-52 利用状況（その他（学校教育））

施設名称	延床面積 (㎡)	配食数（食）						
		H26	H27	H28	H29	H30	R1	6年平均
学校給食センター	3,692	1,506,470	1,463,133	1,453,224	1,460,106	1,451,028	1,328,842	1,443,801

施設名称	稼働日1日 あたり配食数 (食/日)	稼働日1日あたり配食数 (食/日)					
		0	2,000	4,000	6,000	8,000	10,000
学校給食センター	5,924.1						

※利用状況の値は6ヵ年度（平成26（2014）～令和元（2019）年度）の平均値を掲載しています。

※令和元（2019）年度は、新型コロナウイルス感染症の影響に伴う休校期間があります。

(3) コスト状況の把握

- ・支出項目別に見ると、事業運営に係るコストの割合が大きくなっています。

図 3-53 コスト状況（その他（学校教育））

施設名称	市の支出（千円）				
	施設に係るコスト	事業運営に係るコスト	人に係るコスト	指定管理料	合計
学校給食センター	96,252	538,370	35,000	0	669,622

施設名称	市の支出（千円）					
	0	150,000	300,000	450,000	600,000	750,000
学校給食センター						

※支出額の値は6ヵ年度（平成26（2014）～令和元（2019）年度）の平均値を掲載しています。

【参考：類似自治体との小中学校の整備状況比較】

- ・第2章「2-6-4 類似自治体との公共施設整備状況比較」で比較対象とした、滋賀県守山市、茨城県牛久市、愛知県知多市、奈良県大和郡山市と市立小中学校の整備状況を比較します。
- ・本市は類似4自治体よりも小中学校数が多くなっています。また、児童・生徒数の違いを考慮し、児童・生徒1人あたりの学校延床面積を比較しても、本市は他の自治体より小中学校が多い状況であることがわかります。

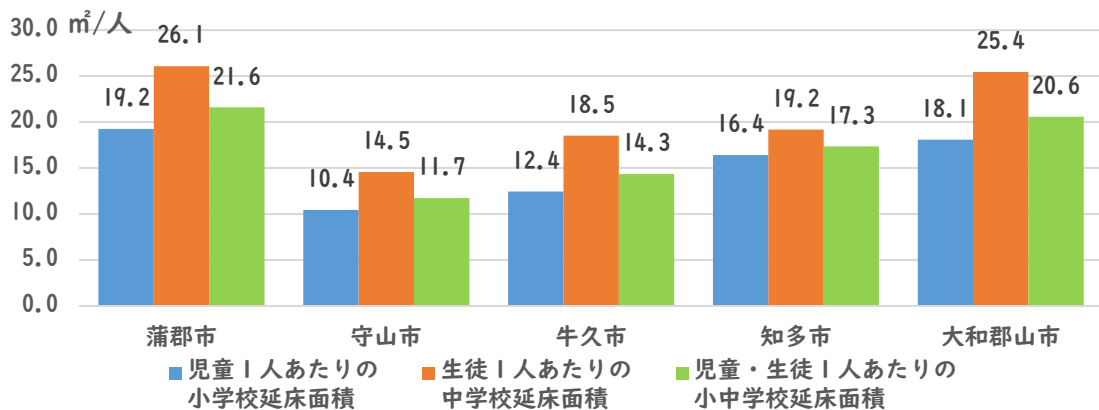
図 3-54 類似4自治体との小中学校の整備状況比較

	蒲郡市	滋賀県 守山市	茨城県 牛久市	愛知県 知多市	奈良県 大和郡山市
小学校数（校）	13	9	8	10	11
小学校児童数（人）	4,038	5,854	4,799	4,796	4,046
小学校延床面積（㎡）	77,695	61,070	59,666	78,653	73,159
中学校数（校）	7	4	5	5	5
中学校生徒数（人）	2,119	2,668	2,171	2,472	2,060
中学校延床面積（㎡）	55,229	38,816	40,169	47,409	52,393

※類似自治体についての詳細は17ページをご覧ください。

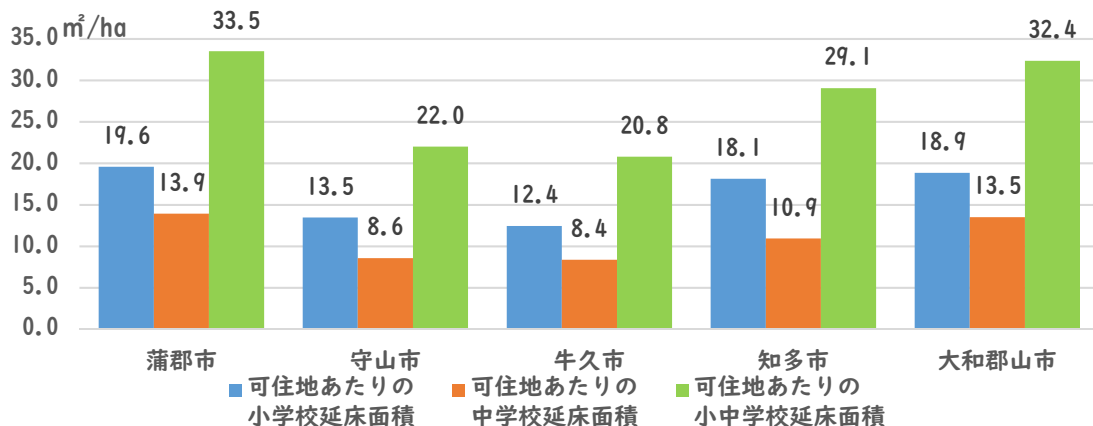
出所：公共施設状況調、学校基本調査、各自治体ホームページ

図 3-55 児童・生徒1人あたりの延床面積
(小学校、中学校、小中学校)



出所：公共施設状況調、学校基本調査、各自治体ホームページ

図 3-56 可住地あたりの学校延床面積
(小学校、中学校、小中学校)



出所：公共施設状況調、統計でみる市町村のすがた

3-6 児童福祉施設（保育園、児童館）

- ・ 保育園は、保護者が就労等の理由により日中家庭で保育することができない場合に、保護者に代わって保育するための施設です。子どもが、生涯にわたる人間形成の基礎を培う重要な時期に、その生活時間の大半を過ごすところです。
- ・ 塩津北保育園は令和2（2020）年度末に廃園となりました。
- ・ 児童館は、児童に健全な遊びを与え、その健康を増進し、情操を豊かにするための施設として設置されています。
- ・ 塩津保育園及びかたはら児童館を除く6つの児童館には、放課後に児童を預かる児童クラブが設置されています。また、形原北保育園には西部子育て支援センターが設置されています。
- ・ おおつか児童館の一部は地域集会施設として地域に貸し出しています。

図 3-57 配置状況・外観写真（児童福祉施設）



三谷西保育園



にしうら児童館



南部保育園・がまごおり児童館
(複合施設)

3-6-1 保育園

(1) 老朽化状況の把握

- ・ほとんどの保育園が昭和 40 年代から 50 年代にかけて整備され、築 30 年以上が経過しています。多くの保育園で老朽化度が 3 以上となっており、全体的に老朽化が進んでいる状況です。
- ・南部保育園は、平成 23 (2011) 年度に建替えられたため、良好な状態を維持しています。

図 3-58 老朽化状況（保育園）

施設名称	延床面積 (㎡)	建築年度	老朽化度	老朽化度	
				健全 1.0 2.0 3.0 4.0 5.0	老朽化
東部保育園	812	S44	3.1		
北部保育園	1,140	S54	3.2		
西部保育園	660	S52	2.7		
塩津保育園	933	S44	3.1		
大塚保育園	684	S45	3.1		
府相保育園	1,112	S45	3.0		
三谷東保育園	1,229	S48	3.0		
大塚西保育園	530	S47	3.1		
三谷西保育園	1,002	S46	3.0		
形原保育園	904	S45	2.8		
中部保育園	1,308	S51	2.8		
南部保育園	1,088	H23	1.1		
形原南保育園	1,201	S55	3.1		
西浦保育園	1,184	S57	3.1		
形原北保育園	921	S42	3.6		
塩津北保育園	552	S53	2.8		

※複数の建物で構成されている施設の建築年度は、最も建築年度の古い建物をもとに掲載しています。

(2) 利用状況の把握

- ・塩津保育園、大塚西保育園、塩津北保育園の園児1人あたり面積が比較的広がっています。
- ・北部保育園、中部保育園、南部保育園の園児1人あたり面積は比較的狭くなっています。

図 3-59 利用状況（保育園）

施設名称	延床面積 (㎡)	園児数（人）						
		H26	H27	H28	H29	H30	R1	6年平均
東部保育園	812	59	59	62	55	56	46	56
北部保育園	1,140	119	128	117	115	113	111	117
西部保育園	660	37	37	47	50	55	50	46
塩津保育園	933	45	30	26	30	29	42	34
大塚保育園	684	65	69	63	58	62	74	65
府相保育園	1,112	109	101	98	116	109	120	109
三谷東保育園	1,229	129	122	109	108	119	116	117
大塚西保育園	530	32	30	33	25	24	15	27
三谷西保育園	1,002	67	63	65	68	77	82	70
形原保育園	904	72	71	75	84	87	88	80
中部保育園	1,308	123	138	138	137	151	141	138
南部保育園	1,088	131	144	141	142	150	153	144
形原南保育園	1,201	79	82	88	90	85	74	83
西浦保育園	1,184	94	106	92	90	94	94	95
形原北保育園	921	79	90	84	87	83	76	83
塩津北保育園	552	55	42	41	35	24	11	35

施設名称	園児1人 あたり面積 (㎡/人)	園児1人あたり面積 (㎡/人)					
		0.0	10.0	20.0	30.0	40.0	50.0
東部保育園	14.5						
北部保育園	9.7						
西部保育園	14.3						
塩津保育園	27.7						
大塚保育園	10.5						
府相保育園	10.2						
三谷東保育園	10.5						
大塚西保育園	20.0						
三谷西保育園	14.3						
形原保育園	11.4						
中部保育園	9.5						
南部保育園	7.6						
形原南保育園	14.5						
西浦保育園	12.5						
形原北保育園	11.1						
塩津北保育園	15.9						

※利用状況の値は6ヵ年度（平成26（2014）～令和元（2019）年度）の平均値を掲載しています。

【参考】保育園の年齢別利用状況

- ・ 東部保育園、塩津保育園、大塚保育園、大塚西保育園、形原北保育園、塩津北保育園を除く 10 園で、0 歳児から低年齢児保育を行っています。上記の 6 園のうち、東部保育園、塩津保育園、大塚保育園については、平成 30（2018）年度から 2 歳児のみ、低年齢児保育を開始しました。
- ・ 西部保育園、府相保育園、三谷西保育園、形原保育園、中部保育園、南部保育園では、園児数は増加傾向にあります。
- ・ 東部保育園、大塚西保育園、塩津北保育園は園児数が減少傾向にあります。低年齢児保育を行っていない保育園において、園児数が減少する傾向にあります。

図 3-60 平成 26～令和元年度の年齢別利用状況（保育園）

施設名称	園児数（人）							
	年度	0 歳児	1 歳児	2 歳児	3 歳児	4 歳児	5 歳児	合計
東部保育園	H26	—	—	—	15	26	18	59
	H27	—	—	—	16	17	26	59
	H28	—	—	—	22	20	20	62
	H29	—	—	—	11	23	21	55
	H30	—	—	6	12	12	26	56
	R1	—	—	6	15	12	13	46
北部保育園	H26	6	7	18	32	34	22	119
	H27	3	17	12	31	31	34	128
	H28	6	12	15	21	30	33	117
	H29	9	10	17	25	21	33	115
	H30	6	16	17	23	29	22	113
	R1	3	15	17	23	24	29	111
西部保育園	H26	0	4	6	10	5	12	37
	H27	2	4	6	8	12	5	37
	H28	6	5	5	13	8	10	47
	H29	3	6	8	14	11	8	50
	H30	3	11	12	6	13	10	55
	R1	7	6	4	14	6	13	50
塩津保育園	H26	—	—	—	8	18	19	45
	H27	—	—	—	5	9	16	30
	H28	—	—	—	7	9	10	26
	H29	—	—	—	9	8	13	30
	H30	—	—	5	3	11	10	29
	R1	—	—	4	18	7	13	42
大塚保育園	H26	—	—	—	15	26	24	65
	H27	—	—	—	19	25	25	69
	H28	—	—	—	14	23	26	63
	H29	—	—	—	18	17	23	58
	H30	—	—	6	17	20	19	62
	R1	—	—	11	20	18	25	74
府相保育園	H26	3	8	12	28	29	29	109
	H27	6	5	11	22	26	31	101
	H28	6	6	12	25	25	24	98
	H29	6	23	11	23	26	27	116
	H30	6	11	23	20	25	24	109
	R1	6	12	18	33	22	29	120
三谷東保育園	H26	5	12	22	28	29	33	129
	H27	3	12	18	30	30	29	122
	H28	6	12	15	20	28	28	109
	H29	5	15	16	25	22	25	108
	H30	6	17	19	23	29	25	119
	R1	5	17	17	23	25	29	116

施設名称	園児数（人）							
	年度	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	合計
大塚西保育園	H26	—	—	—	8	13	11	32
	H27	—	—	—	8	9	13	30
	H28	—	—	—	12	8	13	33
	H29	—	—	—	5	12	8	25
	H30	—	—	—	6	5	13	24
	R1	—	—	—	4	6	5	15
三谷西保育園	H26	0	6	10	16	14	21	67
	H27	3	6	12	11	17	14	63
	H28	7	5	6	15	15	17	65
	H29	5	5	11	15	17	15	68
	H30	3	12	11	15	21	15	77
	R1	3	16	11	19	14	19	82
形原保育園	H26	0	10	10	12	14	26	72
	H27	3	6	13	21	14	14	71
	H28	3	12	12	12	23	13	75
	H29	3	11	16	20	13	21	84
	H30	6	6	18	21	21	15	87
	R1	6	8	12	19	24	19	88
中部保育園	H26	3	15	13	21	36	35	123
	H27	6	17	24	24	29	38	138
	H28	5	17	20	40	27	29	138
	H29	6	21	22	27	34	27	137
	H30	3	21	23	40	26	38	151
	R1	3	23	22	28	39	26	141
南部保育園	H26	5	16	16	30	31	33	131
	H27	6	15	23	34	35	31	144
	H28	3	19	16	32	36	35	141
	H29	3	14	23	29	39	34	142
	H30	3	17	24	39	31	36	150
	R1	3	18	22	39	40	31	153
形原南保育園	H26	3	9	11	17	20	19	79
	H27	2	10	11	22	16	21	82
	H28	6	12	11	20	23	16	88
	H29	3	12	12	15	24	24	90
	H30	7	5	16	13	19	25	85
	R1	5	4	10	19	18	18	74
西浦保育園	H26	3	5	10	21	29	26	94
	H27	1	8	9	28	28	32	106
	H28	1	4	12	17	29	29	92
	H29	6	10	6	22	17	29	90
	H30	3	9	18	18	26	20	94
	R1	5	10	9	26	18	26	94
形原北保育園	H26	—	—	—	21	32	26	79
	H27	—	—	—	29	28	33	90
	H28	—	—	—	19	33	32	84
	H29	—	—	—	29	24	34	87
	H30	—	—	—	21	36	26	83
	R1	—	—	—	12	27	37	76
塩津北保育園	H26	—	—	—	12	17	26	55
	H27	—	—	—	15	13	14	42
	H28	—	—	—	13	17	11	41
	H29	—	—	—	4	14	17	35
	H30	—	—	—	6	4	14	24
	R1	—	—	—	0	7	4	11

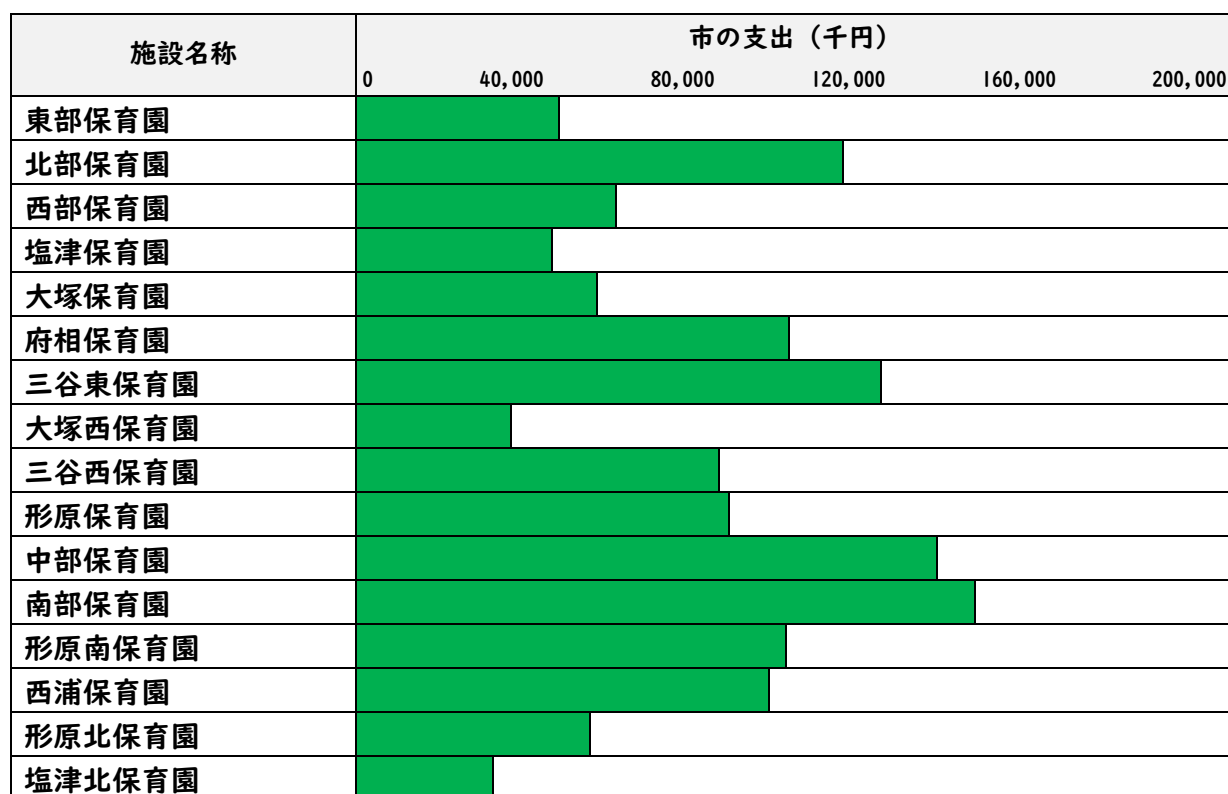
※データのない箇所は受け入れをしていない年齢です。

(3) コスト状況の把握

- ・ 保育園の規模に応じてコストが高くなっており、園児数の多い北部保育園、三谷東保育園、中部保育園、南部保育園は相対的にコストが高い状況です。

図 3-61 コスト状況（保育園）

施設名称	市の支出（千円）				
	施設に係るコスト	事業運営に係るコスト	人に係るコスト	指定管理料	合計
東部保育園	3,427	9,672	36,817	0	49,916
北部保育園	5,803	24,089	88,167	0	118,058
西部保育園	5,637	15,189	46,833	0	67,660
塩津保育園	6,232	10,386	30,683	0	47,301
大塚保育園	5,913	12,073	43,050	0	61,036
府相保育園	4,989	26,430	77,517	0	108,936
三谷東保育園	5,895	30,108	91,317	0	127,319
大塚西保育園	5,233	8,177	25,633	0	39,043
三谷西保育園	4,936	19,517	64,700	0	89,152
形原保育園	6,691	20,023	65,967	0	92,681
中部保育園	5,418	31,326	107,850	0	144,594
南部保育園	7,572	40,148	104,867	0	152,586
形原南保育園	5,590	21,176	79,867	0	106,633
西浦保育園	8,531	20,289	72,833	0	101,654
形原北保育園	4,126	14,921	44,933	0	63,981
塩津北保育園	3,032	8,075	24,633	0	35,740



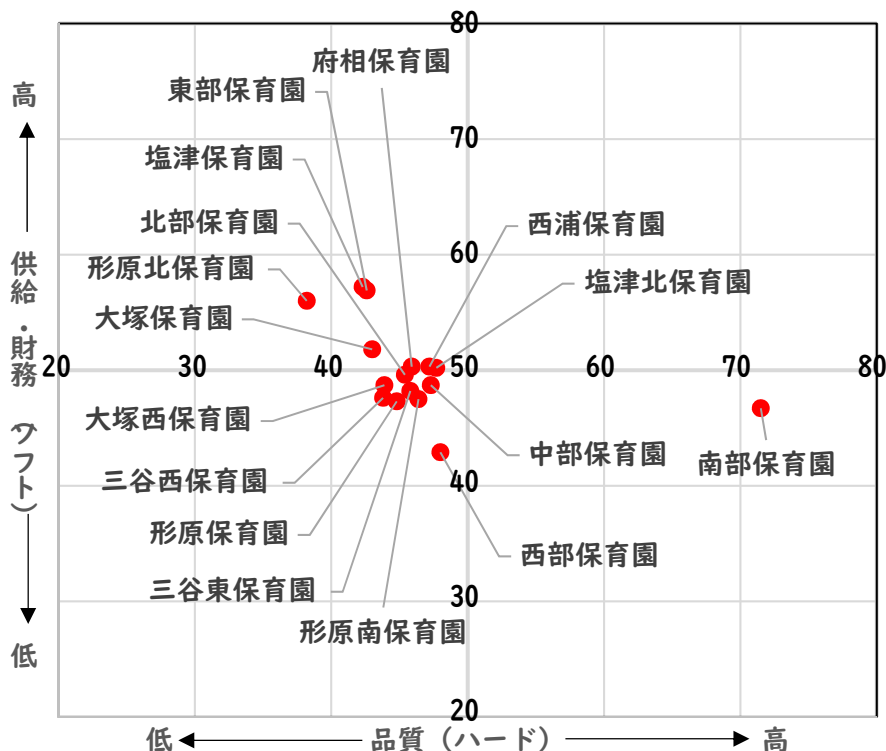
※支出額の値は6ヵ年度（平成26（2014）～令和元（2019）年度）の平均値を掲載しています。

(4) ポートフォリオ分析結果

- ・建物の品質については、南部保育園を除いて平均偏差値が50以下となっており、本市の公共施設の中でも老朽化が進んでいる状況です。
- ・供給・財務については、西部保育園の平均偏差値が低くなっています。

図 3-62 ポートフォリオ分析結果（保育園）

施設名称	延床面積 (㎡)	品質				品質 (ハード) 平均偏差値	供給		財務		供給・財務 (ソフト) 平均偏差値
		平均築年数	偏差値	老朽化度	偏差値		園児1人 あたり面積 (㎡/人)	偏差値	園児1人 あたり 市負担額 (円/人)	偏差値	
東部保育園	812	50.3	39.0	3.1	46.1	42.6 (0.0)	14.5	52.3	701,532	61.6	56.9 (-1.4)
北部保育園	1,140	41.0	46.0	3.2	44.8	45.4 (-1.1)	9.7	42.3	799,922	57.0	49.6 (+2.9)
西部保育園	660	43.0	44.5	2.7	51.5	48.0 (-2.7)	14.3	52.0	1,293,452	33.8	42.9 (+2.0)
塩津保育園	933	51.0	38.5	3.1	46.1	42.3 (+0.2)	27.7	80.3	1,286,083	34.1	57.2 (-3.7)
大塚保育園	684	49.0	40.0	3.1	46.1	43.0 (-0.9)	10.5	43.9	743,697	59.6	51.8 (+1.7)
府相保育園	1,112	43.3	44.2	3.0	47.5	45.9 (-1.7)	10.2	43.3	793,709	57.3	50.3 (+4.6)
三谷東保育園	1,229	43.4	44.2	3.0	47.5	45.8 (+0.6)	10.5	43.9	894,594	52.5	48.2 (+0.7)
大塚西保育園	530	46.6	41.8	3.1	46.1	43.9 (+0.5)	20.0	64.0	1,299,632	33.5	48.7 (-6.3)
三谷西保育園	1,002	48.9	40.0	3.0	47.5	43.8 (+0.6)	14.3	51.8	1,089,233	43.4	47.6 (0.0)
形原保育園	904	49.7	39.4	2.8	50.2	44.8 (-2.3)	11.4	45.8	972,632	48.9	47.3 (-2.8)
中部保育園	1,308	43.0	44.5	2.8	50.2	47.3 (-0.8)	9.5	41.8	828,778	55.6	48.7 (-2.1)
南部保育園	1,088	9.0	69.9	1.1	73.1	71.5 (-1.1)	7.6	37.8	828,783	55.6	46.7 (-1.4)
形原南保育園	1,201	40.0	46.7	3.1	46.1	46.4 (+2.3)	14.5	52.3	1,104,549	42.7	47.5 (-1.6)
西浦保育園	1,184	37.9	48.3	3.1	46.1	47.2 (-1.4)	12.5	48.1	893,601	52.6	50.3 (-0.6)
形原北保育園	921	53.0	37.0	3.6	39.4	38.2 (-1.1)	11.1	45.1	591,621	66.8	56.0 (+1.5)
塩津北保育園	552	42.0	45.2	2.8	50.2	47.7 (+0.9)	15.9	55.4	1,055,137	45.0	50.2 (-2.4)



※品質（ハード）の偏差値は、臨時・不使用施設及び企業会計施設を除く全施設を対象として算出しています。

※供給・財務（ソフト）の偏差値は、本項に掲載している施設のみを対象として算出しています。

※品質（ハード）及び供給・財務（ソフト）の偏差値のカッコ内の数値は、前白書における偏差値からの動きを示しています。

3-6-2 児童館

(1) 老朽化状況の把握

- ・児童館はいずれも平成 3（1991）年度以降の建設であり、比較的健全な状態を維持しています。
- ・かたはら児童館は児童館の中では最も古く、相対的に老朽化が進んでいます。

図 3-63 老朽化状況（児童館）

施設名称	延床面積 (㎡)	建築年度	老朽化度	老朽化度	
				健 全 1.0 2.0	老朽化 3.0 4.0 5.0
おおつか児童館	486	H11	2.2		
みや児童館	490	H8	2.2		
がまごおり児童館	591	H23	1.3		
ちゅうぶ児童館	569	H17	2.1		
しおつ児童館	510	H13	2.0		
かたはら児童館	349	H3	2.9		
にしうら児童館	491	H13	2.0		

※複数の建物で構成されている施設の建築年度は、最も建築年度の古い建物をもとに掲載しています。
 ※おおつか児童館の延床面積には、地域集会施設の面積を含んでいます。

(2) 利用状況の把握

- ・がまごおり児童館とちゅうぶ児童館の1日あたり平均利用者数が多くなっています。
- ・ちゅうぶ児童館とかたはら児童館は、面積あたり1日あたり平均利用者数が比較的多い結果となっています。

図 3-64 利用状況（児童館）

施設名称	延床面積 (㎡)	利用者数（人）						
		H26	H27	H28	H29	H30	R1	6年平均
おおつか児童館	486	15,332	15,598	17,789	17,469	17,085	14,701	16,329
みや児童館	490	23,440	24,810	23,726	23,490	22,296	18,485	22,708
がまごおり児童館	591	26,797	31,986	30,763	31,834	29,472	25,974	29,471
ちゅうぶ児童館	569	34,281	32,745	33,595	32,074	27,277	26,606	31,096
しおつ児童館	510	26,760	29,097	26,865	23,412	26,147	20,522	25,467
かたはら児童館	349	21,891	23,124	23,567	22,783	20,513	14,660	21,090
にしうら児童館	491	18,272	18,760	22,750	22,475	21,794	18,891	20,490

施設名称	1日あたり 平均利用者数 (人/日)	面積あたり 1日あたり 平均利用者数 (人/㎡・日)	面積あたり1日あたり平均利用者数 (人/㎡・日)					
			0.00	0.05	0.10	0.15	0.20	0.25
おおつか児童館	57.1	0.147						
みや児童館	79.0	0.161						
がまごおり児童館	102.7	0.174						
ちゅうぶ児童館	108.7	0.191						
しおつ児童館	88.4	0.173						
かたはら児童館	73.2	0.210						
にしうら児童館	71.4	0.145						

※利用状況の値は6ヵ年度（平成26（2014）～令和元（2019）年度）の平均値を掲載しています。

※令和元（2019）年度は、新型コロナウイルス感染症の影響に伴う休館期間があります。

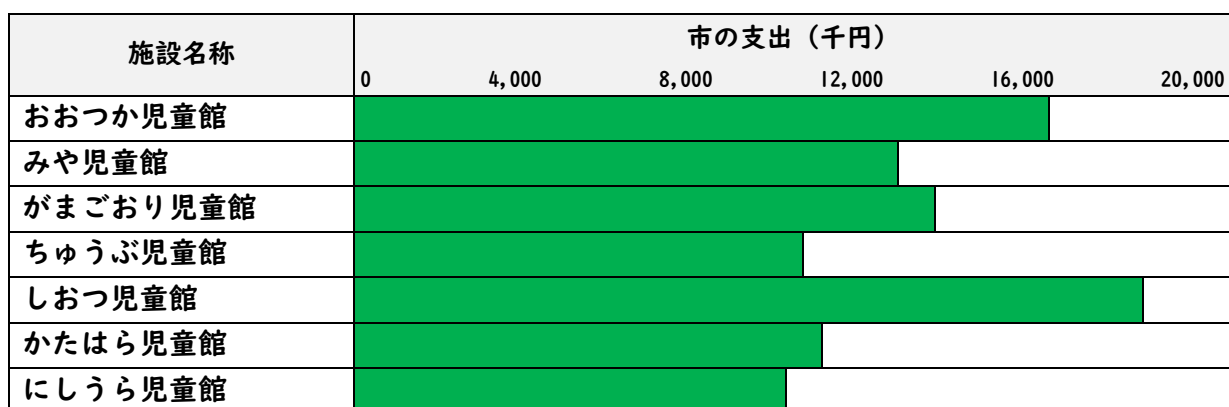
※おおつか児童館の面積あたり利用者数については、地域集会施設の面積を除外して算出しています。

(3) コスト状況の把握

・おおつか児童館としおつ児童館のコストが高くなっています。

図 3-65 コスト状況（児童館）

施設名称	市の支出（千円）				
	施設に係るコスト	事業運営に係るコスト	人に係るコスト	指定管理料	合計
おおつか児童館	7,994	4,428	4,233	0	16,655
みや児童館	4,796	4,518	3,600	0	12,914
がまごおり児童館	2,583	4,419	6,767	0	13,769
ちゅうぶ児童館	2,733	4,408	3,600	0	10,741
しおつ児童館	6,488	4,762	7,400	0	18,649
かたはら児童館	2,306	4,769	4,233	0	11,309
にしうら児童館	2,137	4,563	3,600	0	10,300



※支出額の値は6ヵ年度（平成26（2014）～令和元（2019）年度）の平均値を掲載しています。

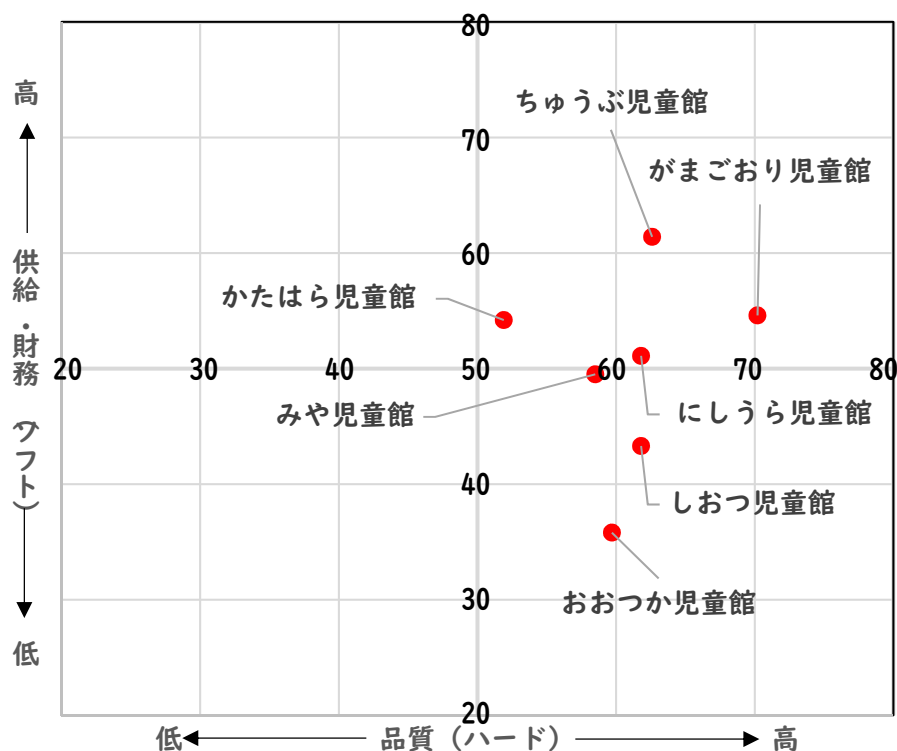
※おおつか児童館のコストには、地域集会施設に関する市の支出を含んでいます。

(4) ポートフォリオ分析結果

- ・建物の品質の平均偏差値は、どの施設も平成 26 年度よりも低下しているものの、50 以上を維持しており、本市の公共施設の中では良好な状態を維持しています。
- ・おおつか児童館、みや児童館、しおつ児童館は、供給・財務の平均偏差値が 50 以下となっています。

図 3-66 ポートフォリオ分析結果（児童館）

施設名称	延床面積 (㎡)	品質				品質 (ハード) 平均偏差値	供給		財務				供給・財務 (ソフト) 平均偏差値
		平均築年数	偏差値	老朽化度	偏差値		面積あたり 1日あたり 平均利用者数 (人/㎡・日)	偏差値	面積あたり 市負担額 (円/㎡)	偏差値	利用者1人 あたり 1日あたり 市負担額 (円/人・日)	偏差値	
おおつか児童館	486	21.0	60.9	2.2	58.3	59.6 (-1.1)	0.147	38.5	33,995	39.8	3.64	29.0	35.8 (-2.0)
みや児童館	490	24.0	58.7	2.2	58.3	58.5 (-4.4)	0.161	45.2	26,375	51.7	1.98	51.7	49.5 (-3.3)
がまごおり児童館	591	9.0	69.9	1.3	70.4	70.2 (-1.2)	0.174	51.0	23,298	56.5	1.65	56.3	54.6 (-1.6)
ちゅうぶ児童館	569	15.0	65.4	2.1	59.6	62.5 (-0.2)	0.191	59.0	18,886	63.3	1.24	62.0	61.4 (-0.1)
しおつ児童館	510	19.0	62.4	2.0	61.0	61.7 (-4.8)	0.173	50.8	36,567	35.8	2.59	43.4	43.3 (-3.1)
かたはら児童館	349	29.0	54.9	2.9	48.8	51.9 (-2.0)	0.210	67.7	32,419	42.3	1.92	52.7	54.2 (+5.3)
にしうら児童館	491	19.0	62.4	2.0	61.0	61.7 (-1.1)	0.145	37.8	20,591	60.7	1.75	54.9	51.1 (+4.6)



※品質（ハード）の偏差値は、臨時・不使用施設及び企業会計施設を除く全施設を対象として算出しています。

※供給・財務（ソフト）の偏差値は、本項に掲載している施設のみを対象として算出しています。

※品質（ハード）及び供給・財務（ソフト）の偏差値のカッコ内の数値は、前白書における偏差値からの動きを示しています。ただし、前白書では利用者1人あたり1日あたり市負担額は分析の指標としていなかったため、供給・財務（ソフト）の前白書における偏差値は、利用者1人あたり1日あたり市負担額も加味したものに再計算したうえで比較しています。

※おおつか児童館の面積あたり利用者数については、地域集会施設の面積を除外して算出しています。

【参考】児童クラブについて

- ・児童クラブは、保護者が就労等の理由により昼間家庭にいない児童に対し、放課後から夕方まで、遊びと生活の場を提供するものです。
- ・児童クラブは単体の施設ではなく他の施設に併設されているため、本白書の対象施設ではありませんが、子育て世帯には重要な機能であり、併設が想定される施設を検討する際には重要な要素のひとつとなるため、利用状況について示します。
- ・低学年の児童を中心に利用されており、この5年間で利用児童は3割以上増加しています。ニーズの拡大に対応するため、クラブの増設を行っていますが、開設場所の確保が困難な場合も多く、小学校内に限らず、近隣の児童館、保育園、公民館などで開設しているクラブもあります。

図 3-67 平成 26～令和元年度の学年別利用状況（児童クラブ）

クラブ名称 (カッコは対象学校)	利用児童数(人)							
	年度	1 年生	2 年生	3 年生	4 年生	5 年生	6 年生	合計
おおつか児童館 児童クラブ (大塚小学校)	H26	8	10	2	0	0	0	20
	H27	14	8	7	0	0	0	29
	H28	16	14	8	0	0	0	38
	H29	17	12	8	0	0	0	37
	H30	21	14	—	—	—	—	35
	R1	14	14	—	—	—	—	28
大塚小 児童クラブ (大塚小学校)	H26	—	—	—	—	—	—	—
	H27	—	—	—	—	—	—	—
	H28	—	—	—	—	—	—	—
	H29	—	—	—	—	—	—	—
	H30	—	—	8	3	0	0	11
	R1	—	—	9	5	1	0	15
三谷東小 児童クラブ (三谷東小学校)	H26	14	11	3	0	0	0	28
	H27	14	11	7	2	0	0	34
	H28	16	14	8	2	0	0	40
	H29	20	12	7	0	0	0	39
	H30	12	17	7	2	0	0	38
	R1	15	12	10	2	1	0	40
みや児童館 児童クラブ (三谷小学校)	H26	10	11	7	0	0	0	28
	H27	12	9	7	3	0	0	31
	H28	5	7	3	1	0	0	16
	H29	6	6	7	0	0	0	19
	H30	12	2	4	0	0	0	18
	R1	17	4	2	0	0	0	23
竹島小 児童クラブ (竹島小学校)	H26	10	7	13	0	0	0	30
	H27	24	9	2	0	0	0	35
	H28	19	11	2	0	0	0	32
	H29	24	17	7	0	0	0	48
	H30	25	15	12	0	0	0	52
	R1	19	19	7	5	0	0	50
がまごおり児童館 児童クラブ (蒲郡南部小学校)	H26	16	16	10	0	0	0	42
	H27	19	14	15	0	0	0	48
	H28	20	16	11	3	0	0	50
	H29	25	19	7	0	0	0	51
	H30	28	22	—	—	—	—	50
	R1	20	21	—	—	—	—	41
蒲郡南部小 児童クラブ (蒲郡南部小学校)	H26	—	—	—	—	—	—	—
	H27	—	—	—	—	—	—	—
	H28	—	—	—	—	—	—	—
	H29	—	—	—	—	—	—	—
	H30	—	—	17	1	0	0	18
	R1	—	—	11	4	1	0	16

クラブ名称 (カッコは対象学校)	利用児童数(人)							
	年度	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	合計
蒲郡東部小 児童クラブ (蒲郡東部小学校)	H26	18	12	10	0	0	0	40
	H27	15	16	7	0	0	0	38
	H28	17	16	4	0	0	0	37
	H29	15	15	5	0	0	0	35
	H30	20	13	8	2	0	0	43
	R1	16	21	—	—	—	—	37
東部公民館 児童クラブ (蒲郡東部小学校)	H26	—	—	—	—	—	—	—
	H27	—	—	—	—	—	—	—
	H28	—	—	—	—	—	—	—
	H29	—	—	—	—	—	—	—
	H30	—	—	—	—	—	—	—
	R1	—	—	13	3	1	0	17
蒲郡北部小 児童クラブ (蒲郡北部小学校)	H26	16	14	5	0	0	0	35
	H27	9	16	7	1	0	0	33
	H28	10	11	13	4	1	0	39
	H29	21	9	7	0	0	0	37
	H30	28	16	—	—	—	—	44
	R1	16	20	—	—	—	—	36
ちゅうぶ児童館 児童クラブ (蒲郡西部小学校) (蒲郡北部小学校)	H26	5	2	3	0	0	0	10
	H27	6	2	1	1	1	0	11
	H28	1	8	2	0	0	0	11
	H29	5	0	8	0	0	0	13
	H30	3	7	7	4	0	0	21
	R1	8	3	14	0	0	0	25
中央小 児童クラブ (中央小学校)	H26	8	17	3	0	0	0	28
	H27	15	9	16	1	0	0	41
	H28	21	12	6	0	0	0	39
	H29	15	16	7	0	0	0	38
	H30	12	13	4	2	1	0	32
	R1	21	12	3	2	0	1	39
しおつ児童館 児童クラブ (塩津小学校)	H26	29	16	13	4	0	0	62
	H27	28	23	10	2	0	0	63
	H28	—	28	16	4	1	0	49
	H29	—	22	21	0	0	0	43
	H30	—	27	21	2	0	0	50
	R1	—	18	14	1	0	0	33
塩津保育園 児童クラブ (塩津小学校)	H26	—	—	—	—	—	—	—
	H27	—	—	—	—	—	—	—
	H28	26	—	—	—	—	—	26
	H29	29	—	—	—	—	—	29
	H30	20	—	—	—	—	—	20
	R1	23	—	—	—	—	—	23
形原北小 児童クラブ (形原北小学校)	H26	6	11	5	1	0	0	23
	H27	17	5	7	1	0	0	30
	H28	12	13	2	0	0	0	27
	H29	18	9	5	0	0	0	32
	H30	16	15	3	0	0	0	34
	R1	12	8	10	0	0	0	30
形原小 児童クラブ (形原小学校)	H26	22	11	1	2	0	0	36
	H27	19	22	6	0	0	0	47
	H28	18	16	10	0	0	0	44
	H29	15	16	9	0	0	0	40
	H30	24	12	9	2	0	0	47
	R1	20	17	12	4	1	0	54
にしうら児童館 児童クラブ (西浦小学校)	H26	4	5	5	1	0	0	15
	H27	6	4	3	0	0	0	13
	H28	6	5	4	0	0	0	15
	H29	14	7	4	1	0	0	26
	H30	9	10	6	1	0	0	26
	R1	8	8	10	6	0	0	32

※データの無い箇所は未開設の年度または受け入れをしていない学年です。

※ちゅうぶ児童館児童クラブの蒲郡北部小学校向けの利用は平成 30 (2018) 年度からです。なお、蒲郡西部小学校向けには、令和 2 (2020) 年度に同校内に蒲郡西部小児童クラブを新設しました。

※形原北小学校向けの児童クラブは、平成 30 (2018) 年度まではかたはら児童館で実施していました。それまでの形原北小児童クラブの利用児童数は、かたはら児童館での人数となっています。

3-7 保健・福祉施設（福祉センター等）

- ・保健・福祉施設では、高齢者向けの福祉活動や、障がい者への生活支援、自立支援や子育て支援などを行っています。
- ・生きがいセンターは、高齢者の方が就業活動や趣味の活動を通じて積極的に社会参加し、生きがいをもって生活していただくために設置された施設です。
- ・保健医療センターは、赤ちゃんからお年寄りまで、市民のみなさんの健康づくりの拠点として、健康診査・健康相談・健康教室などを行っています。また、児童発達支援センターが併設されています。
- ・ユトリーナ蒲郡は、廃棄物焼却施設「クリーンセンター」の余熱を利用した健康増進施設で、人工温泉や露天風呂が併設されています。

図 3-68 配置状況・外観写真（保健・福祉施設）



生きがいセンター



ユトリーナ蒲郡



老人福祉センター寿楽荘

3-7-1 福祉センター等

(1) 老朽化状況の把握

- ・中央子育て支援センターと老人福祉センター寿楽荘を除き、老朽化度が3を超えており、全体的に老朽化が進んでいる状況です。特に、ユトリーナ蒲郡は建築年度は比較的新しいものの、老朽化度が4に近い状態であり、市内の公共施設の中でも老朽化度の高い施設となっています。

図 3-69 老朽化状況（福祉センター等）

施設名称	延床面積 (㎡)	建築年度	老朽化度	老朽化度	
				健全 1.0 2.0 3.0 4.0 5.0	老朽化
勤労福祉会館	3,174	S55	3.5		
浜町福祉センター	709	S57	3.1		
中央子育て支援センター	99	H4	2.3		
生きがいセンター	2,176	H4	3.3		
養護老人ホーム	1,070	S45	3.4		
老人福祉センター寿楽荘	1,610	S49	2.9		
保健医療センター	5,855	H5	3.4		
ユトリーナ蒲郡	1,977	H12	3.9		

※複数の建物で構成されている施設の建築年度は、最も建築年度の古い建物をもとに掲載しています。

(2) 利用状況の把握

- ・老人福祉センター寿楽荘の利用者数は減少傾向にあります。
- ・中央子育て支援センターの面積あたり1日あたりの平均利用者数が多くなっています。

図 3-70 利用状況（福祉センター等）

施設名称	延床面積 (㎡)	利用者数（人）						
		H26	H27	H28	H29	H30	R1	6年平均
勤労福祉会館	3,174	—	—	—	—	—	—	—
浜町福祉センター	709	8,746	8,586	7,942	7,895	7,666	6,986	7,970
中央子育て支援センター	99	10,263	7,015	6,508	6,810	5,584	7,020	7,200
生きがいセンター	2,176	45,784	42,903	44,785	46,042	47,396	43,430	45,057
養護老人ホーム	1,070	6,268	5,812	6,106	6,167	5,967	6,571	6,149
老人福祉センター寿楽荘	1,610	45,167	43,073	42,257	40,124	33,287	32,125	39,339
保健医療センター	5,855	30,000	30,000	30,000	30,000	28,000	27,000	29,167
ユトリーナ蒲郡	1,977	49,173	33,006	33,601	37,775	41,268	34,097	38,153

施設名称	1日あたり 平均利用者数 (人/日)	面積あたり 1日あたり 平均利用者数 (人/㎡・日)	貸部屋等 利用率 (%)	面積あたり1日あたり平均利用者数 (人/㎡・日)					
				0.00	0.10	0.20	0.30	0.40	0.50
勤労福祉会館	—	—	45.0	—					
浜町福祉センター	31.3	0.044	—						
中央子育て支援センター	29.3	0.296	—						
生きがいセンター	127.3	0.059	54.9						
養護老人ホーム	16.8	0.016	—						
老人福祉センター寿楽荘	164.6	0.102	—						
保健医療センター	79.8	0.014	—						
ユトリーナ蒲郡	127.1	0.064	—						

※利用状況の値は6ヵ年度（平成26（2014）～令和元（2019）年度）の平均値を掲載しています。

※令和元（2019）年度は、新型コロナウイルス感染症の影響に伴う休館期間があります。

※勤労福祉会館は利用者数の正確な把握ができないため、データを掲載していません。

※勤労福祉会館の貸部屋等利用率は研修室や会議室、和室、談話室の利用率を、生きがいセンターの貸部屋等利用率は学習室やホールの利用率を掲載しています。

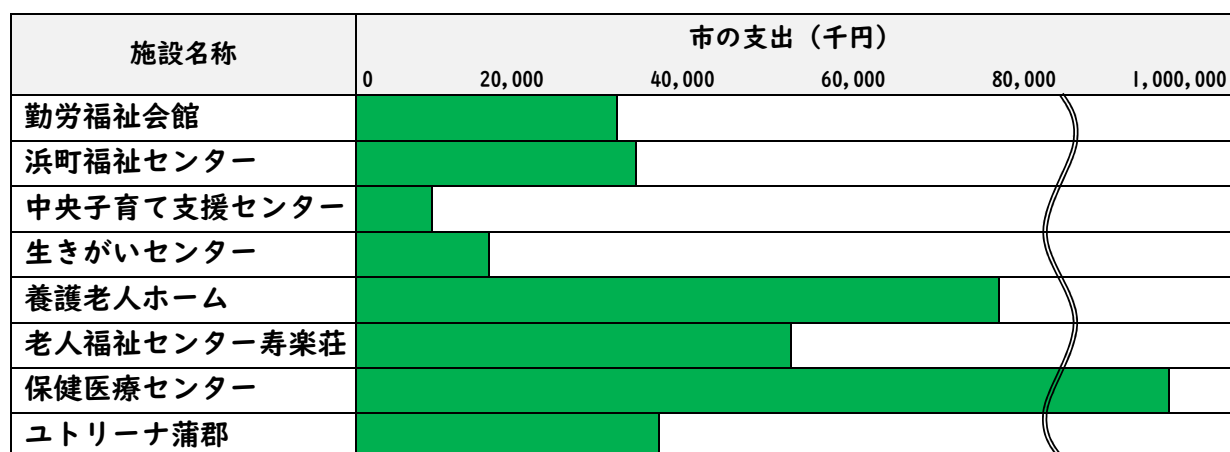
※養護老人ホームの利用者数は、入居者の延べ人数を掲載しています。なお、6年間の平均入居率は、64.8%です。

(3) コスト状況の把握

- ・保健医療センターのコストが高くなっています。支出項目別に見ると、事業運営に係るコストの割合が大きくなっています。
- ・その他施設の多くでは、施設に係るコストの割合が大きくなっている傾向が見られます。

図 3-71 コスト状況（福祉センター等）

施設名称	市の支出（千円）				
	施設に係るコスト	事業運営に係るコスト	人に係るコスト	指定管理料	合計
勤労福祉会館	8,936	0	0	23,490	32,425
浜町福祉センター	307	34,044	0	0	34,351
中央子育て支援センター	612	2,985	4,500	0	8,097
生きがいセンター	853	6	0	16,949	17,808
養護老人ホーム	1,978	0	0	74,311	76,288
老人福祉センター寿楽荘	9,556	831	0	43,407	53,794
保健医療センター	61,931	700,831	196,145	0	958,907
ユトリーナ蒲郡	11,000	0	0	26,630	37,630



※支出額の値は6ヵ年度（平成26（2014）～令和元（2019）年度）の平均値を掲載しています。

3-8 衛生施設（ごみ処理施設等）

- ・クリーンセンター及び隣接するリサイクルプラザでは、可燃ごみの焼却や、ごみの分別や再資源化を行っています。なお、クリーンセンターでごみを焼却する際に発生する余熱は、クリーンセンター、リサイクルプラザのほか、ユトリーナ蒲郡の熱源としても活用されています。
- ・2か所の最終処分場は、廃棄物を埋立処分する施設です。なお、一色不燃物最終処分場は不燃物の埋立は終了しており、現在は草木の受入を行っています。

図 3-72 配置状況・外観写真（衛生施設）



クリーンセンター



リサイクルプラザ



一般廃棄物最終処分場

3-8-1 ごみ処理施設等

(1) 老朽化状況の把握

- ・クリーンセンターは、建築年数が20年を超え、老朽化も進みつつあります。
- ・一色不燃物最終処分場は老朽化度が4を超えており、市内の公共施設の中でも老朽化度の高い施設となっています。

図 3-73 老朽化状況（ごみ処理施設等）

施設名称	延床面積 (㎡)	建築年度	老朽化度	老朽化度	
				健全 1.0 2.0 3.0 4.0 5.0	老朽化
クリーンセンター	7,139	H9	3.0		
リサイクルプラザ	3,265	H11	2.6		
一色不燃物最終処分場	266	S57	4.1		
一般廃棄物最終処分場	918	H12	2.7		

※複数の建物で構成されている施設の建築年度は、最も建築年度の古い建物をもとに掲載しています。

(2) コスト状況の把握

- ・延床面積の大きいクリーンセンター、リサイクルプラザのコストが高くなっています。

図 3-74 コスト状況（ごみ処理施設等）

施設名称	市の支出（千円）				
	施設に係るコスト	事業運営に係るコスト	人に係るコスト	指定管理料	合計
クリーンセンター	365,000	302,234	59,033	0	726,267
リサイクルプラザ	92,200	152,627	45,615	0	290,442
一般廃棄物最終処分場	27,544	658	3,250	0	31,452
一色不燃物最終処分場	24,507	1,737	11,050	0	37,294

施設名称	市の支出（千円）					
	0	200,000	400,000	600,000	800,000	1,000,000
クリーンセンター						
リサイクルプラザ						
一般廃棄物最終処分場						
一色不燃物最終処分場						

※支出額の値は6ヵ年度（平成26（2014）～令和元（2019）年度）の平均値を掲載しています。

3-9 公営住宅施設（公営住宅）

- ・公営住宅施設は、住宅に困窮する低所得者に対して低廉な家賃で供給することを目的としています。
- ・現在 390 戸（9 団地）の市営住宅を管理しており、市営丸山住宅内の 10 戸がシルバーハウジング（高齢者向け住宅）となっています。
- ・住宅の申し込み条件として、住宅に困窮し、世帯収入が収入基準に適合していることなどが挙げられます。

図 3-75 配置状況・外観写真（公営住宅施設）



市営丸山住宅



市営白山住宅



市営貴船住宅

3-9-1 公営住宅

(1) 老朽化状況の把握

- ・市営丸山住宅を除く施設は、老朽化度が3以上となっており、老朽化が進んでいます。なかでも、昭和20年代から30年代に建てられた市営貴船住宅、市営大宮住宅、市営月田住宅、市営鹿島住宅は老朽化度が4以上となっており、老朽化が顕著です。

図 3-76 老朽化状況（公営住宅等）

施設名称	延床面積 (㎡)	建築年度	老朽化度	老朽化度	
				健 全 1.0 2.0 3.0 4.0 5.0	老朽化
市営丸山住宅	6,951	H9	2.8		
市営大塚住宅	5,228	S48	3.4		
市営白山住宅	5,112	H2	3.0		
市営力川住宅	589	S49	3.4		
市営貴船住宅	855	S27	4.0		
市営大宮住宅	494	S33	4.1		
市営月田住宅	225	S29	4.1		
市営鹿島住宅	1,507	S37	4.0		
市営北浜住宅	3,423	S57	3.4		

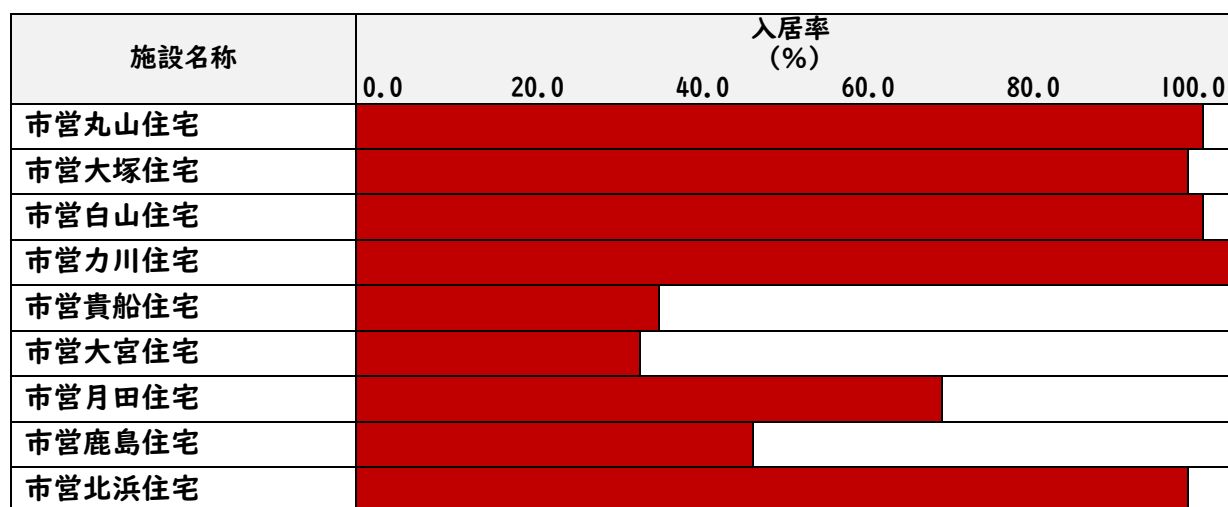
※複数の建物で構成されている施設の建築年度は、最も建築年度の古い建物をもとに掲載しています。
市営大宮住宅で最も古い建物は集会場であり、住宅棟で最も古い建物は昭和35（1960）年度に建築されています。

(2) 利用状況の把握

- ・市営貴船住宅、市営大宮住宅、市営月田住宅、市営鹿島住宅以外の住宅の入居率は100%近くで、ほぼ満室となっています。

図 3-77 利用状況（公営住宅等）

施設名称	延床面積 (㎡)	入居率 (%)						
		H26	H27	H28	H29	H30	R1	6年平均
市営丸山住宅	6,951	98.8	98.8	98.8	98.8	98.8	96.3	98.3
市営大塚住宅	5,228	99.0	99.0	99.0	95.8	97.9	90.6	96.9
市営白山住宅	5,112	100.0	100.0	98.4	100.0	98.4	95.3	98.7
市営力川住宅	589	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
市営貴船住宅	855	44.4	44.4	38.9	38.9	38.9	16.7	37.0
市営大宮住宅	494	43.8	43.8	37.5	31.3	25.0	25.0	34.4
市営月田住宅	225	87.5	87.5	75.0	75.0	50.0	37.5	68.8
市営鹿島住宅	1,507	56.3	54.2	45.8	45.8	39.6	31.3	45.5
市営北浜住宅	3,423	97.9	100.0	97.9	93.8	95.8	85.4	95.1



※利用状況の値は6ヵ年度（平成26（2014）～令和元（2019）年度）の平均値を掲載しています。

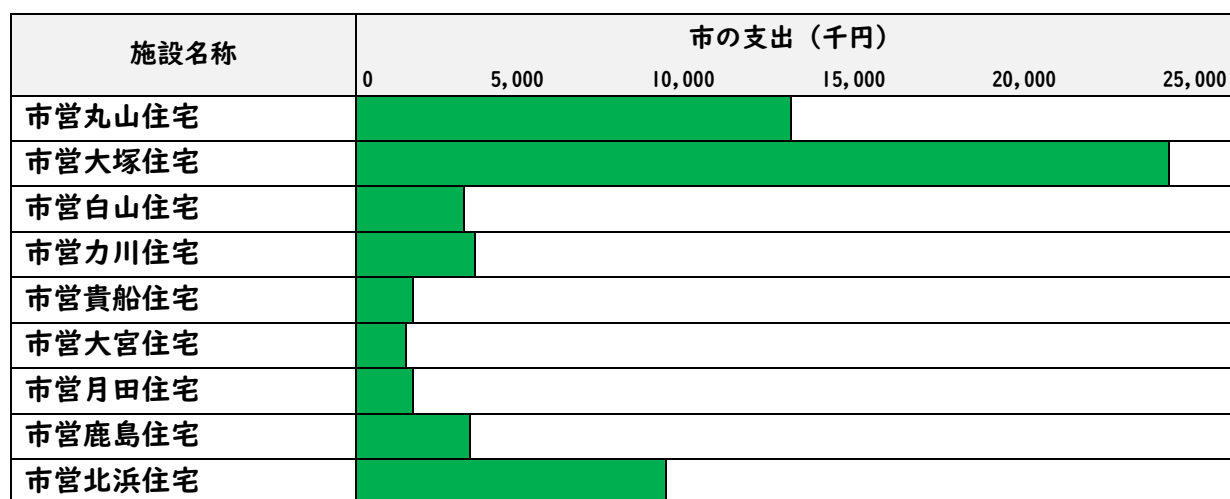
※市営貴船住宅、市営大宮住宅、市営月田住宅、市営鹿島住宅は、現在入居者の募集を行っていません。

(3) コスト状況の把握

- ・市営大塚住宅のコストが高くなっています。支出項目別に見ると、施設に係るコストの割合が大きくなっています。

図 3-78 コスト状況（公営住宅等）

施設名称	市の支出（千円）				
	施設に係るコスト	事業運営に係るコスト	人に係るコスト	指定管理料	合計
市営丸山住宅	11,403	0	1,738	0	13,141
市営大塚住宅	22,847	0	1,738	0	24,585
市営白山住宅	1,867	0	1,738	0	3,604
市営力川住宅	2,256	0	1,738	0	3,994
市営貴船住宅	93	0	1,738	0	1,831
市営大宮住宅	49	0	1,738	0	1,786
市営月田住宅	64	0	1,738	0	1,802
市営鹿島住宅	2,001	0	1,738	0	3,739
市営北浜住宅	7,834	0	1,738	0	9,572



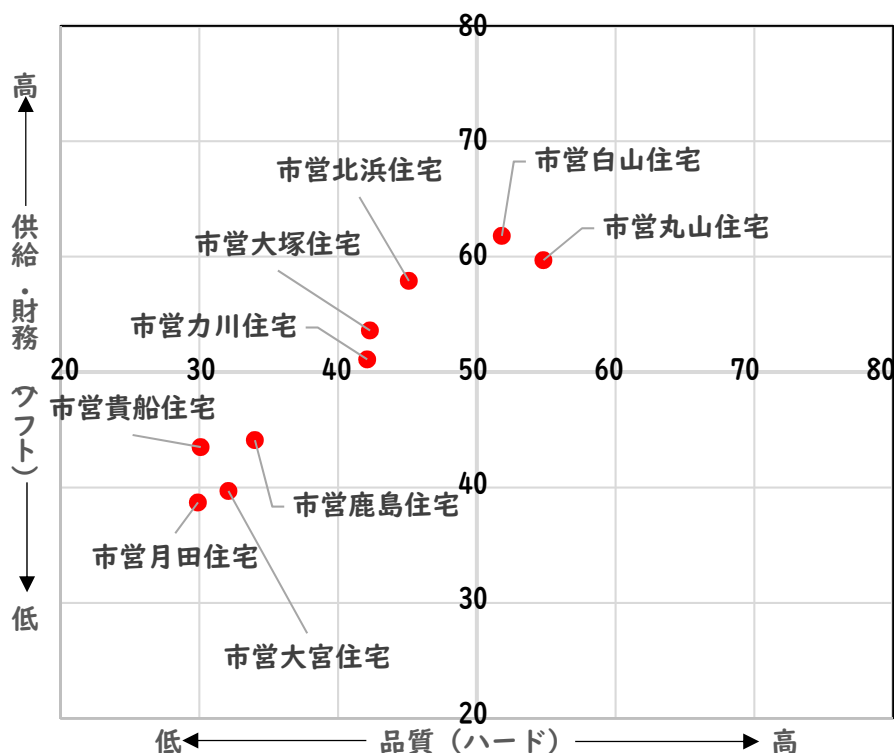
※支出額の値は6ヵ年度（平成26（2014）～令和元（2019）年度）の平均値を掲載しています。

(4) ポートフォリオ分析結果

- ・建物の品質については、市営丸山住宅と市営白山住宅以外は、平均偏差値 50 以下となっており、本市の公共施設の中でも老朽化が進んでいる状況です。
- ・市営貴船住宅、市営大宮住宅、市営月田住宅、市営鹿島住宅は、現在入居者の募集を行っていないため、供給・財務の平均偏差値が低くなっています。

図 3-79 ポートフォリオ分析結果（公営住宅等）

施設名称	延床面積 (㎡)	品質				品質 (ハード) 平均偏差値	供給		財務		供給・財務 (ソフト) 平均偏差値
		平均築年数	偏差値	老朽化度	偏差値		平均入居率 (%)	偏差値	面積あたり 市負担額 (円/㎡)	偏差値	
市営丸山住宅	6,951	23.0	59.4	2.8	50.2	54.8 (-5.1)	98.3	58.6	-1,980	60.7	59.7 (+2.0)
市営大塚住宅	5,228	45.6	42.5	3.4	42.1	42.3 (-0.2)	96.9	58.1	1,574	49.2	53.6 (-4.0)
市営白山住宅	5,112	27.3	56.2	3.0	47.5	51.8 (-5.3)	98.7	58.8	-3,228	64.7	61.8 (+3.0)
市営力川住宅	589	46.0	42.2	3.4	42.1	42.1 (-2.0)	100.0	59.2	3,500	42.9	51.1 (-3.0)
市営貴船住宅	855	67.4	26.2	4.0	34.0	30.1 (+0.8)	37.0	36.0	1,046	50.9	43.5 (+2.5)
市営大宮住宅	494	60.1	31.6	4.1	32.6	32.1 (+0.3)	34.4	35.0	3,074	44.3	39.7 (+2.5)
市営月田住宅	225	66.0	27.2	4.1	32.6	29.9 (0.0)	68.8	47.7	7,589	29.7	38.7 (-1.3)
市営鹿島住宅	1,507	57.0	34.0	4.0	34.0	34.0 (+1.0)	45.5	39.1	1,592	49.1	44.1 (-0.9)
市営北浜住宅	3,423	38.0	48.2	3.4	42.1	45.1 (-1.7)	95.1	57.4	-1,271	58.4	57.9 (-0.6)



※品質（ハード）の偏差値は、臨時・不使用施設及び企業会計施設を除く全施設を対象として算出しています。

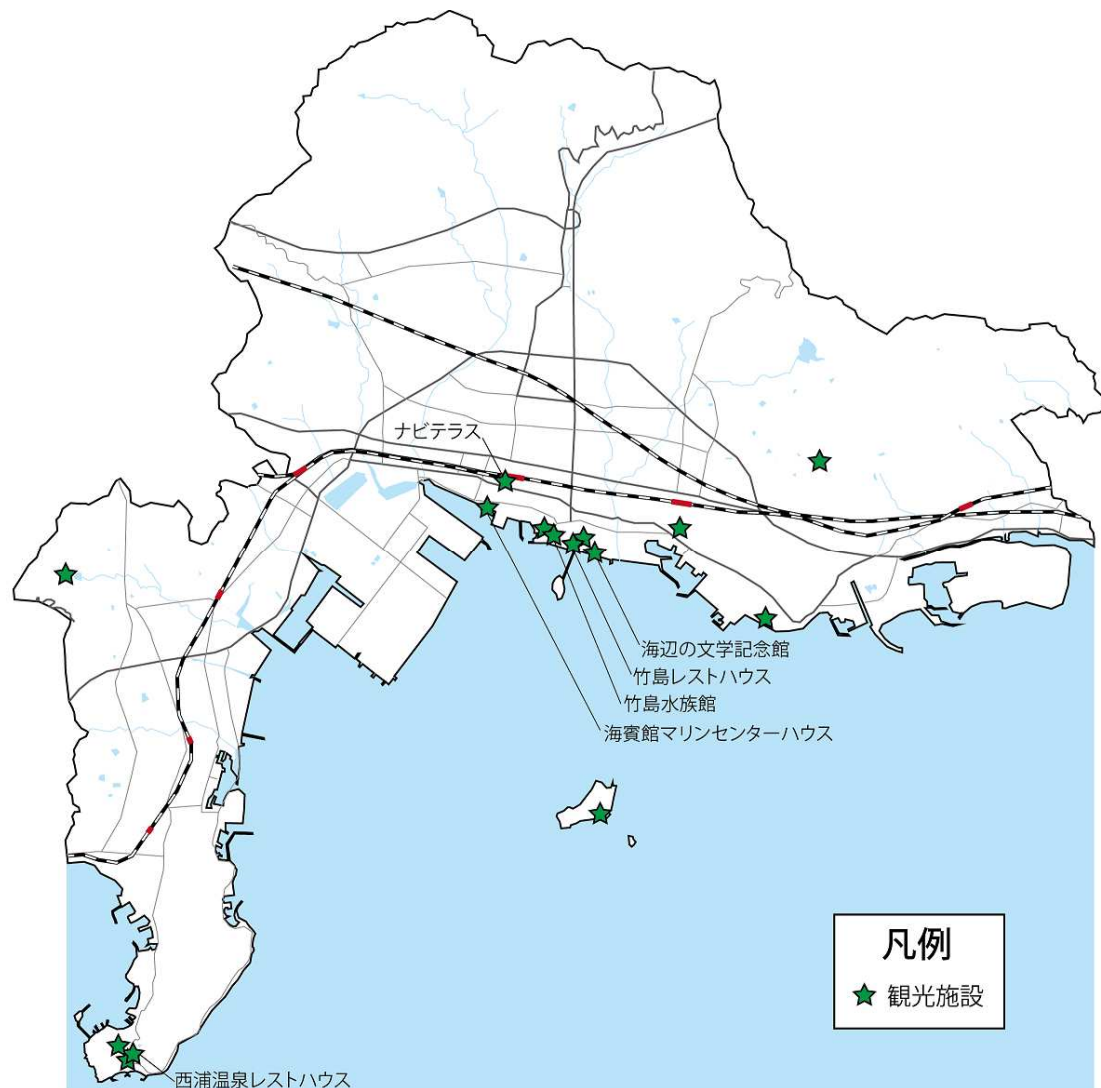
※供給・財務（ソフト）の偏差値は、本項に掲載している施設のみを対象として算出しています。

※品質（ハード）及び供給・財務（ソフト）の偏差値のカッコ内の数値は、前白書における偏差値からの動きを示しています。

3-10 観光施設（観光施設）

- ・観光施設としては、海洋資源を活用した水族館、文豪に愛された歴史を活かした海辺の文学記念館、観光交流拠点となるナビテラスなどを設置しています。
- ・それぞれの施設は本市の魅力や文化を伝え、観光地としての魅力を高めるとともに、市民の交流を生み出すことを目的として配置されています。
- ・小規模な休憩所や観光用の公衆便所等は配置状況のみ示します。

図 3-80 配置状況・外観写真（観光施設）



竹島水族館



海辺の文学記念館



ナビテラス

3-10-1 観光施設

(1) 老朽化状況の把握

- ・竹島水族館、海辺の文学記念館、西浦温泉レストハウス、竹島レストハウスは老朽化度が3以上となっており、全体的に老朽化が進んでいる状況です。
- ・ナビテラスは建築年数が10年未満であり、老朽化度も低く健全な状態となっています。

図 3-81 老朽化状況（観光施設）

施設名称	延床面積 (㎡)	建築年度	老朽化度	老朽化度				
				健 全	←	→	老朽化	
				1.0	2.0	3.0	4.0	5.0
海賓館マリンセンターハウス	278	H8	2.8					
竹島水族館	1,996	S37	3.8					
海辺の文学記念館	347	S58	3.1					
ナビテラス	429	H24	1.1					
西浦温泉レストハウス	140	S41	3.6					
竹島レストハウス	128	S42	3.6					

※複数の建物で構成されている施設の建築年度は、最も建築年度の古い建物をもとに掲載しています。
海辺の文学記念館で最も古い建物は屋外トイレであり、記念館は平成8（1996）年度に建築されています。

(2) 利用状況の把握

- ・竹島水族館の利用者数が最も多く、人数も増加傾向にあります。
- ・ナビテラスの利用者は減少傾向にあります。

図 3-82 利用状況（観光施設）

施設名称	延床面積 (㎡)	利用者数（人）						
		H26	H27	H28	H29	H30	R1	6年平均
海賓館マリンセンターハウス	278	18,308	15,976	17,303	19,304	19,113	18,309	18,052
竹島水族館	1,996	235,142	340,341	398,193	359,629	475,112	384,959	365,563
海辺の文学記念館	347	15,236	16,644	17,933	17,490	16,524	13,787	16,269
ナビテラス	429	48,444	40,450	32,186	31,511	33,605	26,783	35,497
西浦温泉レストハウス	140	—	—	—	—	—	—	—
竹島レストハウス	128	—	—	—	—	—	—	—

施設名称	1日あたり 平均利用者数 (人/日)	面積あたり 1日あたり 平均利用者数 (人/㎡・日)	面積あたり1日あたり平均利用者数 (人/㎡・日)				
			0.00	0.15	0.30	0.45	0.60 0.75
海賓館マリンセンターハウス	57.6	0.208					
竹島水族館	1,212.3	0.607					
海辺の文学記念館	52.4	0.151					
ナビテラス	99.2	0.231					
西浦温泉レストハウス	—	—	—				
竹島レストハウス	—	—	—				

※利用状況の値は6か年度（平成26（2014）～令和元（2019）年度）の平均値を掲載しています。

※令和元（2019）年度は、新型コロナウイルス感染症の影響に伴う休館期間があります。

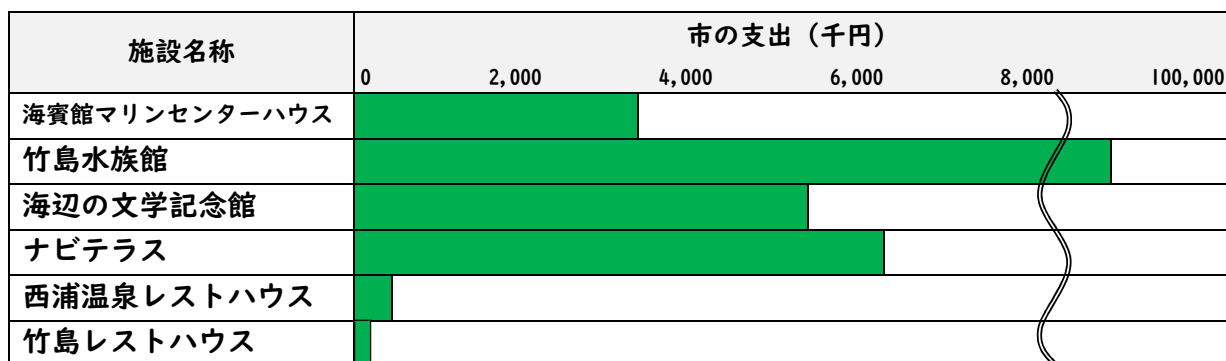
※西浦温泉レストハウス、竹島レストハウスは利用者数の正確な把握ができないため、データを掲載していません。

(3) コスト状況の把握

- ・竹島水族館のコストが大きくなっています。支出項目別では、施設に係るコストと指定管理料となっています。
- ・竹島水族館以外の施設は、施設に係るコストが支出の多くを占めています。

図 3-83 コスト状況（観光施設）

施設名称	市の支出（千円）				
	施設に係るコスト	事業運営に係るコスト	人に係るコスト	指定管理料	合計
海賓館マリンセンターハウス	3,652	0	0	0	3,652
竹島水族館	46,459	0	0	26,542	73,001
海辺の文学記念館	2,767	0	2,705	0	5,471
ナビテラス	6,160	0	0	0	6,160
西浦温泉レストハウス	249	0	0	0	249
竹島レストハウス	120	0	0	0	120



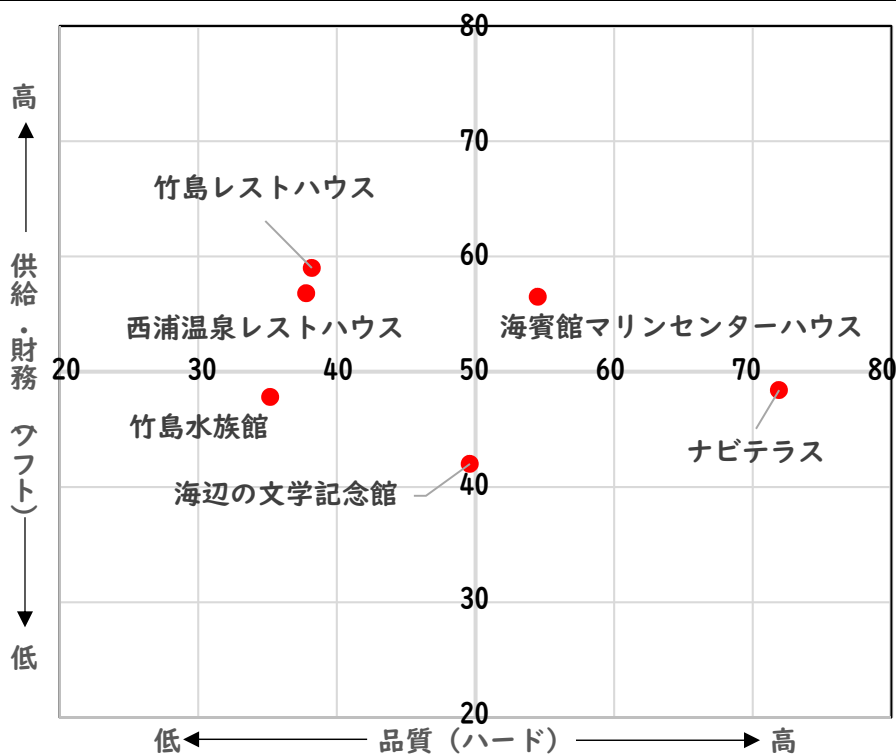
※支出額の値は6ヵ年度（平成26（2014）～令和元（2019）年度）の平均値を掲載しています。

(4) ポートフォリオ分析結果

- ・建物の品質については、海賓館マリンセンターハウスとナビテラス以外の施設は平均偏差値が 50 を下回っており、本市の公共施設の中でも老朽化が進んでいる状況です。
- ・竹島水族館、西浦温泉レストハウス、竹島レストハウスは、建物の品質についての平均偏差値が 40 を下回っており、特に老朽化が進んでいます。

図 3-84 ポートフォリオ分析結果（観光施設）

施設名称	延床面積 (㎡)	品質				品質 (ハード) 平均偏差値	供給		財務				供給・財務 (ソフト) 平均偏差値
		平均築年数	偏差値	老朽化度	偏差値		面積あたり 1日あたり 平均利用者数 (人/㎡・日)	偏差値	面積あたり 市負担額 (円/㎡)	偏差値	利用者1人 あたり 1日あたり 市負担額 (円/人・日)	偏差値	
海賓館マリンセンターハウス	278	24.0	58.7	2.8	50.2	54.4 (+0.3)	0.208	44.9	-1,786	59.5	-0.08	65.0	56.5 (+1.6)
竹島水族館	1,996	57.4	33.7	3.8	36.7	35.2 (-1.5)	0.607	67.1	35,901	30.9	0.75	45.7	47.9 (+0.1)
海辺の文学記念館	347	31.4	53.1	3.1	46.1	49.6 (-)	0.151	41.8	15,772	46.2	1.10	37.6	41.9 (-)
ナビテラス	429	8.0	70.7	1.1	73.1	71.9 (-1.1)	0.231	46.2	13,876	47.6	0.49	51.7	48.5 (+5.9)
西浦温泉レストハウス	140	54.0	36.2	3.6	39.4	37.8 (+0.2)	—	—	1,784	56.8	—	—	56.8 (+5.3)
竹島レストハウス	128	53.0	37.0	3.6	39.4	38.2 (-2.2)	—	—	-1,106	59.0	—	—	59.0 (+2.0)



※品質（ハード）の偏差値は、臨時・不使用施設及び企業会計施設を除く全施設を対象として算出しています。

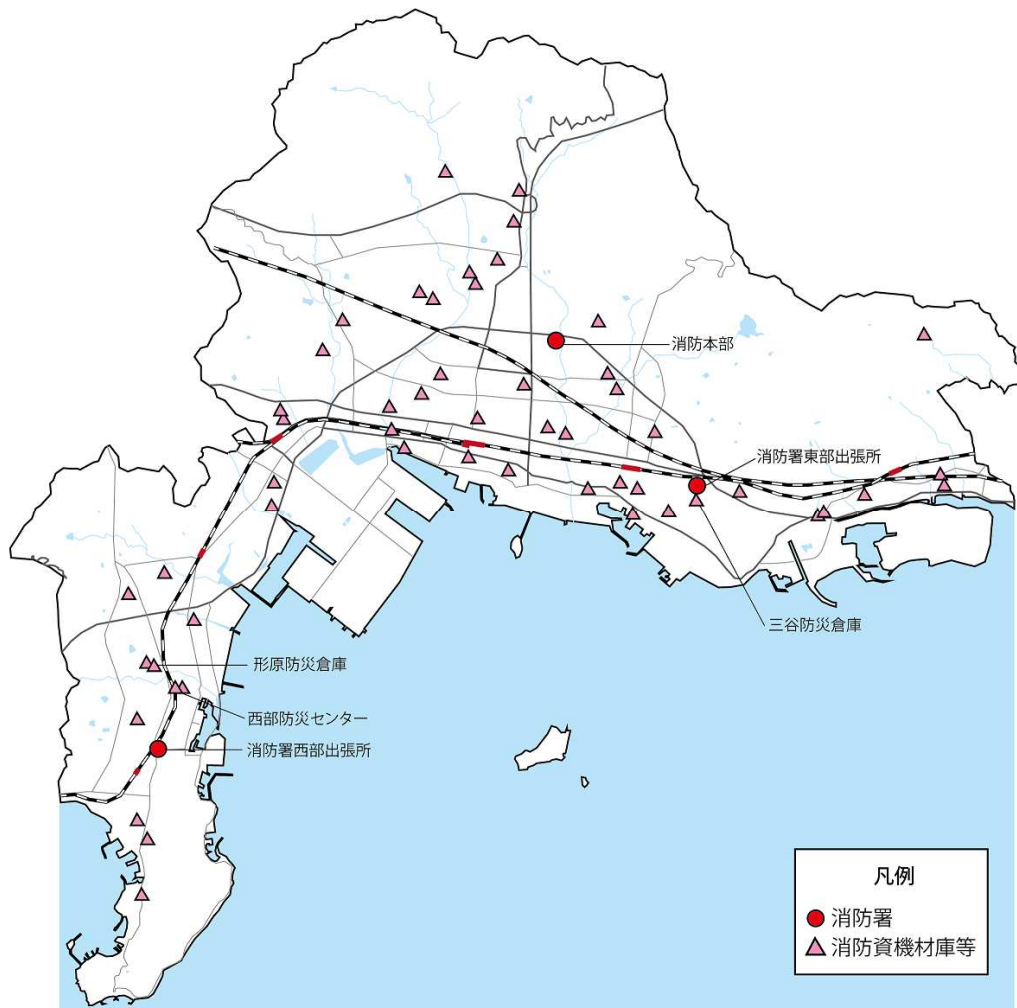
※供給・財務（ソフト）の偏差値は、本項に掲載している施設のみを対象として算出しています。

※品質（ハード）及び供給・財務（ソフト）の偏差値のカッコ内の数値は、前白書における偏差値からの動きを示しています。なお、海辺の文学記念館は前白書の時点から施設類型を変更して、別施設であった常盤苑を統合したため、偏差値の比較を行っておりません。

3-11 消防・防災施設（消防署、消防資機材庫等）

- ・消防・防災施設は、火災や自然災害から市民等を守ることを目的とした消防活動の拠点施設として設置しています。
- ・消防の中核機能を担う消防本部、地域の消防活動の拠点となる消防署東部出張所および消防署西部出張所の2か所の出張所のほか、防災倉庫や消防団器具庫等が市内全域に57か所あります。
- ・西部防災センターは令和3（2021）年度に取壊しをする予定です。
- ・小規模な防災倉庫や消防団器具庫等は配置状況のみ示します。

図 3-85 配置状況・外観写真（消防・防災施設）



消防本部



消防署東部出張所



三谷防災倉庫

3-11-1 消防署

(1) 老朽化状況の把握

- ・消防署西部出張所は老朽化度が3以上となっており、全体的に老朽化が進んでいる状況です。
- ・消防本部は新しい建物であり、健全な状態で維持されています。

図 3-86 老朽化状況（消防署）

施設名称	延床面積 (㎡)	建築年度	老朽化度	老朽化度				
				健 全	←	→	老朽化	
消防本部	5,061	H21	1.0	1.0				
消防署東部出張所	439	S44	2.7					
消防署西部出張所	305	S41	3.3					

※複数の建物で構成されている施設の建築年度は、最も建築年度の古い建物をもとに掲載しています。

(2) コスト状況の把握

- ・消防本部は、本部機能を担う施設であるため、コストが高くなっています。支出項目別に見ると、人に係るコストの割合が大きくなっています。

図 3-87 コスト状況（消防署）

施設名称	市の支出（千円）				
	施設に係るコスト	事業運営に係るコスト	人に係るコスト	指定管理料	合計
消防本部	12,421	0	485,950	0	498,371
消防署東部出張所	5,527	0	78,000	0	83,527
消防署西部出張所	3,734	0	154,700	0	158,434

施設名称	市の支出（千円）				
	0	100,000	200,000	300,000	400,000
消防本部					
消防署東部出張所					
消防署西部出張所					

※支出額の値は6ヵ年度（平成26（2014）～令和元（2019）年度）の平均値を掲載しています。

3-11-2 消防資機材庫等

(1) 老朽化状況の把握

- ・西部防災センターは築 40 年以上となっています。老朽化度が 3 を超えており、全体的に老朽化が進んでいる状況です。

図 3-88 老朽化状況（消防署）

施設名称	延床面積 (㎡)	建築年度	老朽化度	老朽化度				
				健 全	←	→	老朽化	
				1.0	2.0	3.0	4.0	5.0
西部防災センター	1,041	S46	3.8					
三谷防災倉庫	110	S57	2.7					
形原防災倉庫	172	S57	2.6					

※複数の建物で構成されている施設の建築年度は、最も建築年度の古い建物をもとに掲載しています。

(2) コスト状況の把握

- ・資機材庫等は人が常駐する施設ではないため、施設に関するコストのみかかっています。

図 3-89 コスト状況（消防署）

施設名称	市の支出（千円）				
	施設に係るコスト	事業運営に係るコスト	人に係るコスト	指定管理料	合計
西部防災センター	145	0	0	0	145
三谷防災倉庫	6	0	0	0	6
形原防災倉庫	0	0	0	0	0

施設名称	市の支出（千円）					
	0	30	60	90	120	150
西部防災センター						
三谷防災倉庫						
形原防災倉庫						

※支出額の値は 6 カ年度（平成 26（2014）～令和元（2019）年度）の平均値を掲載しています。

3-12 その他施設（駅周辺施設、その他）

- ・その他施設として、駅周辺の駐車場や公衆便所、交通安全教育センター、蒲郡乗船センター、市営共同艇庫等を保有しています。
- ・駐車場は、駅に隣接され、駅前の違法駐車問題を防ぐために設置されています。
- ・市営共同艇庫は、大学生のヨット活動のための施設で、大学に貸し出しています。
- ・小規模な駐車場（料金所）や駅前の公衆便所等は配置状況のみ示します。

図 3-90 配置状況・外観写真（その他施設）



大塚駅第1自転車駐車場



三谷駅北自転車駐車場



市営共同艇庫

3-12-1 駅周辺施設

(1) 老朽化状況の把握

- ・大塚駅第Ⅰ自転車駐車場、三谷駅北自転車駐車場とも、築年数に対しては比較的健全な状態となっています。

図 3-91 老朽化状況（駅周辺施設）

施設名称	延床面積 (㎡)	建築年度	老朽化度	老朽化度				
				健 全	←	→	老朽化	
				1.0	2.0	3.0	4.0	5.0
大塚駅第Ⅰ自転車駐車場	145	S57	2.3					
三谷駅北自転車駐車場	594	H8	2.0					

※複数の建物で構成されている施設の建築年度は、最も建築年度の古い建物をもとに掲載しています。

(2) コスト状況の把握

- ・三谷駅北自転車駐車場のコストが、大塚駅第Ⅰ自転車駐車場よりも高くなっています。
- ・どちらの施設も、事業運営に係るコストや人に係るコストはなく、施設に係るコストのみとなっています。

図 3-92 コスト状況（駅周辺施設）

施設名称	市の支出（千円）				
	施設に係るコスト	事業運営に係るコスト	人に係るコスト	指定管理料	合計
大塚駅第Ⅰ自転車駐車場	96	0	0	0	96
三谷駅北自転車駐車場	292	0	0	0	292

施設名称	市の支出（千円）					
	0	100	200	300	400	500
大塚駅第Ⅰ自転車駐車場						
三谷駅北自転車駐車場						

※支出額の値は6ヵ年度（平成26（2014）～令和元（2019）年度）の平均値を掲載しています。

3-12-2 その他

(1) 老朽化状況の把握

- ・交通安全教育センターと蒲郡乗船センターは、老朽化度が3以上となっており、全体的に老朽化が進んでいる状況です。

図 3-93 老朽化状況（その他）

施設名称	延床面積 (㎡)	建築年度	老朽化度	老朽化度				
				健全	2.0	3.0	4.0	老朽化
交通安全教育センター	276	S48	3.8					
蒲郡乗船センター	185	H3	4.4					
市営共同艇庫	1,488	H27	1.2					

※複数の建物で構成されている施設の建築年度は、最も建築年度の古い建物をもとに掲載しています。

(2) コスト状況の把握

- ・全施設とも、人件費や事業運営に係るコストがなく、施設に係るコストのみとなっています。

図 3-94 コスト状況（その他）

施設名称	市の支出（千円）				
	施設に係るコスト	事業運営に係るコスト	人に係るコスト	指定管理料	合計
交通安全教育センター	0	0	0	0	0
蒲郡乗船センター	77	0	0	0	77
市営共同艇庫	419	0	0	0	419

施設名称	市の支出（千円）					
	0	100	200	300	400	500
交通安全教育センター						
蒲郡乗船センター						
市営共同艇庫						

※支出額の値は6ヵ年度（平成26（2014）～令和元（2019）年度）の平均値を掲載しています。

※市営共同艇庫は平成27年度に建築されたため、平成28～令和元年度の平均値を掲載しています。

第4章 地区別にみた公共施設の現状

4-1 地区の定義

本章では、地区別に公共施設の現状を整理します。各地区の範囲は、下図のとおり合併時の旧町村区分に基づいて定義します。

図 4-1 各地区の範囲



地区名	地区の範囲
大塚地区	昭和 30（1955）年に蒲郡市へ合併した旧大塚村大字相楽・大塚
三谷地区	昭和 29（1954）年に蒲郡市が市政施行する前の旧三谷町
蒲郡北地区	昭和 29（1954）年に蒲郡市が市政施行する前の旧蒲郡町のうち、 現在の中部中学校区
蒲郡南地区	昭和 29（1954）年に蒲郡市が市政施行する前の旧蒲郡町のうち、 現在の蒲郡中学校区
塩津地区	昭和 29（1954）年に蒲郡市が市政施行する前の旧塩津村
形原地区	昭和 37（1962）年に蒲郡市へ合併した旧形原町
西浦地区	昭和 38（1963）年に蒲郡市へ合併した旧西浦町

4-2 各地区の人口構成と公共施設保有量

【人口】

- ・総人口は蒲郡南地区が 16,760 人と最も多くなっています。続いて形原地区が 15,331 人、三谷地区が 13,119 人となっています。
- ・西浦地区は年少人口割合が約 10%である一方、老年人口割合が約 35%となっており、少子化・高齢化が顕著となっています。

【公共施設保有面積】

- ・本章では、普通会計施設を対象とし、主に地区内の住民により利用される施設（公民館、公園、保育園、小中学校等）を「地区利用型施設」、全市の住民により利用される施設や一般の住民の利用が想定されない施設、臨時・不使用施設（庁舎、図書館、観光施設、消防署等）を「全市利用型施設」として分析します。
- ・地区利用型施設の人口 1 人あたり保有面積は 1.51～2.82 m²/人で、大塚地区および西浦地区が大きくなっています。全市利用型施設の人口 1 人あたり保有面積は 0.50～4.08 m²/人で、蒲郡北地区および大塚地区が大きくなっています。

図 4-2 地区別にみた人口・人口構成・公共施設保有面積の比較

地区	総人口 (人)	年齢階層別人口 (人)			年齢階層別人口の割合 (%)			公共施設保有面積 (m ²)			人口 1 人あたり保有面積 (m ² /人)		
		年少 人口	生産 年齢 人口	老年 人口	年少 人口	生産 年齢 人口	老年 人口	地区 利用型 施設	全市 利用型 施設	全施設	地区 利用型 施設	全市 利用型 施設	全施設
大塚	6,553	1,083	3,882	1,588	16.5%	59.2%	24.2%	15,400	18,859	34,259	2.35	2.88	5.23
三谷	13,199	1,489	7,791	3,919	11.3%	59.0%	29.7%	25,863	6,554	32,417	1.96	0.50	2.46
蒲郡北	12,392	1,667	7,401	3,324	13.5%	59.7%	26.8%	27,609	50,609	78,218	2.23	4.08	6.31
蒲郡南	16,760	2,154	9,929	4,677	12.9%	59.2%	27.9%	34,169	28,332	62,501	2.04	1.69	3.73
塩津	11,179	1,378	6,898	2,903	12.3%	61.7%	26.0%	16,924	8,584	25,508	1.51	0.77	2.28
形原	15,331	2,079	8,850	4,402	13.6%	57.7%	28.7%	26,088	9,545	35,633	1.70	0.62	2.32
西浦	5,686	549	3,144	1,993	9.7%	55.3%	35.1%	16,013	12,964	28,978	2.82	2.28	5.10

※人口は平成 27（2015）年国勢調査の結果（年齢不詳按分済）をもとに掲載しています。

※年少人口は 15 歳未満の人口、生産年齢人口は 15 歳以上 65 歳未満の人口、老年人口は 65 歳以上の人口を表しています。

※人口の割合は、小数点第 2 位を四捨五入しているため、合計が 100%にならない場合があります。

※公共施設保有面積は、小数点以下を四捨五入しています。

出所：国勢調査、蒲郡市公共施設一覧

4-3 大塚地区の現状

(1) 地区の特色

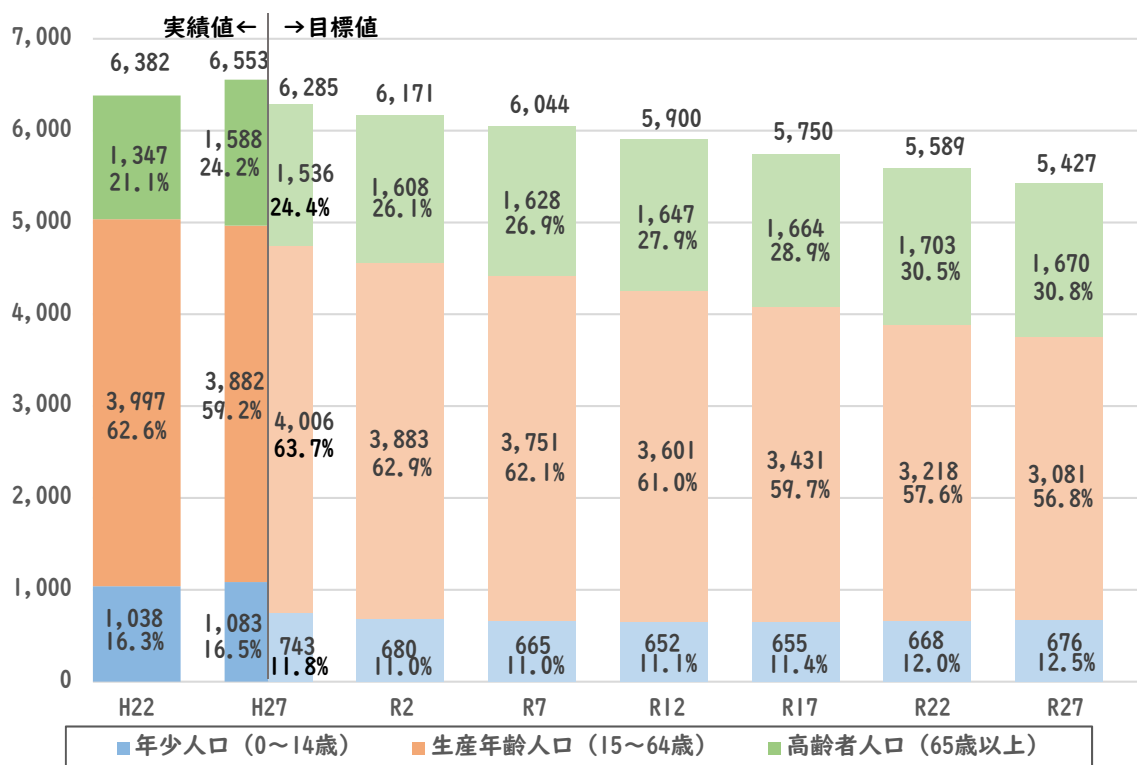
大塚地区は市東部に位置し、東海道本線の三河大塚駅を中心に市街地が形成されています。海岸から東海道本線沿線にかけては住宅地を中心とした市街地が広がり、その北側は主に農地として利用され、最北部は森林地帯となっています。人口は6,553人と7地区中2番目に少なく、市全体の約8.1%を占めています。

海辺には複合リゾート施設が立地しており、市内の主要観光地の一つともなっています。また、森林地帯にはさがらの森や橘丘里山緑地といったレクリエーション空間としても活用される里山が残されており、人と自然が共生した地区となっています。

(2) 目標人口の推移

- ・生産年齢人口は、令和2（2020）年の3,883人（62.9%）をピークに減少し、令和27（2045）年には3,081人（56.8%）となる見込みです。
- ・高齢者人口は、平成27（2015）年の1,588人（24.2%）から令和22（2040）年の1,703人（30.5%）をピークに増加する見込みです。市全体の動向よりも高齢化のペースは遅いですが、より少ない生産年齢人口で高齢者を支える構造については共通しています。

図 4-3 目標人口（大塚地区）



※実績値は各年の国勢調査の結果（年齢不詳按分済）をもとに作成しています。

※目標値は蒲郡市まち・ひと・しごと創生人口ビジョン（平成22（2010）年国勢調査をもとに平成28（2016）年3月に策定）をもとに作成しています。

※平成27（2015）年のデータについては、実績値と目標値を併記しています。

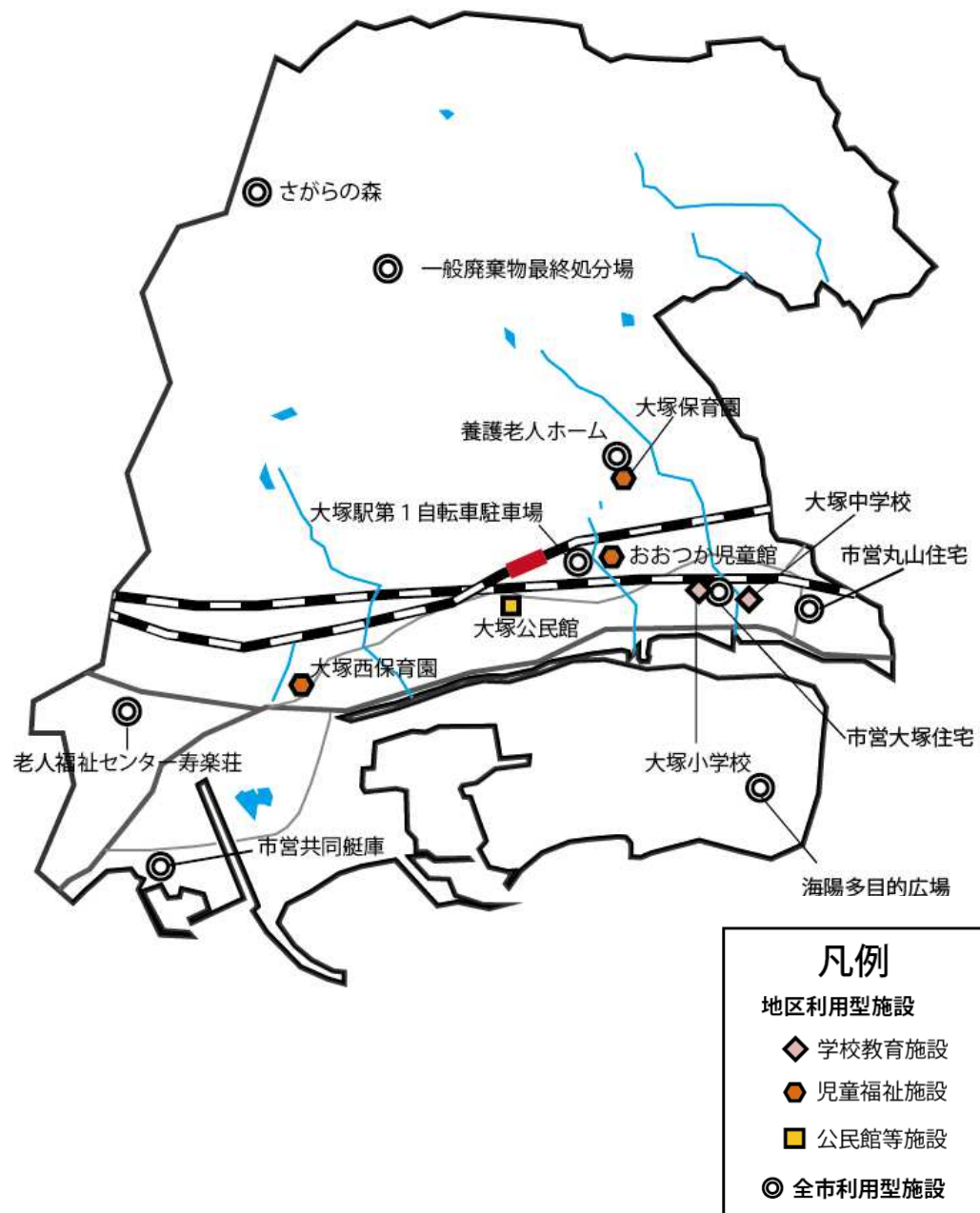
※実績値には海陽学園の生徒等が含まれています。目標値は、平成22（2010）年現在の海陽学園の生徒等を含んだ実績値をもとに作成しています。

出所：蒲郡市まち・ひと・しごと創生人口ビジョン、国勢調査

(3) 公共施設の配置状況

- ・合計 34,259 m²の公共施設が整備されており、海岸から東海道本線にかけての沿岸部に多くの施設が立地しています。

図 4-4 公共施設の配置状況（大塚地区）



※小規模な施設は配置図に示していません。

(4) 老朽化状況・災害区域指定等状況

- ・地区利用型施設では、大塚中学校、大塚保育園、大塚西保育園、大塚公民館の老朽化が進行しています。
- ・地区内の小学校、中学校、保育園、公民館はいずれも避難所に指定されています。
- ・全市利用型施設では、さがらの森、養護老人ホーム、市営大塚住宅の老朽化が進んでいます。

図 4-5 公共施設一覧（大塚地区）

利用 種別	施設用途 (大分類)	施設用途 (中分類)	施設名称	延床 面積 (㎡)	建築 年度	老朽化 度	避難所指定			災害の危険区域等			
							指定	指定 緊急	地域	想定 震度	津波 浸水	高潮 浸水	土砂 災害
地区 利用 型 施設	学校教育施設	小学校	大塚小学校	5,405	S31	2.8	○	○		6弱	—	—	—
		中学校	大塚中学校	7,443	S32	3.0	○	○		6弱	—	—	—
	児童福祉施設	保育園	大塚保育園	684	S45	3.1	○			6弱	—	—	—
			大塚西保育園	530	S47	3.1	○			6弱	—	—	—
	公民館等施設	児童館	おおつか児童館	486	H11	2.2				6弱	—	—	—
		公民館	大塚公民館	742	S47	3.0			○	6弱	—	—	—
	運動・公園施設	公園	橘丘里山緑地	15	H22	対象外				6弱	—	—	—
		児童遊園地等	東大塚児童遊園地	2	S57	対象外				6弱	—	—	—
			産子山児童遊び場	2	S57	対象外				6弱	—	—	—
		スポーツ施設等	海陽さくらパーク	90	H8	2.8				6弱	—	～2.0	警戒
			さがらの森	500	S49	3.0				6弱	—	—	警戒
全市 利用 型 施設	運動・公園施設	スポーツ施設等	犬ログラウンド	3	S60	対象外				6弱	—	—	—
			海陽多目的広場	154	H27	対象外				6強	—	～5.0	—
			養護老人ホーム	1,070	S45	3.4				6弱	—	—	—
	保健・福祉施設	福祉センター等	老人福祉センター寿楽荘	1,610	S49	2.9				6弱	—	—	警戒
			一般廃棄物最終処分場	918	H12	2.7				6弱	—	—	—
	公営住宅施設	公営住宅	市営丸山住宅	6,951	H9	2.8				6強	—	—	—
			市営大塚住宅	5,228	S48	3.4				6弱	—	—	—
	消防・防災施設	消防資機材庫等	大塚水防倉庫	40	S50	対象外				6弱	—	—	—
			大塚小大震災対策用器具格納庫	7	S57	対象外				6弱	—	—	—
			大塚西保育園大震災対策用器具格納庫	7	S62	対象外				6弱	—	—	—
			消防団Ⅰ－Ⅰ器具庫	60	H3	2.3				6弱	—	—	—
			消防団Ⅰ－Ⅱ器具庫	85	H23	1.2				6弱	—	—	—
			消防団Ⅰ－Ⅲ器具庫	60	S63	2.8				6弱	—	—	—
	その他施設	駅周辺施設	大塚駅第Ⅰ自転車駐車場	145	S57	2.3				6弱	—	—	—
			三河大塚駅前公衆便所	32	H17	対象外				6弱	—	—	—
		その他	市営共同艇庫	1,488	H27	1.2				6弱	—	～2.0	—

データ掲載上の条件（他の地区についても同様です。）

- ・建築物がない施設は掲載していません。
- ・臨時・不利用施設は掲載していません。
- ・複数の建物で構成されている施設の築年数は、最も建築年の古い建物をもとに掲載しています。
- ・床面積 50 ㎡以上の建物がない施設は、老朽化度の調査を実施していません。
- ・避難所指定のうち、「指定」は指定避難所（被災者が避難生活をする場所）、「指定緊急」は指定緊急避難場所（地震の際の一時避難場所）、「地域」は地域避難所（風水害の際の一時避難場所）を指します。
- ・災害の危険区域等については、施設の敷地にかかっているものを表示しています。
- ・災害の危険区域等における地震にかかるものは、「愛知県東海地震・東南海地震・南海地震等被害予測調査」（平成 26（2014）年 3 月発表）に基づく被害想定を記載しています。「津波浸水」は愛知県指定による津波災害警戒区域における浸水深（単位：m）、「高潮浸水」は高潮浸水想定（平成 26（2014）年 11 月発表）における浸水深（単位：m）、「土砂災害」は愛知県指定による土砂災害警戒区域と土砂災害特別警戒区域を示しています。
- ・老朽化度 3.0 以上の施設は、黄色の網掛けで表示しています。

(5) 利用状況・コスト状況

- ・地区利用型施設では大塚公民館において、会議室等の貸出しを行っています。貸部屋等利用率が20%程度となっており、さらなる利用の促進が求められます。
- ・全市利用型施設では3つのスポーツ施設等において、施設の貸出しを行っています。さがらの森と犬ログ라운드의貸部屋等利用率は10%を下回っています。
- ・地区利用型施設の市負担額の合計は約1.76億円で、地区人口1人あたりの市負担額は約26.9千円/人となっています。

図 4-6 部屋等の貸出しを行っている施設における利用率の把握（大塚地区）

利用種別	施設用途 (大分類)	施設用途 (中分類)	施設名称	貸出箇所
地区利用型施設	公民館等施設	公民館	大塚公民館	集会室、会議室、小会議室、和室、控室、調理室
全市利用型施設	運動・公園施設	スポーツ施設等	さがらの森	キャンプサイト
			犬ログ라운드	グラウンド
			海陽多目的広場	多目的広場

利用種別	施設用途 (大分類)	施設用途 (中分類)	施設名称	貸部屋等 利用率 (%)	貸部屋等利用率 (%)				
地区利用型施設	公民館等施設	公民館	大塚公民館	23.2	0.0	20.0	40.0	60.0	80.0 100.0
全市利用型施設	運動・公園施設	スポーツ施設等	さがらの森	7.0					
			犬ログ라운드	5.0					
			海陽多目的広場	58.4					

※貸部屋等利用率の値は6ヵ年度（平成26（2014）～令和元（2019）年度）の平均値を掲載しています。
 ※海陽多目的広場は平成27（2015）年度に建築、平成28（2016）年度の途中から供用開始されたため、平成29（2017）～令和元（2019）年度の平均値を掲載しています。
 ※さがらの森、犬ログ라운드、海陽多目的広場は、建築物等があるため掲載していますが、貸出しを行っている箇所はグラウンド等です。

図 4-7 公共施設の利用状況の把握（大塚地区）

利用種別	施設用途 (大分類)	施設用途 (中分類)	施設名称	延床 面積 (㎡)	利用者数			平均園児・ 児童・生徒 数 (人)	平均 入居率 (%)	貸部屋等 利用率 (%)
地区利用型施設	学校教育施設	小学校	大塚小学校	5,405	—	—	—	290	—	—
		中学校	大塚中学校	7,443	—	—	—	162	—	—
	児童福祉施設	保育園	大塚保育園	684	—	—	—	65	—	—
		大塚西保育園	530	—	—	—	—	27	—	—
	公民館等施設	児童館	おおつか児童館	486	16,329	57.1	0.147	—	—	—
		公民館	大塚公民館	742	30,241	104.0	0.140	—	—	23.2
	運動・公園施設	公園	橘丘里山緑地	15	—	—	—	—	—	—
		児童遊園地等	東大塚児童遊園地	2	—	—	—	—	—	—
			産子山児童遊び場	2	—	—	—	—	—	—
		スポーツ施設等	海陽さくらパーク	90	—	—	—	—	—	—
全市利用型施設	運動・公園施設	スポーツ施設等	さがらの森	500	4,507	12.6	0.025	—	—	7.0
			犬ログ라운드	3	840	2.5	0.961	—	—	5.0
			海陽多目的広場	154	18,711	166.9	1.082	—	—	58.4
			養護老人ホーム	1,070	6,149	16.8	0.016	—	64.8	—
	保健・福祉施設	福祉センター等	老人福祉センター寿楽荘	1,610	39,339	164.6	0.102	—	—	—
	衛生施設	ごみ処理施設等	一般廃棄物最終処分場	918	—	—	—	—	—	—
	公営住宅施設	公営住宅	市営丸山住宅	6,951	—	—	—	—	98.3	—
			市営大塚住宅	5,228	—	—	—	—	96.9	—
	消防・防災施設	消防資機材庫等	大塚水防倉庫	40	—	—	—	—	—	—
			大塚小大震災対策用器具格納庫	7	—	—	—	—	—	—
			大塚西保育園大震災対策用器具格納庫	7	—	—	—	—	—	—
			消防団1-1器具庫	60	—	—	—	—	—	—
			消防団1-2器具庫	85	—	—	—	—	—	—
			消防団1-3器具庫	60	—	—	—	—	—	—
	その他施設	駅周辺施設	大塚駅第1自転車駐車場	145	—	—	—	—	—	—
			三河大塚駅前公衆便所	32	—	—	—	—	—	—
		その他	市営共同艇庫	1,488	—	—	—	—	—	—

※利用状況の値は6ヵ年度（平成26（2014）～令和元（2019）年度）の平均値を掲載しています。
 ※海陽多目的広場は平成27（2015）年度に建築、平成28（2016）年度の途中から供用開始されたため、平成29（2017）～令和元（2019）年度の平均値を掲載しています。
 ※さがらの森、犬ログ라운드、海陽多目的広場の利用者数は、グラウンド等のデータです。

図 4-8 公共施設のコスト状況の把握（大塚地区）

利用 種別	施設用途 (大分類)	施設用途 (中分類)	施設名称	延床 面積 (㎡)	市の支出				市の収入 (千円)	市負担額 (千円)	面積あたり 市負担額 (円/㎡)
					施設に 係るコスト (千円)	事業運営に 係るコスト (千円)	人に 係るコスト (千円)	指定 管理料 (千円)			
地区 利用 型 施設	学校教育施設	小学校	大塚小学校	5,405	22,916	8,901	2,700	0	90	34,427	6,369
		中学校	大塚中学校	7,443	18,178	8,031	3,967	0	90	30,085	4,042
	児童福祉施設	保育園	大塚保育園	684	5,913	12,073	43,050	0	12,541	48,495	70,946
			大塚西保育園	530	5,233	8,177	25,633	0	5,703	33,341	62,949
		児童館	おおつか児童館	486	7,994	4,428	4,233	0	120	16,535	33,995
	公民館等施設	公民館	大塚公民館	742	3,711	0	0	6,774	0	10,485	14,125
	運動・公園施設	公園	橘丘里山緑地	15	75	0	0	0	0	75	4,881
			東大塚児童遊園地	2	530	0	0	0	0	530	228,233
		児童遊園地等	産子山児童遊び場	2	85	0	0	0	0	85	36,566
		スポーツ施設等	海陽さくらパーク	90	1,878	0	0	0	0	1,878	20,867
全市 利用 型 施設	運動・公園施設	スポーツ施設等	さがらの森	500	2,322	0	0	0	0	2,322	4,640
			犬ログラウンド	3	59	0	0	1,719	3	1,775	672,412
			海陽多目的広場	154	35,898	0	0	0	535	35,363	229,179
	保健・福祉施設	福祉センター等	養護老人ホーム	1,070	1,978	0	0	74,311	11,783	64,505	60,278
			老人福祉センター寿楽荘	1,610	9,556	831	0	43,407	35	53,759	33,390
	衛生施設	ごみ処理施設等	一般廃棄物最終処分場	918	27,544	658	3,250	0	0	31,452	34,276
	公営住宅施設	公営住宅	市営丸山住宅	6,951	11,403	0	1,738	0	26,906	-13,766	-1,980
			市営大塚住宅	5,228	22,847	0	1,738	0	16,358	8,228	1,574
	消防・防災施設	消防資機材庫等	大塚水防倉庫	40	3	0	0	0	0	3	75
			大塚小大震災対策用器具格納庫	7	0	0	0	0	0	0	0
			大塚西保育園大震災対策用器具格納庫	7	0	0	0	0	0	0	0
			消防団Ⅰ－Ⅰ器具庫	60	14	0	0	0	0	14	234
			消防団Ⅰ－Ⅱ器具庫	85	88	0	0	0	0	88	1,031
	その他施設	駅周辺施設	消防団Ⅰ－Ⅲ器具庫	60	24	0	0	0	0	24	398
			大塚駅第Ⅰ自転車駐車場	145	96	0	0	0	0	96	662
			三河大塚駅前公衆便所	32	1,155	0	0	0	0	1,155	36,667
		その他	市営共同艇庫	1,488	419	0	0	0	6,798	-6,380	-4,287

※コスト状況の値は6ヵ年度（平成26（2014）～令和元（2019）年度）の平均値を掲載しています。
 ※海陽多目的広場は平成27（2015）年度に建築、平成28（2016）年度の途中から供用開始されたため、平成29（2017）～令和元（2019）年度の平均値を掲載しています。また、市営共同艇庫は平成27（2015）年度に建築されたため、平成28（2016）～令和元（2019）年度の平均値を掲載しています。

4-4 三谷地区の現状

(1) 地区の特色

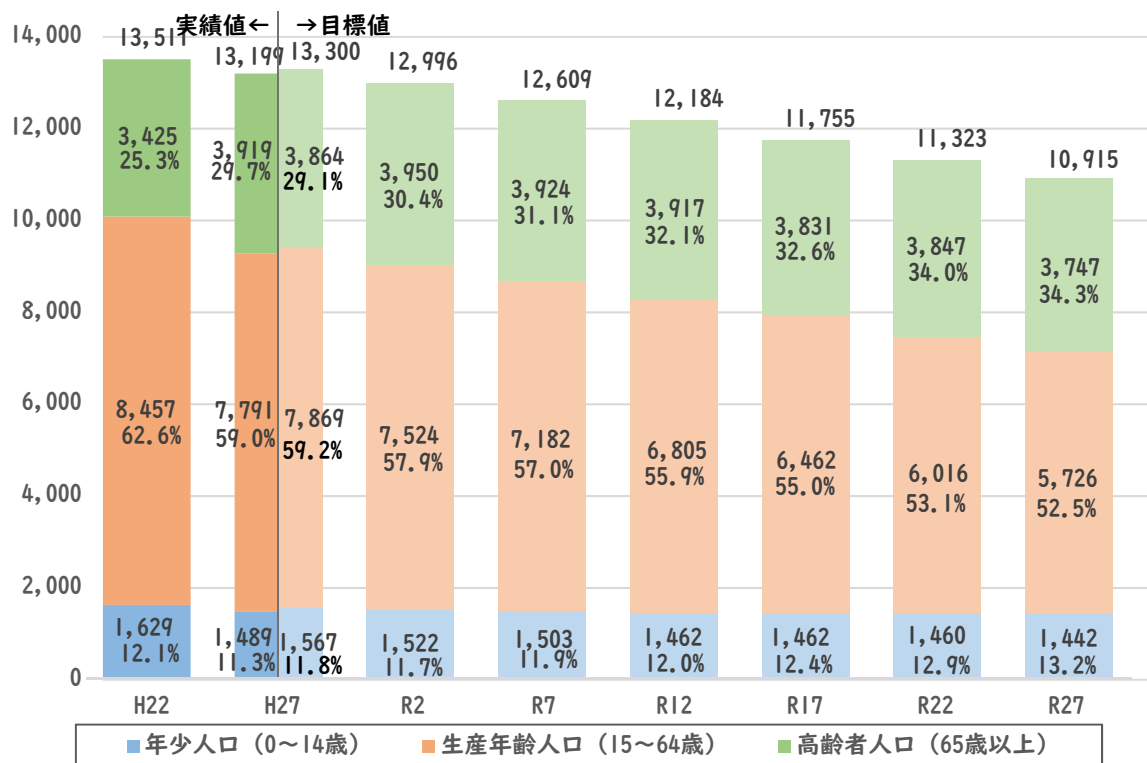
三谷地区は市中東部に位置し、東海道本線の三河三谷駅が中心となり、西に隣接する蒲郡地区と連続して市街地を形成しています。市街地の多くが住宅地となっていますが、三河湾国定公園内の海岸沿いには三谷温泉が立地しており、観光地としての機能も有しています。人口は13,199人と7地区中3番目で、市全体の約16.3%を占めています。

蒲郡市都市計画マスタープランにおいては、三河三谷駅周辺を中心都市核の機能を補完する副次都市核として位置付けているほか、三谷温泉周辺を広域的な観光レクリエーション拠点として位置付けています。

(2) 目標人口の推移

- ・生産年齢人口は、平成27(2015)年から令和27(2045)年の間に、7,791人(59.0%)から5,726人(52.5%)まで減少する見込みです。
- ・高齢者人口は、平成27(2015)年の3,919人(29.7%)が令和27(2045)年には3,747人(34.3%)となる見込みです。高齢者の人口は概ね横ばいですが、人口に占める割合は増加し、市全体の動向とほぼ同じように高齢化が進む見込みです。

図 4-9 目標人口（三谷地区）



※実績値は各年の国勢調査の結果（年齢不詳按分済）をもとに作成しています。

※目標値は蒲郡市まち・ひと・しごと創生人口ビジョン（平成22(2010)年国勢調査をもとに平成28(2016)年3月に策定）をもとに作成しています。

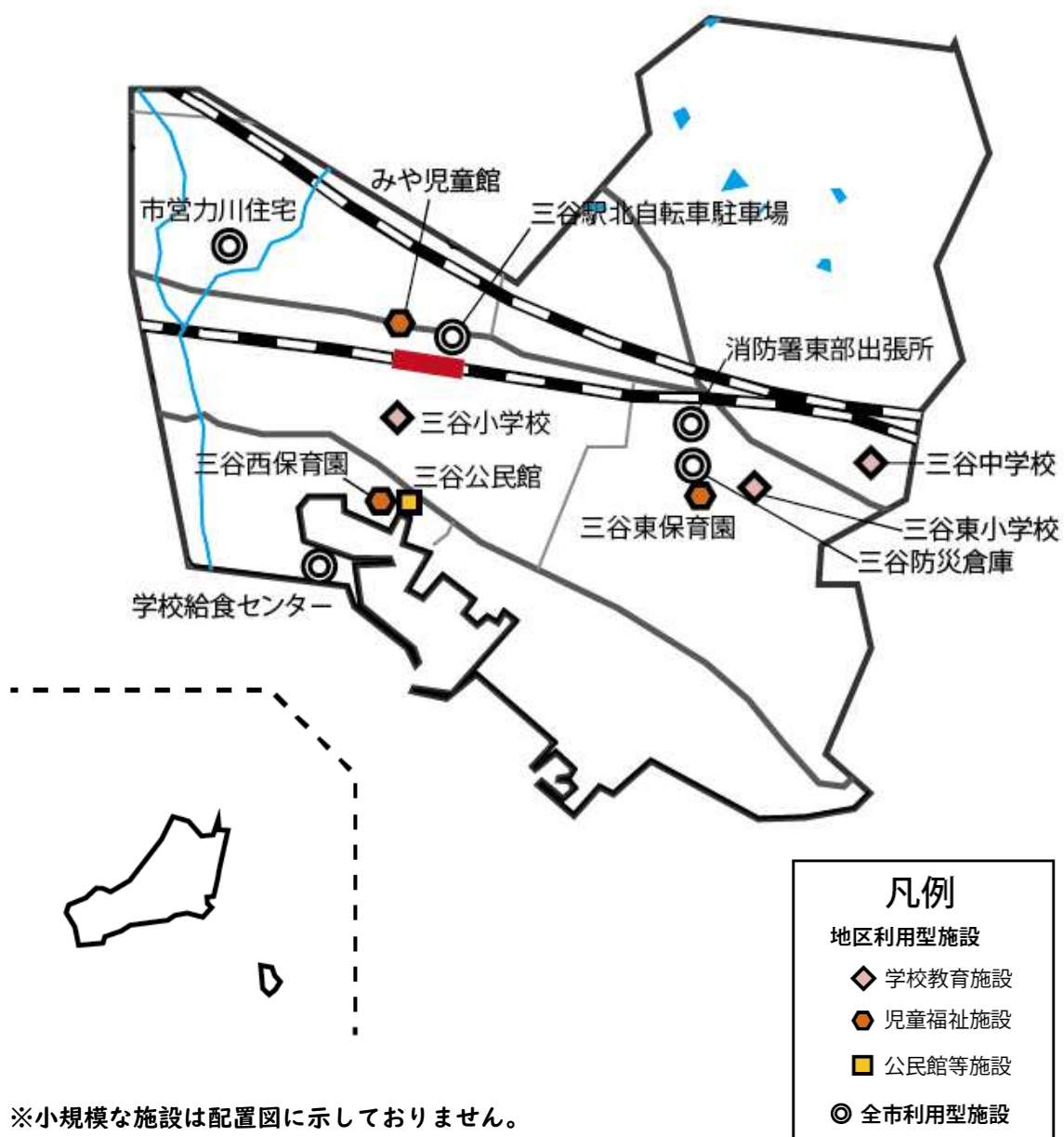
※平成27(2015)年のデータについては、実績値と目標値を併記しています。

出所：蒲郡市まち・ひと・しごと創生人口ビジョン、国勢調査

(3) 公共施設の配置状況

- ・ 合計 32,417 ㎡の公共施設が整備されており、三河三谷駅周辺や東海道本線の沿線を中心に公共施設が立地しています。

図 4-10 公共施設の配置状況（三谷地区）



(4) 老朽化状況・災害区域指定等状況

- ・地区利用型施設では、三谷中学校、三谷東保育園、三谷西保育園、三谷公民館の老朽化が進行しています。
- ・三谷西保育園、三谷公民館は津波の浸水が想定される区域に位置しています。
- ・三谷小学校、三谷東小学校、三谷中学校、三谷東保育園、みや児童館は避難所に指定されています。
- ・全市利用型施設では、公営住宅、観光施設、消防資機材庫等において老朽化が進行した施設が見られます。

図 4-11 公共施設一覧（三谷地区）

利用種別	施設用途 (大分類)	施設用途 (中分類)	施設名称	延床面積 (㎡)	建築年度	老朽化 度	避難所指定			災害の危険区域等			
							指定	指定 緊急	地域	想定 震度	津波 浸水	高潮 浸水	土砂 災害
地区利用型施設	学校教育施設	小学校	三谷小学校	6,147	S32	2.7	○	○	○	6強	—	~2.0	—
			三谷東小学校	6,765	S32	2.8	○	○	—	6弱	—	—	特別
		中学校	三谷中学校	8,032	S47	3.2	○	○	—	6弱	—	—	特別
	児童福祉施設	保育園	三谷東保育園	1,229	S48	3.0	○	—	—	6弱	—	—	—
			三谷西保育園	1,002	S46	3.0	—	—	—	6強	~1.0	~5.0	—
		児童館	みや児童館	490	H8	2.2	—	—	○	6弱	—	—	—
	公民館等施設	公民館	三谷公民館	1,951	S46	3.0	—	—	—	6強	~1.0	~5.0	—
	運動・公園施設	公園	若宮公園	127	S43	対象外	—	—	—	6強	—	~5.0	警戒
			星越公園	6	S59	対象外	—	○	—	6弱	—	—	警戒
			須田公園	9	S43	対象外	—	○	—	6弱	—	—	—
			向山公園	17	S45	対象外	—	○	—	6弱	—	—	—
			矢田公園	9	S43	対象外	—	○	—	6弱	—	—	—
			弥生公園	10	S34	対象外	—	○	—	6弱	—	—	—
			天伯公園	10	S46	対象外	—	○	—	6弱	—	—	—
			寺戸公園	19	S46	対象外	—	○	—	6弱	—	—	—
			丸戸公園	6	S59	対象外	—	○	—	6弱	—	—	—
			半ノ木公園	10	S51	対象外	—	○	—	6弱	—	—	—
			西田川公園	20	S62	対象外	—	○	—	6弱	—	—	—
		児童遊園地等	黒別当児童遊園地	2	S46	対象外	—	—	—	6強	—	—	—
			みどりヶ丘児童遊び場	2	S45	対象外	—	—	—	6弱	~0.3	~5.0	—
全市利用型施設	運動・公園施設	スポーツ施設等	三谷グラウンド	25	S40	対象外	—	—	—	6弱	~0.3	~5.0	—
	学校教育施設	その他(学校給食)	学校給食センター	3,692	H16	1.9	—	—	—	6弱	~1.0	~5.0	—
	公営住宅施設	公営住宅	市営カ川住宅	589	S49	3.4	—	—	—	6強	—	—	—
	観光施設	観光施設	三谷温泉園地	246	S56	3.4	—	—	—	6弱	—	~5.0	警戒
			三河大島海水浴場	134	S50	対象外	—	—	—	6弱	~1.0	—	警戒
			七舗公衆便所	20	H30	対象外	—	—	—	6弱	—	~2.0	—
			砥神山エコトイレ	11	H22	対象外	—	—	—	6弱	—	—	—
	消防・防災施設	消防署	消防署東部出張所	439	S44	2.7	—	—	—	6弱	—	—	—
		消防資機材庫等	三谷防災倉庫	110	S57	2.7	—	—	—	6弱	—	—	警戒
			三谷大震災対策用器具格納庫	7	S57	対象外	—	—	—	6弱	—	—	—
			三谷中小震災対策用器具格納庫	7	S61	対象外	—	—	—	6強	—	—	—
			三谷中大震災対策用器具格納庫	7	H3	対象外	—	—	—	6弱	—	—	—
			三谷秋葉神社大震災対策用器具格納庫	6	H8	対象外	—	—	—	6弱	—	—	—
			消防団2-1格納庫	28	S59	対象外	—	—	—	6弱	—	—	—
			消防団2-2格納庫	57	H1	3.0	—	—	—	6弱	~1.0	~5.0	—
			消防団2-3格納庫	23	S57	対象外	—	—	—	6弱	~1.0	~5.0	—
	その他施設	駅周辺施設	三谷駅北自転車駐車場	594	H8	2.0	—	—	—	6弱	—	—	—
			三谷駅南公共駐車場	2	H8	対象外	—	—	—	6弱	—	—	—

※データ掲載上の条件は 93 ページをご確認ください。

(5) 利用状況・コスト状況

- ・地区利用型施設の三谷公民館において、会議室等の貸出しを行っています。貸部屋等利用率は 20%程度となっており、さらなる利用の促進が求められます。
- ・全市利用型施設では三谷グラウンドにおいて、グラウンドの貸出しを行っています。貸し部屋等利用率は 30%程度となっています。
- ・地区利用型施設の市負担額の合計は約 3.57 億円で、地区人口 1 人あたりの市負担額は約 27.1 千円／人となっています。

図 4-12 部屋等の貸出しを行っている施設における利用率の把握（三谷地区）

利用 種別	施設用途 (大分類)	施設用途 (中分類)	施設名称	貸出箇所
地区利用型施設	公民館等施設	公民館	三谷公民館	大会議室、第 1 集会室、第 2 集会室、第 3 集会室、第 4 集会室、第 5 集会室、第 6 集会室、和室、調理室
全市利用型施設	運動・公園施設	スポーツ施設等	三谷グラウンド	グラウンド A、グラウンド B

利用 種別	施設用途 (大分類)	施設用途 (中分類)	施設名称	貸部屋等 利用率 (%)	貸部屋等利用率 (%)					
地区利用型施設	公民館等施設	公民館	三谷公民館	20.6	0.0	20.0	40.0	60.0	80.0	100.0
全市利用型施設	運動・公園施設	スポーツ施設等	三谷グラウンド	29.9						

※貸部屋等利用率の値は 6 カ年度（平成 26（2014）～令和元（2019）年度）の平均値を掲載しています。
 ※三谷グラウンドは、建築物等があるため掲載していますが、貸出しを行っている箇所はグラウンドです。

図 4-13 公共施設の利用状況の把握（三谷地区）

利用 種別	施設用途 (大分類)	施設用途 (中分類)	施設名称	延床 面積 (㎡)	利用者数 6 年平均 (人)	1 日あたり 平均 (人/日)	面積あたり 1 日あたり平均 (人/㎡・日)	平均園児・ 児童・生徒 数 (人)	平均 入居率 (%)	貸部屋等 利用率 (%)
地区利用型施設	学校教育施設	小学校	三谷小学校	6,147	—	—	—	230	—	—
			三谷東小学校	6,765	—	—	—	317	—	—
			三谷中学校	8,032	—	—	—	299	—	—
	児童福祉施設	保育園	三谷東保育園	1,229	—	—	—	117	—	—
			三谷西保育園	1,002	—	—	—	70	—	—
			みや児童館	490	22,708	79.0	0.161	—	—	—
	公民館等施設	公民館	三谷公民館	1,951	33,161	113.4	0.061	—	—	20.6
			若宮公園	127	—	—	—	—	—	—
			星越公園	6	—	—	—	—	—	—
			須田公園	9	—	—	—	—	—	—
			向山公園	17	—	—	—	—	—	—
			矢田公園	9	—	—	—	—	—	—
			弥生公園	10	—	—	—	—	—	—
			天伯公園	10	—	—	—	—	—	—
			寺戸公園	19	—	—	—	—	—	—
			丸戸公園	6	—	—	—	—	—	—
			半ノ木公園	10	—	—	—	—	—	—
			西田川公園	20	—	—	—	—	—	—
	運動・公園施設	公園	黒別当児童遊園地	2	—	—	—	—	—	—
			みどりヶ丘児童遊び場	2	—	—	—	—	—	—
全市利用型施設	運動・公園施設	スポーツ施設等	三谷グラウンド	25	8,868	25.0	0.986	—	—	29.9
	学校教育施設	その他(学校給食)	学校給食センター	3,692	1,443,801	5,924.1	1.605	—	—	—
	公営住宅施設	公営住宅	市営力川住宅	589	—	—	—	—	100.0	—
	観光施設	観光施設	三谷温泉園地	246	—	—	—	—	—	—
			三河大島海水浴場	134	14,083	227.1	1.696	—	—	—
			七舗公衆便所	20	—	—	—	—	—	—
			砥神山エコトイレ	11	—	—	—	—	—	—
			三谷大震災対策用器具格納庫	7	—	—	—	—	—	—
	消防・防災施設	消防署	消防署東部出張所	439	—	—	—	—	—	—
			三谷防災倉庫	110	—	—	—	—	—	—
			三谷大震災対策用器具格納庫	7	—	—	—	—	—	—
			三谷小大震災対策用器具格納庫	7	—	—	—	—	—	—
			三谷中大震災対策用器具格納庫	7	—	—	—	—	—	—
			三谷秋葉神社大震災対策用器具格納庫	6	—	—	—	—	—	—
			消防団 2-1 格納庫	28	—	—	—	—	—	—
	その他施設	駅周辺施設	消防団 2-2 格納庫	57	—	—	—	—	—	—
			消防団 2-3 格納庫	23	—	—	—	—	—	—
			三谷駅北自転車駐車場	594	—	—	—	—	—	—
	その他施設	駅周辺施設	三谷駅南公共駐車場	2	—	—	—	—	—	—

※利用状況の値は 6 カ年度（平成 26（2014）～令和元（2019）年度）の平均値を掲載しています。
 ※三谷グラウンドの利用者数は、グラウンドのデータです。
 ※学校給食センターの利用者数は配食数を示しています。

図 4-14 公共施設のコスト状況の把握（三谷地区）

利用 種別	施設用途 (大分類)	施設用途 (中分類)	施設名称	延床 面積 (㎡)	市の支出				市の収入 (千円)	市負担額 (千円)	面積あたり 市負担額 (円/㎡)
					施設に 係るコスト (千円)	事業運営に 係るコスト (千円)	人に 係るコスト (千円)	指定 管理料 (千円)			
地区 利用型施設	学校教育施設	小学校	三谷小学校	6,147	36,581	8,096	2,700	0	90	47,287	7,692
			三谷東小学校	6,765	25,057	8,613	5,867	0	90	39,446	5,831
		中学校	三谷中学校	8,032	35,825	9,112	2,700	0	90	47,547	5,919
	児童福祉施設	保育園	三谷東保育園	1,229	5,895	30,108	91,317	0	22,736	104,583	85,076
			三谷西保育園	1,002	4,936	19,517	64,700	0	12,019	77,134	76,958
		児童館	みや児童館	490	4,796	4,518	3,600	0	0	12,914	26,375
	公民館等施設	公民館	三谷公民館	1,951	5,166	614	668	9,978	1,150	15,227	7,830
	運動・公園施設	公園	若宮公園	127	0	0	0	6,029	0	6,029	47,469
			星越公園	6	373	0	0	0	0	373	64,339
			須田公園	9	309	0	0	0	0	309	34,333
			向山公園	17	1,498	0	0	0	0	1,498	86,992
			矢田公園	9	427	0	0	0	0	427	47,389
			弥生公園	10	388	0	0	0	0	388	38,399
			天伯公園	10	691	0	0	0	0	691	72,549
			寺戸公園	19	323	0	0	0	0	323	16,893
			丸戸公園	6	572	0	0	0	0	572	98,649
			半ノ木公園	10	372	0	0	0	0	372	39,093
			西田川公園	20	2,095	0	0	0	0	2,095	106,699
		児童遊園地等	黒別当児童遊園地	2	88	0	0	0	0	88	37,931
			みどりヶ丘児童遊び場	2	123	0	0	0	0	123	53,161
全市 利用型施設	運動・公園施設	スポーツ施設等	三谷グラウンド	25	3,011	0	0	2,202	309	4,904	193,611
	学校教育施設	その他(学校給食)	学校給食センター	3,692	96,252	538,370	35,000	0	296,303	373,319	101,113
	公営住宅施設	公営住宅	市営力川住宅	589	2,256	0	1,738	0	1,934	2,060	3,500
	観光施設	観光施設	三谷温泉園地	246	1,509	0	0	0	0	1,509	6,146
			三河大島海水浴場	134	9,656	0	0	0	0	9,656	72,103
			七舗公衆便所	20	—	—	—	—	—	—	—
			砥神山エコトイレ	11	0	0	0	0	0	0	0
	消防・防災施設	消防署	消防署東部出張所	439	5,527	0	78,000	0	0	83,527	190,064
		消防資機材庫等	三谷防災倉庫	110	6	0	0	0	0	6	56
			三谷大震災対策用器具格納庫	7	0	0	0	0	0	0	0
			三谷小大震災対策用器具格納庫	7	0	0	0	0	0	0	0
			三谷中大震災対策用器具格納庫	7	0	0	0	0	0	0	0
			三谷秋葉神社大震災対策用器具格納庫	6	0	0	0	0	0	0	0
			消防団2-1格納庫	28	12	0	0	0	0	12	418
			消防団2-2格納庫	57	29	0	0	0	0	29	504
			消防団2-3格納庫	23	6	0	0	0	10	-4	-162
	その他施設	駅周辺施設	三谷駅北自転車駐車場	594	292	0	0	0	0	292	491
			三谷駅南公共駐車場	2	129	0	0	0	0	129	59,722

※コスト状況の値は6ヵ年度（平成26（2014）～令和元（2019）年度）の平均値を掲載しています。

※七舗公衆便所は令和元（2019）年度に移管を受けたため、データを掲載していません。

4-5 蒲郡北地区の現状

(1) 地区の特色

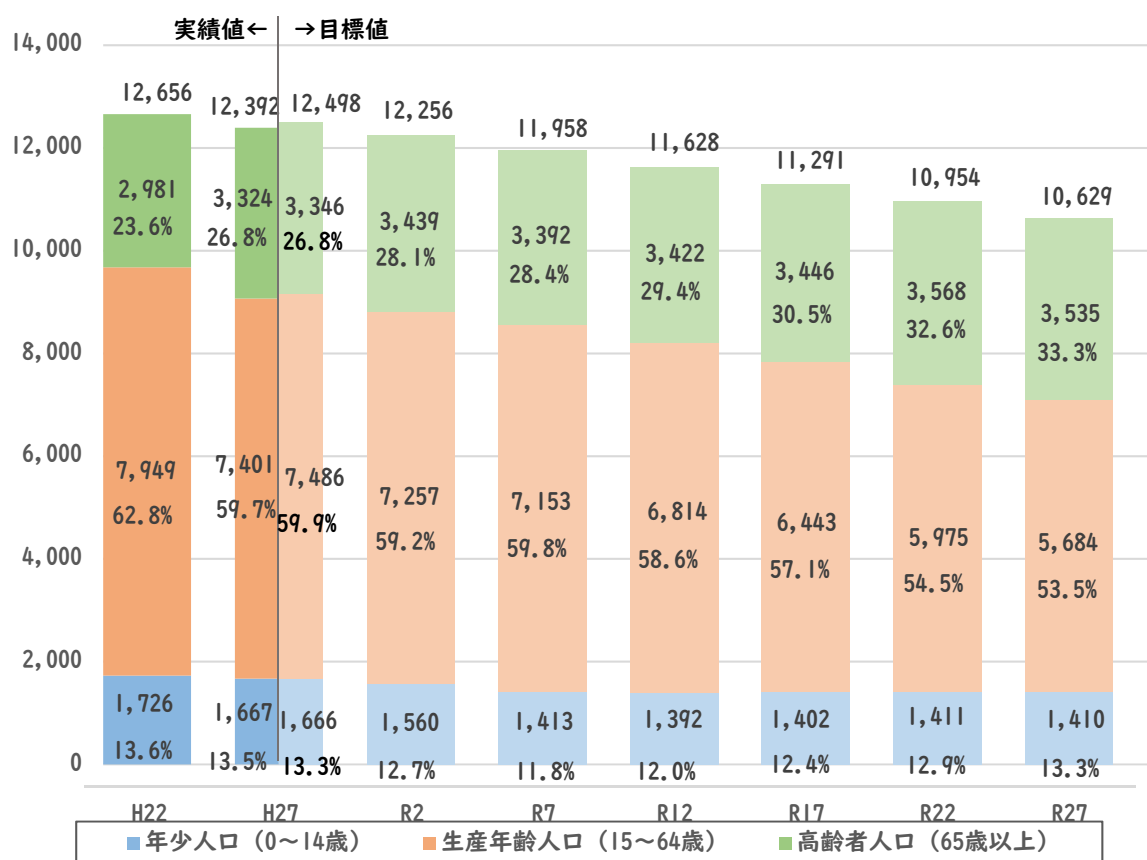
蒲郡北地区は市中北部に位置する地区で、地区南部の平野部に市役所や市民会館、図書館、市民体育センターなどの市の中核を担う施設が配置されており、市の行政上の中心になっています。一方、地区北部は住宅地や農地、森林が広がっていますが、国道 23 号蒲郡バイパス西部区間の開通によって西三河地域や名古屋圏とのアクセスに恵まれており、自動車交通の利便性の高さを活かした今後の発展が期待されます。

人口は 12,392 人と 7 地区の中で 4 番目に多く、市全体の約 15.3% を占めています。

(2) 目標人口の推移

- ・生産年齢人口は、平成 27 (2015) 年から令和 27 (2045) 年の間に、7,401 人(59.7%) から 5,684 人 (53.5%) まで減少する見込みです。
- ・高齢者人口は、平成 27 (2015) 年の 3,324 人 (26.8%) から令和 22 (2040) 年の 3,568 人 (32.6%) をピークに増加する見込みです。高齢者人口割合は全市平均よりも若干低いですが、今後市全体の動向とほぼ同じように高齢化が進行する見込みです。

図 4-15 目標人口（蒲郡北地区）



※実績値は各年の国勢調査の結果（年齢不詳按分済）をもとに作成しています。

※目標値は蒲郡市まち・ひと・しごと創生人口ビジョン（平成 22 (2010) 年国勢調査をもとに平成 28 (2016) 年 3 月に策定）をもとに作成しています。

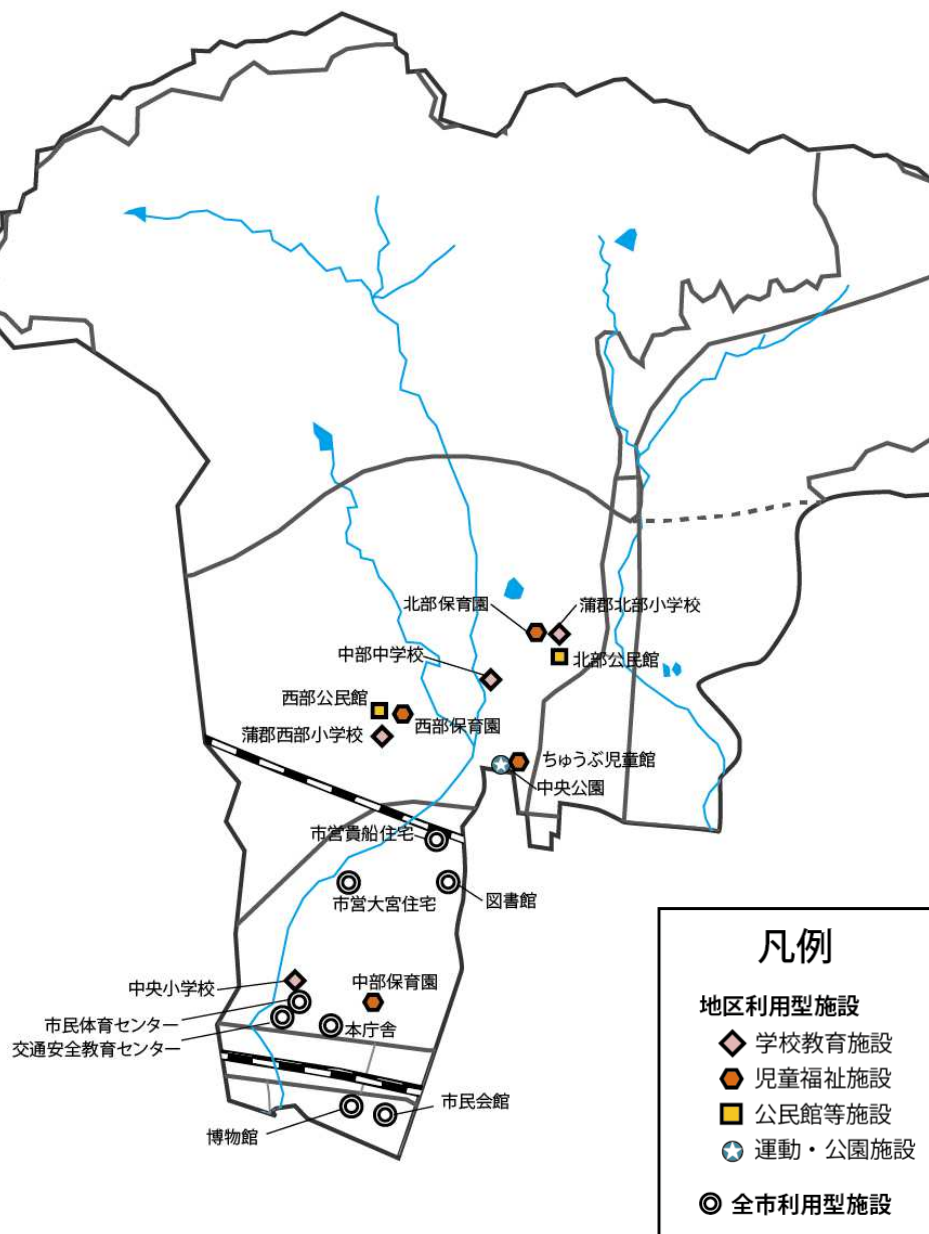
※平成 27 (2015) 年のデータについては、実績値と目標値を併記しています。

出所：蒲郡市まち・ひと・しごと創生人口ビジョン、国勢調査

(3) 公共施設の配置状況

- ・ 合計 78,218 m²の公共施設が整備されており、市役所や市民会館など市の大型公共施設が集まっています。
- ・ 全市利用型施設の保有面積は7地区の中で最も多くなっています。

図 4-16 公共施設の配置状況（蒲郡北地区）



※小規模な施設は配置図に示していません。

(4) 老朽化状況・災害区域指定等状況

- ・地区利用型施設では、北部保育園、北部公民館、西部公民館、中央公園の老朽化が進行しています。
- ・地区内の小学校、中学校、保育園、公民館はいずれも避難所に指定されています。
- ・全市利用型施設では、市民会館、博物館、図書館、市民体育センター、市営貴船住宅、市営大宮住宅、交通安全教育センターの老朽化が進行しています。
- ・市民会館、博物館は津波の浸水が想定される区域に位置しています。

図 4-17 公共施設一覧（蒲郡北地区）

利用種別	施設用途 (大分類)	施設用途 (中分類)	施設名称	延床面積 (㎡)	建築年度	老朽化度	避難所指定			災害の危険区域等			
							指定	指定緊急	地域	想定震度	津波浸水	高潮浸水	土砂災害
地区利用型施設	学校教育施設	小学校	蒲郡北部小学校	4,854	S27	2.7	○	○		6弱	—	—	—
			蒲郡西部小学校	3,756	S27	2.6	○	○		6弱	—	—	—
			中央小学校	6,409	S41	2.6	○	○		6弱	—	—	—
		中学校	中部中学校	7,640	S52	2.9	○	○		6弱	—	—	—
	児童福祉施設	保育園	北部保育園	1,140	S54	3.2	○			6弱	—	—	—
			西部保育園	660	S52	2.7	○			6弱	—	—	—
			中部保育園	1,308	S51	2.8	○			6弱	—	—	—
		児童館	ちゅうぶ児童館	569	H17	2.1				6弱	—	—	—
	公民館等施設	公民館	北部公民館	551	S52	3.0			○	6弱	—	—	—
			西部公民館	418	S50	3.2			○	6弱	—	—	—
	運動・公園施設	公園	中央公園	148	S55	3.0		○		6弱	—	—	—
			水竹公園	23	R1	対象外		○		6弱	—	—	—
			大坪公園	12	S43	対象外		○		6弱	—	～2.0	—
			旭公園	34	H7	対象外		○		6弱	—	～0.3	—
			御幸公園	8	S61	対象外		○		6弱	—	—	—
			中ノ坊公園	10	S42	対象外		○		6弱	—	—	—
			神倉公園	17	H7	対象外		○		6弱	—	—	—
			荻田公園	10	S51	対象外		○		6弱	—	—	—
			蒲形公園	15	S58	対象外		○		6弱	—	—	—
			海岸公園	10	S47	対象外				6強	～1.0	～5.0	—
		児童遊園地等	西沢児童遊園地	11	S42	対象外				6弱	—	～5.0	—
			神ノ郷児童遊園地	2	S50	対象外				6弱	—	—	—
		スポーツ施設等	宮成中央児童遊園地	2	S55	対象外				6弱	—	—	—
			水竹運動広場	2	H6	対象外				6弱	—	—	—
			坂本運動広場	2	S61	対象外				6弱	—	—	—
全市利用型施設	庁舎等施設	庁舎・倉庫	本庁舎	19,817	S36	2.4				6弱	—	～0.3	—
	公民館等施設	市民会館	市民会館	13,233	S48	3.9				6弱	～0.3	～5.0	—
	生涯学習施設	博物館等	博物館	2,364	S53	3.4				6弱	～1.0	～5.0	—
		図書館	図書館	2,006	S44	3.3				6弱	—	—	—
	運動・公園施設	スポーツ施設等	市民体育センター	10,312	S42	3.9	○			6弱	—	～2.0	—
	公営住宅施設	公営住宅	市営貴船住宅	855	S27	4.0				6弱	—	—	—
			市営大宮住宅	494	S33	4.1				6弱	—	—	—
	消防・防災施設	消防資機材庫等	清田水防倉庫	39	S53	対象外				6弱	—	—	—
			西部小大震災対策用器具格納庫	7	S58	対象外				6弱	—	—	—
			北部小大震災対策用器具格納庫	7	S59	対象外				6弱	—	—	—
			中央小大震災対策用器具格納庫	7	H2	対象外				6弱	—	—	—
			中部中大震災対策用器具格納庫	7	H4	対象外				6弱	—	—	—
			中ノ坊公園大震災対策用器具格納庫	7	H6	対象外				6弱	—	—	—
			大坪公園大震災対策用器具格納庫	7	H7	対象外				6弱	—	～2.0	—
			栄町大震災対策用器具格納庫	7	H7	対象外				6弱	—	～2.0	—
			消防団3-2器具庫	92	H21	1.0				6弱	—	—	—
			消防団5-1器具庫	45	S59	対象外	—	—	—	6弱	—	—	—
			消防団5-2器具庫	45	S58	対象外	—	—	—	6弱	—	—	—
			消防団5-3器具庫	35	S53	対象外	—	—	—	6弱	—	—	特別
			消防団6器具庫	32	S56	対象外	—	—	—	6弱	—	—	—
	その他施設	その他	交通安全教育センター	276	S48	3.8	—	—	—	6弱	—	～1.0	—

※データ掲載上の条件は 93 ページをご確認ください。

(5) 利用状況・コスト状況

- ・地区利用型施設では公民館で会議室等の貸出しを行っています。北部公民館は貸部屋等利用率が20%を下回っており、さらなる利用の促進が求められます。
- ・全市利用型施設では、市民会館、博物館、市民体育センターで施設の貸出しを行っています。これらの施設では、貸部屋等利用率が30%程度となっています。
- ・地区利用型施設の市負担額の合計は約4.83億円で、地区人口1人あたりの市負担額は約39千円/人となっています。
- ・支出を項目別にみると、市民会館と図書館は指定管理料が大きくなっています。

図 4-18 部屋等の貸出しを行っている施設における利用率の把握（蒲郡北地区）

利用 種別	施設用途 (大分類)	施設用途 (中分類)	施設名称	貸出箇所
地区利用型施設	公民館等施設	公民館	北部公民館	講義室、会議室、第1研修室、第2研修室、料理実習室
			西部公民館	講義室、第1研修室(研修室1)、和室(研修室2)、第2研修室(研修室3)、図書室、料理実習室
全市利用型施設	公民館等施設	市民会館	市民会館	大ホール、中ホール、東ホール、大会議室、中会議室、東会議室、談話室、会議室1、会議室2、会議室3、音楽室、託児室、茶室、展示場1(パブリックロビー)、展示室2(高床広場)
	生涯学習施設	博物館等	博物館	ギャラリー(企画展示室)西、ギャラリー(企画展示室)東
	運動・公園施設	スポーツ施設等	市民体育センター	競技場A、競技場B、剣道場A、剣道場B、剣道場C、柔道場A、柔道場B、柔道場C、相撲場、多目的練習場、第1弓道場、第2弓道場、大会議室、第1会議室、第2会議室、第3会議室、第4会議室、第5会議室、武道館会議室、和室大広間、和室南野間

利用 種別	施設用途 (大分類)	施設用途 (中分類)	施設名称	貸部屋等 利用率 (%)	貸部屋等利用率 (%)					
					0.0	20.0	40.0	60.0	80.0	100.0
地区利用型施設	公民館等施設	公民館	北部公民館	18.5						
			西部公民館	24.6						
全市利用型施設	公民館等施設	市民会館	市民会館	33.2						
	生涯学習施設	博物館等	博物館	31.1						
	運動・公園施設	スポーツ施設等	市民体育センター	28.6						

※貸部屋等利用率の値は6カ年度(平成26(2014)～令和元(2019)年度)の平均値を掲載しています。

図 4-19 公共施設の利用状況の把握（蒲郡北地区）

利用 種別	施設用途 (大分類)	施設用途 (中分類)	施設名称	延床 面積 (㎡)	利用者数			平均園児・ 児童・生徒 数 (人)	平均 入居率 (%)	貸部屋等 利用率 (%)
					6年平均 (人)	1日あたり 平均 (人/日)	面積あたり 1日あたり平均 (人/㎡・日)			
地区利用型施設	学校教育施設	小学校	蒲郡北部小学校	4,854	—	—	—	314	—	—
			蒲郡西部小学校	3,756	—	—	—	71	—	—
			中央小学校	6,409	—	—	—	310	—	—
	児童福祉施設	中学校	中部中学校	7,640	—	—	—	347	—	—
		保育園	北部保育園	1,140	—	—	—	117	—	—
			西部保育園	660	—	—	—	46	—	—
			中部保育園	1,308	—	—	—	138	—	—
	公民館等施設	児童館	ちゅうぶ児童館	569	31,096	108.7	0.191	—	—	—
		公民館	北部公民館	551	30,430	101.8	0.185	—	—	18.5
			西部公民館	418	9,808	32.6	0.078	—	—	24.6
	運動・公園施設	公園	中央公園	148	—	—	—	—	—	—
			水竹公園	23	—	—	—	—	—	—
			大坪公園	12	—	—	—	—	—	—
			旭公園	34	—	—	—	—	—	—
			御幸公園	8	—	—	—	—	—	—
			中ノ坊公園	10	—	—	—	—	—	—
			神倉公園	17	—	—	—	—	—	—
			藪田公園	10	—	—	—	—	—	—
			蒲形公園	15	—	—	—	—	—	—
			海岸公園	10	—	—	—	—	—	—
		児童遊園地等	西沢児童遊園地	11	—	—	—	—	—	—
			神ノ郷児童遊園地	2	—	—	—	—	—	—
			宮成中央児童遊園地	2	—	—	—	—	—	—
		スポーツ施設等	水竹運動広場	2	—	—	—	—	—	—
			坂本運動広場	2	—	—	—	—	—	—
全市利用型施設	庁舎等施設	庁舎・倉庫	本庁舎	19,817	—	—	—	—	—	—
	公民館等施設	市民会館	市民会館	13,233	218,146	712.4	0.054	—	—	33.2
	生涯学習施設	博物館等	博物館	2,364	32,288	108.6	0.046	—	—	31.1
		図書館	図書館	2,006	307,677	1,058.3	0.528	—	—	—
	運動・公園施設	スポーツ施設等	市民体育センター	10,312	181,142	505.8	0.049	—	—	28.6
	公営住宅施設	公営住宅	市営貴船住宅	855	—	—	—	—	37.0	—
			市営大宮住宅	494	—	—	—	—	34.4	—
	消防・防災施設	消防資機材庫等	清田水防倉庫	39	—	—	—	—	—	—
			西部小大震災対策用器具格納庫	7	—	—	—	—	—	—
			北部小大震災対策用器具格納庫	7	—	—	—	—	—	—
			中央小大震災対策用器具格納庫	7	—	—	—	—	—	—
			中部中大震災対策用器具格納庫	7	—	—	—	—	—	—
			中ノ坊公園大震災対策用器具格納庫	7	—	—	—	—	—	—
			大坪公園大震災対策用器具格納庫	7	—	—	—	—	—	—
			栄町大震災対策用器具格納庫	7	—	—	—	—	—	—
			消防団3-2器具庫	92	—	—	—	—	—	—
			消防団5-1器具庫	45	—	—	—	—	—	—
			消防団5-2器具庫	45	—	—	—	—	—	—
			消防団5-3器具庫	35	—	—	—	—	—	—
			消防団6器具庫	32	—	—	—	—	—	—
	その他施設	その他	交通安全教育センター	276	—	—	—	—	—	—

※利用状況の値は6ヵ年度（平成26（2014）～令和元（2019）年度）の平均値を掲載しています。

図 4-20 公共施設のコスト状況の把握（蒲郡北地区）

利用 種別	施設用途 (大分類)	施設用途 (中分類)	施設名称	延床 面積 (㎡)	市の支出				市の収入 (千円)	市負担額 (千円)	面積あたり 市負担額 (円/㎡)
					施設に 係るコスト (千円)	事業運営に 係るコスト (千円)	人に 係るコスト (千円)	指定 管理料 (千円)			
地区 利用 型 施設	学校教育施設	小学校	蒲郡北部小学校	4,854	30,361	8,540	3,333	0	90	42,144	8,682
			蒲郡西部小学校	3,756	30,059	7,692	2,700	0	90	40,361	10,745
			中央小学校	6,409	32,468	8,596	2,700	0	517	43,248	6,748
		中学校	中部中学校	7,640	30,792	9,241	2,700	0	90	42,643	5,581
	児童福祉施設	保育園	北部保育園	1,140	5,803	24,089	88,167	0	24,708	93,351	81,897
			西部保育園	660	5,637	15,189	46,833	0	7,732	59,928	90,853
			中部保育園	1,308	5,418	31,326	107,850	0	30,315	114,279	87,378
		児童館	ちゅうぶ児童館	569	2,733	4,408	3,600	0	0	10,741	18,886
	公民館等施設	公民館	北部公民館	551	1,123	0	0	5,373	1	6,495	11,794
			西部公民館	418	1,582	0	0	4,998	0	6,580	15,757
	運動・公園施設	公園	中央公園	148	0	0	0	18,720	0	18,720	126,916
			水竹公園	23	—	—	—	—	—	—	—
			大坪公園	12	225	0	0	0	0	225	18,395
			旭公園	34	584	0	0	0	0	584	17,433
			御幸公園	8	498	0	0	0	0	498	60,376
			中ノ坊公園	10	467	0	0	0	0	467	46,667
			神倉公園	17	495	0	0	0	0	495	29,025
			藪田公園	10	358	0	0	0	0	358	37,640
			蒲形公園	15	724	0	0	0	0	724	47,884
			海岸公園	10	579	0	0	0	0	579	60,802
		児童遊園地等	西沢児童遊園地	11	84	0	0	0	0	84	7,389
			神ノ郷児童遊園地	2	246	0	0	0	0	246	146,131
			宮成中央児童遊園地	2	102	0	0	0	0	102	44,109
		スポーツ施設等	水竹運動広場	2	534	0	0	0	0	534	293,223
			坂本運動広場	2	68	0	0	0	0	68	36,275
全市 利用 型 施設	庁舎等施設	庁舎・倉庫	本庁舎	19,817	221,293	24,238	3,900	0	10,967	238,465	12,033
	公民館等施設	市民会館	市民会館	13,233	44,990	0	0	100,598	15,940	129,648	9,797
	生涯学習施設	博物館等	博物館	2,364	13,881	3,607	28,250	0	496	45,243	19,135
		図書館	図書館	2,006	6,150	66	0	119,128	0	125,343	62,482
	運動・公園施設	スポーツ施設等	市民体育センター	10,312	1,889	1,963	0	44,814	16,103	32,563	3,158
	公営住宅施設	公営住宅	市営貴船住宅	855	93	0	1,738	0	936	895	1,046
			市営大宮住宅	494	49	0	1,738	0	267	1,520	3,074
	消防・防災施設	消防資機材庫等	清田水防倉庫	39	3	0	0	0	0	3	77
			西部小大震災対策用器具格納庫	7	0	0	0	0	0	0	0
			北部小大震災対策用器具格納庫	7	0	0	0	0	0	0	0
			中央小大震災対策用器具格納庫	7	0	0	0	0	0	0	0
			中部中大震災対策用器具格納庫	7	0	0	0	0	0	0	0
			中ノ坊公園大震災対策用器具格納庫	7	0	0	0	0	0	0	0
			大坪公園大震災対策用器具格納庫	7	0	0	0	0	0	0	0
			栄町大震災対策用器具格納庫	7	0	0	0	0	0	0	0
			消防団3-2器具庫	92	76	0	0	0	0	76	824
			消防団5-1器具庫	45	27	0	0	0	0	27	584
			消防団5-2器具庫	45	31	0	0	0	0	31	687
			消防団5-3器具庫	35	18	0	0	0	0	18	498
			消防団6器具庫	32	28	0	0	0	0	28	869
	その他施設	その他	交通安全教育センター	276	0	0	0	0	52	-52	-187

※コスト状況の値は6ヵ年度（平成26（2014）～令和元（2019）年度）の平均値を掲載しています。

※水竹公園は令和元（2019）年度に建築されたため、データを掲載していません。

4-6 蒲郡南地区の現状

(1) 地区の特色

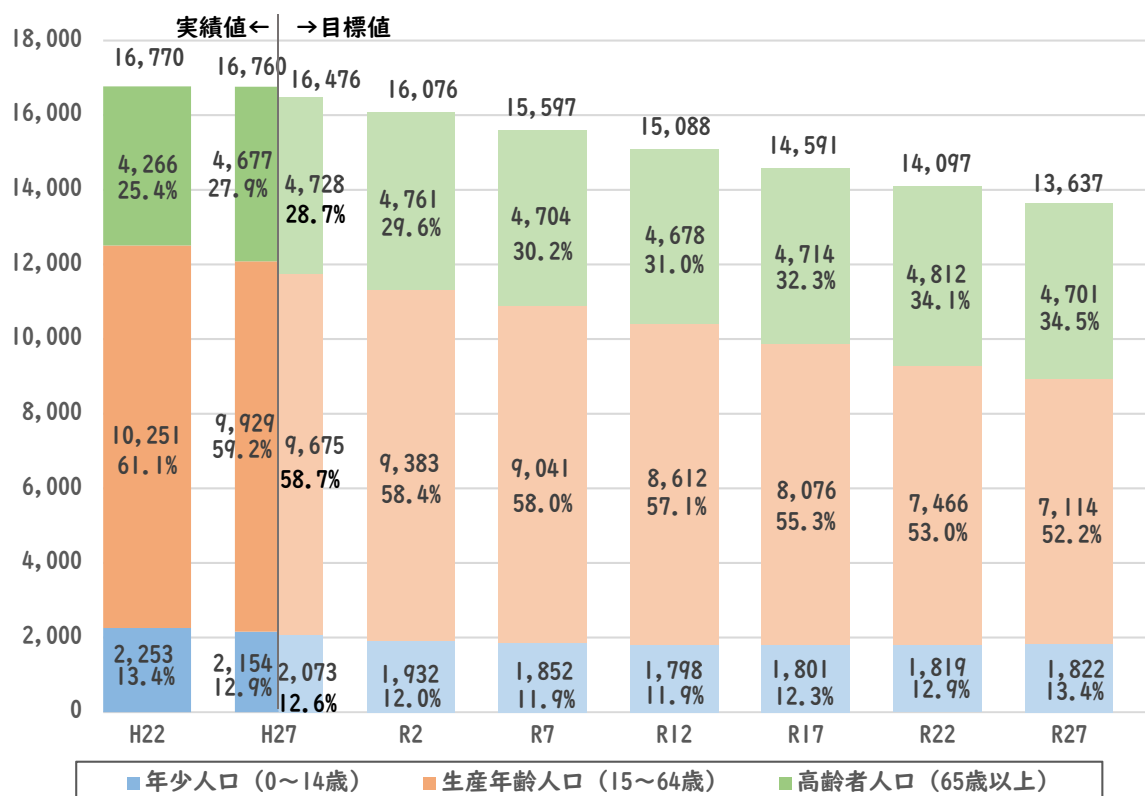
蒲郡南地区は市中南部に位置し、蒲郡駅を中心とした市の玄関口となる地区です。蒲郡駅周辺の中心市街地が商業地区となっているほか、海岸沿いには竹島や水族館、文学記念館といった観光地・観光施設が集まっていて市の観光の中心にもなっています。地区北部には住宅地や農地、森林が広がっています。人口は16,760人と7地区の中で最も多く、市全体の約20.7%を占めています。

蒲郡市都市計画マスタープランにおいては、蒲郡駅周辺を中心都市核として位置付け、中核的な都市機能の集積を図っています。

(2) 目標人口の推移

- ・生産年齢人口は、平成27(2015)年から令和27(2045)の間に、9,929人(59.2%)から7,114人(52.2%)まで減少する見込みです。
- ・高齢者人口は、平成27(2015)年の4,677人(27.9%)から令和22(2040)年の4,812人(34.1%)をピークに増加する見込みになっています。高齢者人口割合は全市平均とほぼ同水準であり、今後も市全体の動向とほぼ同じように高齢化が進行する見込みです。

図 4-21 目標人口（蒲郡南地区）



※実績値は各年の国勢調査の結果（年齢不詳按分済）をもとに作成しています。

※目標値は蒲郡市まち・ひと・しごと創生人口ビジョン（平成22(2010)年国勢調査をもとに平成28(2016)年3月に策定）をもとに作成しています。

※平成27(2015)年のデータについては、実績値と目標値を併記しています。

出所：蒲郡市まち・ひと・しごと創生人口ビジョン、国勢調査

(3) 公共施設の配置状況

- ・ 合計 62,501 m² の公共施設が整備されています。地区南部の平地部は蒲郡市の中心部に位置していることから、観光施設や公民館、保育園、小中学校などの多くの施設が集まっています。
- ・ 地区利用型施設の保有面積は7地区の中で最も多くなっています。

図 4-22 公共施設の配置状況（蒲郡南地区）



※小規模な施設は配置図に示しておりません。

(4) 老朽化状況・災害区域指定等状況

- ・地区利用型施設では、竹島小学校、東部保育園、府相保育園、小江公民館、東部公民館の老朽化が進行しています。
- ・蒲郡南部小学校、蒲郡東部小学校、竹島小学校、蒲郡中学校、東部保育園、南部保育園、蒲郡公民館、小江公民館、東部公民館は避難所に指定されています。
- ・全市利用型施設では、生命の海科学館、勤労福祉会館、生きがいセンター、蒲郡乗船センターのほか、公営住宅や観光施設において老朽化が進行した施設が見られます。
- ・生命の海科学館、海賓館マリンセンターハウス、竹島園地、蒲郡乗船センターは津波の浸水が想定される区域に位置しています。

図 4-23 公共施設一覧（蒲郡南地区）

利用 種別	施設用途 (大分類)	施設用途 (中分類)	施設名称	延床 面積 (㎡)	建築 年度	老朽化 度	避難所指定			災害の危険区域等			
							指定	指定 緊急	地域	想定 震度	津波 浸水	高潮 浸水	土砂 災害
地区 利用型 施設	学校教育施設	小学校	蒲郡南部小学校	6,952	S24	2.5	○	○		6弱	—	—	—
			蒲郡東部小学校	5,231	S41	2.4	○	○		6弱	—	—	—
			竹島小学校	6,055	S48	3.0	○	○		6弱	—	—	—
	中学校	蒲郡中学校	蒲郡中学校	9,383	S35	2.9	○	○		6弱	—	—	—
			東部保育園	812	S44	3.1	○			6弱	—	—	—
			府相保育園	1,112	S45	3.0				6弱	—	～5.0	—
	児童福祉施設	南部保育園	南部保育園	1,088	H23	1.1	○			6弱	—	—	—
			がまごおり児童館	591	H23	1.3				6弱	—	—	—
			蒲郡公民館	806	H25	1.0			○	6弱	—	—	—
	公民館等施設	公民館	小江公民館	677	S50	3.6			○	6弱	—	～0.3	—
			府相公民館	595	R1	1.0				6弱	—	—	—
			東部公民館	695	S48	3.0			○	6弱	—	—	—
	運動・公園施設	公園	御馬公園	9	S55	対象外		○		6弱	—	～2.0	—
			府相公園	5	H3	対象外		○		6弱	—	—	—
			榎田公園	9	S56	対象外		○		6弱	—	～2.0	—
			八百富公園	23	H3	対象外		○		6弱	—	—	—
			本町公園	11	H23	対象外		○		6弱	—	—	—
			新井公園	50	H6	対象外		○		6弱	—	—	—
			五反田公園	8	H28	対象外		○		6弱	—	—	—
			とよおか湖公園	42	H13	対象外				6弱	—	—	—
		児童遊園地等	五井児童遊園地	2	S47	対象外				6弱	—	—	—
			豊岡児童遊園地	2	H5	対象外				6弱	—	—	—
			豊岡北児童遊園地	3	H8	対象外				6弱	—	—	—
			豊岡東児童遊園地	2	S50	対象外				6弱	—	—	—
			平田児童遊園地	2	S50	対象外				6弱	—	—	—
			本町児童遊び場	3	S56	対象外				6弱	—	—	—
全市 利用型 施設	生涯学習施設	博物館等	生命の海科学館	3,297	H10	3.3				6弱	～1.0	～5.0	—
	学校教育施設	専門学校	ソフィア看護専門学校	4,418	H10	2.3				6弱	—	—	—
	保健・福祉施設	福祉センター等	勤労福祉会館	3,174	S55	3.5	○			6弱	—	—	—
			生きがいセンター	2,176	H4	3.3				6弱	—	—	—
			中央子育て支援センター	99	H4	2.3				6弱	—	—	—
	公営住宅施設	公営住宅	市営白山住宅	5,112	H2	3.0				6弱	—	—	—
	観光施設	観光施設	ナビテラス	429	H24	1.1				6弱	—	～1.0	—
			竹島水族館	1,996	S37	3.8				6弱	—	～5.0	—
			海辺の文学記念館	347	S58	3.1				6弱	—	～2.0	警戒
			海賓館マリンセンターハウス	278	H8	2.8				6弱	～1.0	～5.0	—
			竹島レストハウス	128	S42	3.6				6弱	—	～5.0	—
			竹島園地	258	S54	2.7				6弱	～1.0	～5.0	—
			水族館前円形公衆便所	46	S38	対象外				6弱	—	～5.0	—
	消防・防災施設	消防署	消防本部	5,061	H21	1.0				6弱	—	—	—
			蒲郡水防倉庫	86	H5	2.7				6弱	～1.0	～5.0	—
		消防資機材庫等	東部小大震災対策用器具格納庫	7	S58	対象外				6弱	—	—	—
			竹島小大震災対策用器具格納庫	7	S59	対象外				6弱	—	—	—
			蒲郡中大震災対策用器具格納庫	7	S63	対象外				6弱	—	—	—
			西田川大震災対策用器具格納庫	7	H3	対象外				6弱	—	～1.0	—
			消防団3-1器具庫	80	H13	2.1				6弱	—	～5.0	—
			消防団3-3器具庫	80	H7	1.8				6弱	—	—	—
			消防団4-1器具庫	60	H6	2.3				6弱	—	—	—
			消防団4-2器具庫	60	H2	2.6				6弱	—	—	—
			消防団4-3器具庫	33	S60	対象外				6弱	—	—	—
			蒲郡駅南公共駐車場	5	H14	対象外				6弱	—	～5.0	—
	その他	その他	蒲郡乗船センター	185	H3	4.4				6強	～2.0	～5.0	—
			府相町観光倉庫	20	S50	対象外				6弱	—	—	—

※データ掲載上の条件は 93 ページをご確認ください。

(5) 利用状況・コスト状況

- ・地区利用型施設では公民館で会議室等の貸出しを行っています。東部公民館の貸部屋等利用率は20%を下回っており、さらなる利用の促進が求められます。
- ・全市利用型施設では、生命の海科学館、勤労福祉会館、生きがいセンターでホールや会議室等の貸出しを行っています。勤労福祉会館と生きがいセンターは、貸部屋等利用率が40%を超えています。
- ・地区利用型施設の市負担額の合計は約4.7億円で、地区人口1人あたりの市負担額は約28千円/人となっています。

図 4-24 部屋等の貸出しを行っている施設における利用率の把握（蒲郡南地区）

利用種別	施設用途 (大分類)	施設用途 (中分類)	施設名称	貸出箇所
地区利用型施設	公民館等施設	公民館	蒲郡公民館	多目的ホール1、多目的ホール2、多目的ホール3、研修室、和室(西)、和室(東)、調理室
			小江公民館	集会室、大会議室、会議室、小会議室、和室、料理実習室
			府相公民館	交流プラザ、ホール1、ホール2、会議室1、会議室2、会議室3、和室1、和室2、調理室、図工室、幕屋根広場(交流スペース)
			東部公民館	研修室、大会議室、小会議室、南研修室、和室、料理室
全市利用型施設	生涯学習施設	博物館等	生命の海科学館	メディアホール、情報研修室
	保健・福祉施設	福祉センター等	勤労福祉会館	大研修室、小研修室、第2会議室、第3会議室、第4会議室、視聴覚室、談話室、和室
			生きがいセンター	ホール、201会議室、202会議室、301会議室、401会議室、402会議室

利用種別	施設用途 (大分類)	施設用途 (中分類)	施設名称	貸部屋等 利用率 (%)	貸部屋等利用率 (%)
地区利用型施設	公民館等施設	公民館	蒲郡公民館	37.8	
			小江公民館	25.2	
			府相公民館	—	
			東部公民館	18.8	
全市利用型施設	生涯学習施設	博物館等	生命の海科学館	27.6	
	保健・福祉施設	福祉センター等	勤労福祉会館	45.0	
			生きがいセンター	54.9	

※貸部屋等利用率の値は6ヵ年度(平成26(2014)～令和元(2019)年度)の平均値を掲載しています。

※府相公民館は令和元(2019)年度に建築されたため、データを掲載していません。

図 4-25 公共施設の利用状況の把握（蒲郡南地区）

利用 種別	施設用途 (大分類)	施設用途 (中分類)	施設名称	延床 面積 (㎡)	利用者数			平均園児・ 児童・生徒 数 (人)	平均 入居率 (%)	貸部屋等 利用率 (%)
					6年平均 (人)	1日あたり 平均 (人/日)	面積あたり 1日あたり平均 (人/㎡・日)			
地区 利用型 施設	学校教育施設	小学校	蒲郡南部小学校	6,952	—	—	—	326	—	—
			蒲郡東部小学校	5,231	—	—	—	291	—	—
			竹島小学校	6,055	—	—	—	332	—	—
		中学校	蒲郡中学校	9,383	—	—	—	489	—	—
	児童福祉施設	保育園	東部保育園	812	—	—	—	56	—	—
			府相保育園	1,112	—	—	—	109	—	—
			南部保育園	1,088	—	—	—	144	—	—
		児童館	がまごおり児童館	591	29,471	102.7	0.174	—	—	—
	公民館等施設	公民館	蒲郡公民館	806	17,696	61.3	0.076	—	—	37.8
			小江公民館	677	14,807	51.3	0.076	—	—	25.2
			府相公民館	595	—	—	—	—	—	—
			東部公民館	695	31,902	107.3	0.154	—	—	18.8
	運動・公園施設	公園	御馬公園	9	—	—	—	—	—	—
			府相公園	5	—	—	—	—	—	—
			榎田公園	9	—	—	—	—	—	—
			八百富公園	23	—	—	—	—	—	—
			本町公園	11	—	—	—	—	—	—
			新井公園	50	—	—	—	—	—	—
			五反田公園	8	—	—	—	—	—	—
			とよおか湖公園	42	—	—	—	—	—	—
		児童遊園地等	五井児童遊園地	2	—	—	—	—	—	—
			豊岡児童遊園地	2	—	—	—	—	—	—
			豊岡北児童遊園地	3	—	—	—	—	—	—
			豊岡東児童遊園地	2	—	—	—	—	—	—
			平田児童遊園地	2	—	—	—	—	—	—
			本町児童遊び場	3	—	—	—	—	—	—
全市 利用型 施設	生涯学習施設	博物館等	生命の海科学館	3,297	84,785	270.8	0.082	—	—	27.6
	学校教育施設	専門学校	ソフィア看護専門学校	4,418	—	—	—	112	—	—
	保健・福祉施設	福祉センター等	勤労福祉会館	3,174	—	—	—	—	—	45.0
			生きがいセンター	2,176	45,057	127.3	0.059	—	—	54.9
			中央子育て支援センター	99	7,200	29.3	0.296	—	—	—
	公営住宅施設	公営住宅	市営白山住宅	5,112	—	—	—	—	98.7	—
	観光施設	観光施設	ナビテラス	429	35,497	99.2	0.231	—	—	—
			竹島水族館	1,996	365,563	1,212.3	0.607	—	—	—
			海辺の文学記念館	347	16,269	52.4	0.151	—	—	—
			海賓館マリンセンターハウス	278	18,052	57.6	0.208	—	—	—
			竹島レストハウス	128	—	—	—	—	—	—
			竹島園地	258	—	—	—	—	—	—
			水族館前円形公衆便所	46	—	—	—	—	—	—
			—	—	—	—	—	—	—	—
	消防・防災施設	消防署	消防本部	5,061	—	—	—	—	—	—
		消防資機材庫等	蒲郡水防倉庫	86	—	—	—	—	—	—
			東部小大震災対策用器具格納庫	7	—	—	—	—	—	—
			竹島小大震災対策用器具格納庫	7	—	—	—	—	—	—
			蒲郡中大震災対策用器具格納庫	7	—	—	—	—	—	—
			西田川大震災対策用器具格納庫	7	—	—	—	—	—	—
			消防団3-1器具庫	80	—	—	—	—	—	—
			消防団3-3器具庫	80	—	—	—	—	—	—
			消防団4-1器具庫	60	—	—	—	—	—	—
			消防団4-2器具庫	60	—	—	—	—	—	—
			消防団4-3器具庫	33	—	—	—	—	—	—
	その他	駅周辺施設	蒲郡駅南公共駐車場	5	—	—	—	—	—	—
		その他	蒲郡乗船センター	185	—	—	—	—	—	—
			府相町観光倉庫	20	—	—	—	—	—	—

※利用状況の値は6ヵ年度（平成26（2014）～令和元（2019）年度）の平均値を掲載しています。

※府相公民館は令和元（2019）年度に建築されたため、データを掲載していません。

図 4-26 公共施設のコスト状況の把握（蒲郡南地区）

利用 種別	施設用途 (大分類)	施設用途 (中分類)	施設名称	延床 面積 (㎡)	市の支出				市の収入 (千円)	市負担額 (千円)	面積あたり 市負担額 (円/㎡)
					施設に 係るコスト (千円)	事業運営に 係るコスト (千円)	人に 係るコスト (千円)	指定 管理料 (千円)			
地区 利用 型 施設	学校教育施設	小学校	蒲郡南部小学校	6,952	43,448	8,909	2,700	0	90	54,967	7,906
			蒲郡東部小学校	5,231	24,464	8,701	2,700	0	90	35,775	6,839
			竹島小学校	6,055	31,013	8,961	2,700	0	90	42,584	7,033
		中学校	蒲郡中学校	9,383	28,977	11,137	6,500	0	90	46,524	4,958
	児童福祉施設	保育園	東部保育園	812	3,427	9,672	36,817	0	11,383	38,534	47,456
			府相保育園	1,112	4,989	26,430	77,517	0	22,206	86,729	77,972
			南部保育園	1,088	7,572	40,148	104,867	0	33,523	119,064	109,415
		児童館	がまごおり児童館	591	2,583	4,419	6,767	0	0	13,769	23,298
	公民館等施設	公民館	蒲郡公民館	806	693	386	385	5,970	0	7,433	9,222
			小江公民館	677	2,114	0	0	5,587	0	7,702	11,370
			府相公民館	595	—	—	—	—	—	—	—
			東部公民館	695	1,586	0	0	5,702	0	7,287	10,478
	運動・公園施設	公園	御馬公園	9	242	0	0	0	0	242	27,822
			府相公園	5	394	0	0	0	0	394	80,177
			榎田公園	9	384	0	0	0	0	384	44,100
			八百富公園	23	569	0	0	0	0	569	24,927
			本町公園	11	280	0	0	0	0	280	25,447
			新井公園	50	633	0	0	0	0	633	12,668
			五反田公園	8	343	0	0	0	0	343	41,768
			とよおか湖公園	42	0	0	0	6,056	0	6,056	145,581
		児童遊園地等	五井児童遊園地	2	102	0	0	0	0	102	43,966
			豊岡児童遊園地	2	94	0	0	0	0	94	40,870
			豊岡北児童遊園地	3	115	0	0	0	0	115	37,085
			豊岡東児童遊園地	2	342	0	0	0	0	342	147,414
			平田児童遊園地	2	231	0	0	0	0	231	137,599
			本町児童遊び場	3	84	0	0	0	0	84	29,167
全市 利用 型 施設	生涯学習施設	博物館等	生命の海科学館	3,297	41,440	14,712	50,804	0	9,924	97,032	29,431
	学校教育施設	専門学校	ソフィア看護専門学校	4,418	14,985	15,085	104,533	0	20,986	113,617	25,719
	保健・福祉施設	福祉センター等	勤労福祉会館	3,174	8,936	0	0	23,490	176	32,249	10,159
			生きがいセンター	2,176	853	6	0	16,949	2,821	14,987	6,886
			中央子育て支援センター	99	612	2,985	4,500	0	0	8,097	81,785
	公営住宅施設	公営住宅	市営白山住宅	5,112	1,867	0	1,738	0	20,103	-16,499	-3,228
	観光施設	観光施設	ナビテラス	429	6,160	0	0	0	201	5,959	13,876
			竹島水族館	1,996	46,459	0	0	26,542	1,329	71,673	35,901
			海辺の文学記念館	347	2,767	0	2,705	0	6	5,465	15,772
			海賓館マリンセンターハウス	278	3,652	0	0	0	4,148	-496	-1,786
			竹島レストハウス	128	120	0	0	0	262	-142	-1,106
			竹島園地	258	7,015	0	0	0	0	7,015	27,202
			水族館前円形公衆便所	46	450	0	0	0	0	450	9,714
	消防・防災施設	消防署	消防本部	5,061	12,421	0	485,950	0	0	498,371	98,466
			蒲郡水防倉庫	86	40	0	0	0	0	40	466
		消防資機材庫等	東部小大震災対策用器具格納庫	7	0	0	0	0	0	0	0
			竹島小大震災対策用器具格納庫	7	0	0	0	0	0	0	0
			蒲郡中大震災対策用器具格納庫	7	0	0	0	0	0	0	0
			西田川大震災対策用器具格納庫	7	0	0	0	0	0	0	0
			消防団3-1器具庫	80	47	0	0	0	0	47	594
			消防団3-3器具庫	80	54	0	0	0	0	54	676
			消防団4-1器具庫	60	226	0	0	0	0	226	3,734
			消防団4-2器具庫	60	34	0	0	0	0	34	565
			消防団4-3器具庫	33	36	0	0	0	0	36	1,088
	その他	駅周辺施設	蒲郡駅南公共駐車場	5	167	0	0	0	0	167	35,765
		その他	蒲郡乗船センター	185	77	0	0	0	19	59	316
			府相町観光倉庫	20	2	0	0	0	0	2	75

※コスト状況の値は6ヵ年度（平成26（2014）～令和元（2019）年度）の平均値を掲載しています。

※府相公民館は令和元（2019）年度に建築されたため、データを掲載していません。

※五反田公園は平成28（2016）年度に建築、平成29（2017）年度の途中から供用開始されたため、平成30（2018）～令和元（2019）年度の平均値を掲載しています。また、府相町観光倉庫は平成27（2015）年度までは別の用途で使われていたため、平成28（2016）～令和元（2019）年度の平均値を掲載しています。

4-7 塩津地区の現状

(1) 地区の特色

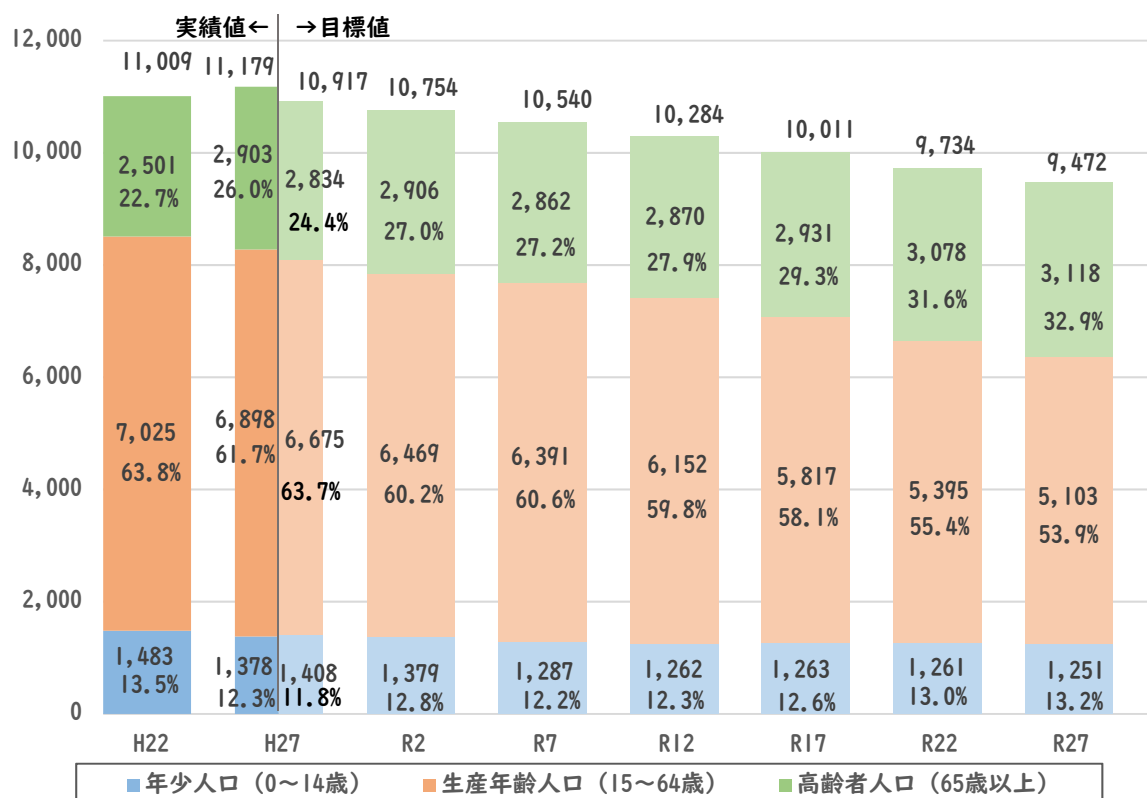
塩津地区は市中西部に位置し、三河塩津駅および蒲郡競艇場前駅の周辺に住宅を中心とした市街地が形成されています。地区北部は農地、森林エリアとなっており、豊かな自然が広がっています。人口は11,179人で7地区中5番目となっており、市全体の約13.8%を占めています。

地区南部の臨海部は埋め立てられて工業団地となっています。また、国道沿いにボートレース場や大型のショッピングモールが立地し、市の中でも特色ある地区となっています。

(2) 目標人口の推移

- ・生産年齢人口は、平成27(2015)年から令和27(2045)年の間に、6,898人(61.7%)から5,103人(53.9%)まで減少する見込みになっています。
- ・高齢者人口は、平成27(2015)年の2,903人(26.0%)から令和27(2045)年の3,118人(32.9%)まで増加する見込みです。高齢者人口割合は全市平均より若干低いですが、今後市全体の動向とほぼ同じように高齢化が進行することが見込まれます。

図 4-27 目標人口（塩津地区）



※実績値は各年の国勢調査の結果（年齢不詳按分済）をもとに作成しています。

※目標値は蒲郡市まち・ひと・しごと創生人口ビジョン（平成22(2010)年国勢調査をもとに平成28(2016)年3月に策定）をもとに作成しています。

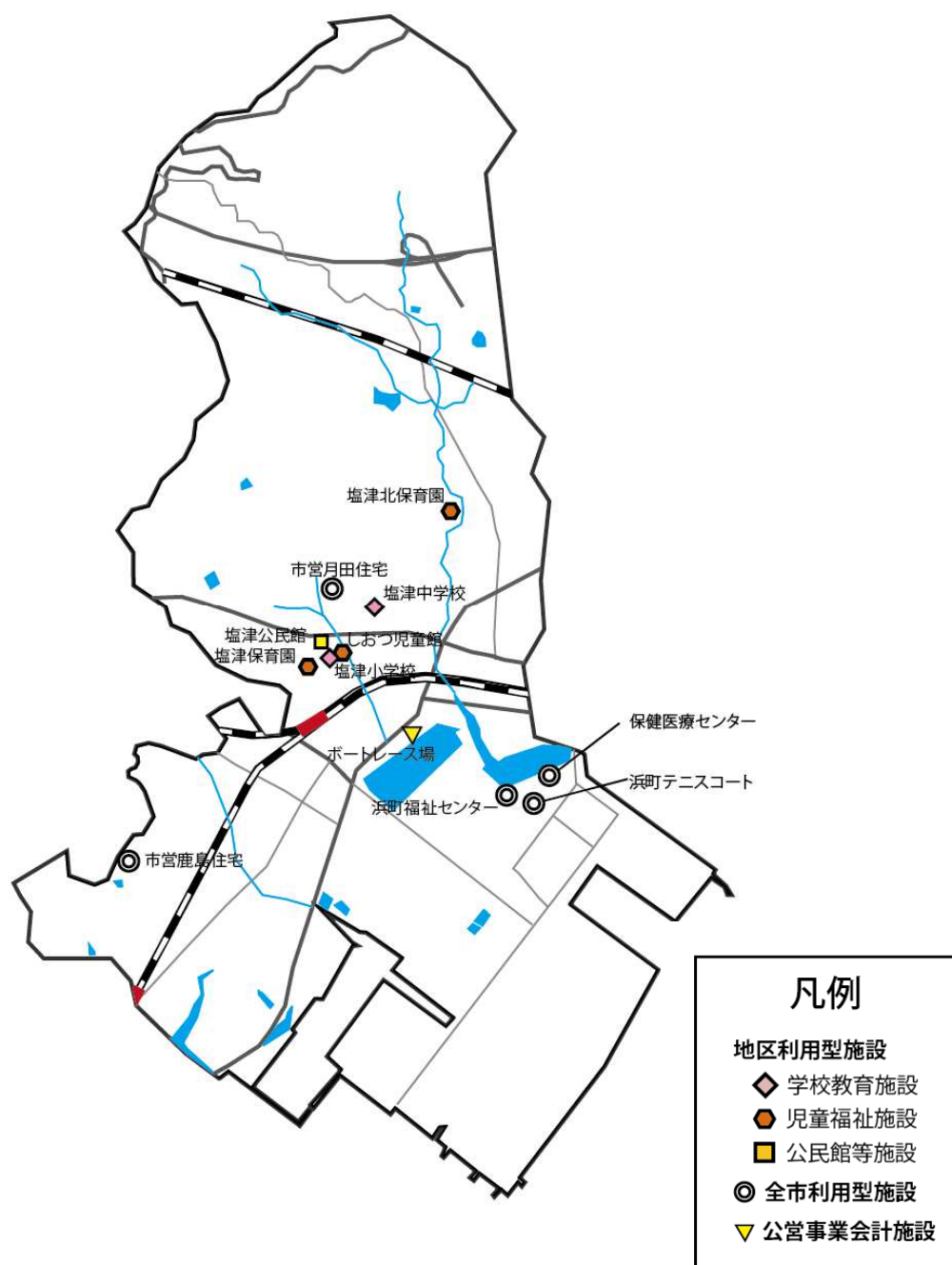
※平成27(2015)年のデータについては、実績値と目標値を併記しています。

出所：蒲郡市まち・ひと・しごと創生人口ビジョン、国勢調査

(3) 公共施設の配置状況

- ・ 合計 25,508 m²の公共施設が整備されており、三河塩津駅周辺や東海道本線の沿線に塩津公民館や塩津保育園など、地区利用型施設が集まっています。
- ・ 臨海部の埋立地には保健医療センターや浜町福祉センターといった全市利用型施設も立地しています。

図 4-28 公共施設の配置状況（塩津地区）



※小規模な施設は配置図に示していません。

(4) 老朽化状況・災害区域指定等状況

- ・地区利用型施設では、塩津小学校、塩津保育園、塩津公民館の老朽化が進行しています。
- ・塩津保育園の敷地には土砂災害特別警戒区域に指定されている部分があります。
- ・地区内の小学校、中学校、保育園、公民館はいずれも避難所に指定されています。
- ・全市利用型施設では、浜町福祉センター、保健医療センターや公営住宅の老朽化が進んでいます。
- ・浜町福祉センター、保健医療センターは津波の浸水が想定される区域に位置しています。

図 4-29 公共施設一覧（塩津地区）

利用 種別	施設用途 (大分類)	施設用途 (中分類)	施設名称	延床 面積 (㎡)	建築 年度	老朽化 度	避難所指定			災害の危険区域等			
							指定	指定 緊急	地域	想定 震度	津波 浸水	高潮 浸水	土砂 災害
地区 利用型 施設	学校教育施設	小学校	塩津小学校	7,278	S35	3.1	○	○		6弱	—	～1.0	—
		中学校	塩津中学校	7,010	S37	2.6	○	○		6弱	—	—	警戒
	児童福祉施設	保育園	塩津保育園	933	S44	3.1	○			6弱	—	—	特別
			塩津北保育園	552	S53	2.8	○			6弱	—	—	—
		児童館	しおつ児童館	510	H13	2.0				6弱	—	～1.0	—
	公民館等施設	公民館	塩津公民館	554	S50	3.1			○	6弱	—	—	—
	運動・公園施設	公園	前田公園	9	S49	対象外		○		6弱	—	～2.0	—
			東浜公園	9	S50	対象外		○		6弱	—	～5.0	—
			亀岩臨海公園	29	S48	対象外				6強	～1.0	～5.0	—
		児童遊園地等	油井児童遊園地	11	S45	対象外				6弱	—	～5.0	—
			竹谷団地児童遊園地	2	S46	対象外				6弱	—	—	警戒
			鹿島児童遊園地	2	S48	対象外				6弱	—	～5.0	—
			西迫児童遊園地	2	S51	対象外				6弱	—	—	—
			五反田児童遊園地	2	S55	対象外				6弱	—	—	—
			柏原児童遊園地	2	H10	対象外				6弱	—	—	警戒
			西ノ浜児童遊び場	3	H12	対象外				6弱	—	～5.0	—
			川東児童遊び場	2	S55	対象外				6弱	—	～2.0	—
		スポーツ施設等	柏原運動広場	6	S59	対象外				6弱	—	—	—
			竹谷運動広場	5	R1	対象外				6弱	—	—	—
			拾石運動広場	2	H6	対象外				6弱	—	～5.0	—
全市 利用型 施設	運動・公園施設	スポーツ施設等	浜町仮設ソフトボール場	8	H28	対象外				6強	～1.0	～5.0	—
			浜町グラウンド	18	S60	対象外				6強	—	～2.0	—
			浜町テニスコート	89	H1	2.7				6強	～0.3	～5.0	—
	保健・福祉施設	保健センター等	浜町福祉センター	709	S57	3.1				6弱	～1.0	～5.0	—
			保健医療センター	5,855	H5	3.4				6弱	～1.0	～5.0	—
	公営住宅施設	公営住宅	市営月田住宅	225	S29	4.1				6弱	—	—	—
			市営鹿島住宅	1,507	S37	4.0				6弱	—	—	警戒
	消防・防災施設	消防資機材庫等	塩津水防倉庫	33	S55	対象外				6弱	—	—	—
			塩津小大震災対策用器具格納庫	7	S57	対象外				6弱	—	—	—
			前田公園大震災対策用器具格納庫	7	H5	対象外				6弱	—	～5.0	—
			消防団7－1格納庫	62	H7	1.8				6弱	—	～5.0	—
			消防団7－2格納庫	20	S42	対象外				6弱	—	—	—
			消防団7－3格納庫	24	S45	対象外				6弱	—	—	—
その他施設	駅周辺施設	三河塩津駅前公衆便所	20	S63	対象外				6弱	—	～2.0	—	

※データ掲載上の条件は 93 ページをご確認ください。

(5) 利用状況・コスト状況

- ・地区利用型施設では塩津公民館で会議室等の貸出しを行っています。貸部屋等利用率は20%を下回っており、さらなる利用の促進が求められます。
- ・全市利用型施設では3つのスポーツ施設等で施設の貸出しを行っています。浜町テニスコートの貸部屋等利用率は40%を超えています。
- ・地区利用型施設の市負担額の合計は約2.28億円で、地区人口1人あたりの市負担額は約20.4千円/人となっています。

図 4-30 部屋等の貸出しを行っている施設における利用率の把握（塩津地区）

利用 種別	施設用途 (大分類)	施設用途 (中分類)	施設名称	貸出箇所
地区利用型施設	公民館等施設	公民館	塩津公民館	講義室、会議室、交流室、講座室南（和室）、講座室北（和室）、図書室、料理実習室
全市利用型施設	運動・公園施設	スポーツ施設等	浜町仮設ソフトボール場	ソフトボール場（4面）
			浜町グラウンド	グラウンドA、グラウンドB、グラウンドC
			浜町テニスコート	テニスコート（8面）

利用 種別	施設用途 (大分類)	施設用途 (中分類)	施設名称	貸部屋等 利用率 (%)	貸部屋等利用率 (%)					
					0.0	20.0	40.0	60.0	80.0	100.0
地区利用型施設	公民館等施設	公民館	塩津公民館	16.5						
全市利用型施設	運動・公園施設	スポーツ施設等	浜町仮設ソフトボール場	23.4						
			浜町グラウンド	26.3						
			浜町テニスコート	42.5						

※貸部屋等利用率の値は6ヵ年度（平成26（2014）～令和元（2019）年度）の平均値を掲載しています。
 ※浜町仮設ソフトボール場、浜町グラウンド、浜町テニスコートは、建築物等があるため掲載していますが、貸出しを行っている箇所はグラウンド等です。

図 4-31 公共施設の利用状況の把握（塩津地区）

利用 種別	施設用途 (大分類)	施設用途 (中分類)	施設名称	延床 面積 (㎡)	利用者数			平均園児・ 児童・生徒 数 (人)	平均 入居率 (%)	貸部屋等 利用率 (%)
					6年平均 (人)	1日あたり 平均 (人/日)	面積あたり 1日あたり平均 (人/㎡・日)			
地区 利用型 施設	学校教育施設	小学校	塩津小学校	7,278	—	—	—	530	—	—
		中学校	塩津中学校	7,010	—	—	—	262	—	—
	児童福祉施設	保育園	塩津保育園	933	—	—	—	34	—	—
		児童館	塩津北保育園	552	—	—	—	35	—	—
	公民館等施設	公民館	しおつ児童館	510	25,467	88.4	0.173	—	—	—
		公民館	塩津公民館	554	18,257	62.0	0.112	—	—	16.5
	運動・公園施設	公園	前田公園	9	—	—	—	—	—	—
			東浜公園	9	—	—	—	—	—	—
			亀岩臨海公園	29	—	—	—	—	—	—
		児童遊園地等	油井児童遊園地	11	—	—	—	—	—	—
			竹谷団地児童遊園地	2	—	—	—	—	—	—
			鹿島児童遊園地	2	—	—	—	—	—	—
			西迫児童遊園地	2	—	—	—	—	—	—
			五反田児童遊園地	2	—	—	—	—	—	—
			柏原児童遊園地	2	—	—	—	—	—	—
			西ノ浜児童遊び場	3	—	—	—	—	—	—
			川東児童遊び場	2	—	—	—	—	—	—
			柏原運動広場	6	—	—	—	—	—	—
		スポーツ施設等	竹谷運動広場	5	—	—	—	—	—	—
			拾石運動広場	2	—	—	—	—	—	—
全市 利用型 施設	運動・公園施設	スポーツ施設等	浜町仮設ソフトボール場	8	11,414	32.1	3.890	—	—	23.4
			浜町グラウンド	18	12,105	34.0	1.888	—	—	26.3
			浜町テニスコート	89	11,761	32.9	0.368	—	—	42.5
	保健・福祉施設	保健センター等	浜町福祉センター	709	7,970	31.3	0.044	—	—	—
			保健医療センター	5,855	29,167	79.8	0.014	—	—	—
	公営住宅施設	公営住宅	市営月田住宅	225	—	—	—	—	68.8	—
			市営鹿島住宅	1,507	—	—	—	—	45.5	—
	消防・防災施設	消防資機材庫等	塩津水防倉庫	33	—	—	—	—	—	—
			塩津小大震災対策用器具格納庫	7	—	—	—	—	—	—
			前田公園大震災対策用器具格納庫	7	—	—	—	—	—	—
			消防団7-1格納庫	62	—	—	—	—	—	—
			消防団7-2格納庫	20	—	—	—	—	—	—
			消防団7-3格納庫	24	—	—	—	—	—	—
	その他施設	駅周辺施設	三河塩津駅前公衆便所	20	—	—	—	—	—	—

※利用状況の値は6ヵ年度（平成26（2014）～令和元（2019）年度）の平均値を掲載しています。
 ※浜町仮設ソフトボール場、浜町グラウンド、浜町テニスコートの利用者数は、グラウンド等のデータです。

図 4-32 公共施設のコスト状況の把握（塩津地区）

利用 種別	施設用途 (大分類)	施設用途 (中分類)	施設名称	延床 面積 (㎡)	市の支出				市の収入 (千円)	市負担額 (千円)	面積あたり 市負担額 (円/㎡)
					施設に 係るコスト (千円)	事業運営に 係るコスト (千円)	人に 係るコスト (千円)	指定 管理料 (千円)			
地区 利用型 施設	学校教育施設	小学校	塩津小学校	7,278	25,576	10,165	2,700	0	90	38,350	5,269
		中学校	塩津中学校	7,010	74,697	8,883	2,700	0	90	86,190	12,295
	児童福祉施設	保育園	塩津保育園	933	6,232	10,386	30,683	0	5,598	41,704	44,720
			塩津北保育園	552	3,032	8,075	24,633	0	6,844	28,897	52,307
		児童館	しおつ児童館	510	6,488	4,762	7,400	0	0	18,649	36,567
	公民館等施設	公民館	塩津公民館	554	1,844	0	0	5,802	5	7,640	13,780
	運動・公園施設	公園	前田公園	9	544	0	0	0	0	544	59,296
			東浜公園	9	313	0	0	0	0	313	34,078
			亀岩臨海公園	29	2,117	0	0	0	0	2,117	72,365
		児童遊園地等	油井児童遊園地	11	596	0	0	0	0	596	54,709
			竹谷団地児童遊園地	2	95	0	0	0	0	95	57,576
			鹿島児童遊園地	2	70	0	0	0	0	70	30,172
			西迫児童遊園地	2	280	0	0	0	0	280	120,546
			五反田児童遊園地	2	341	0	0	0	0	341	147,126
			柏原児童遊園地	2	108	0	0	0	0	108	48,289
			西ノ浜児童遊び場	3	69	0	0	0	0	69	25,368
			川東児童遊び場	2	651	0	0	0	0	651	280,532
		スポーツ施設等	柏原運動広場	6	930	0	0	0	0	930	157,360
			竹谷運動広場	5	—	—	—	—	—	—	—
			拾石運動広場	2	217	0	0	0	0	217	110,884
	運動・公園施設	スポーツ施設等	浜町仮設ソフトボール場	8	2,224	23	0	0	638	1,609	195,051
			浜町グラウンド	18	10,520	0	0	0	1	10,519	584,695
			浜町テニスコート	89	0	0	0	2,524	0	2,524	28,224
全市 利用型 施設	保健・福祉施設	保健センター等	浜町福祉センター	709	307	34,044	0	0	1,042	33,309	46,955
			保健医療センター	5,855	61,931	700,831	196,145	0	113,128	845,779	144,463
	公営住宅施設	公営住宅	市営月田住宅	225	64	0	1,738	0	92	1,710	7,589
			市営鹿島住宅	1,507	2,001	0	1,738	0	1,340	2,399	1,592
	消防・防災施設	消防資機材庫等	塩津水防倉庫	33	3	0	0	0	0	3	91
			塩津小大震災火災対策用器具格納庫	7	0	0	0	0	0	0	0
			前田公園大震災火災対策用器具格納庫	7	0	0	0	0	0	0	0
			消防団7-1格納庫	62	40	0	0	0	0	40	643
			消防団7-2格納庫	20	11	0	0	0	0	11	547
			消防団7-3格納庫	24	4	0	0	0	0	4	158
	その他施設	駅周辺施設	三河塩津駅前公衆便所	20	478	0	0	0	0	478	24,513

※コスト状況の値は6ヵ年度（平成26（2014）～令和元（2019）年度）の平均値を掲載しています。

※竹谷運動広場は令和元（2019）年度に建築されたため、データを掲載していません。

4-8 形原地区の現状

(1) 地区の特色

形原地区は市南西部に位置し、形原駅を中心に住工混在の市街地が広がっています。漁業や繊維ロープ産業を中心に発展してきました。

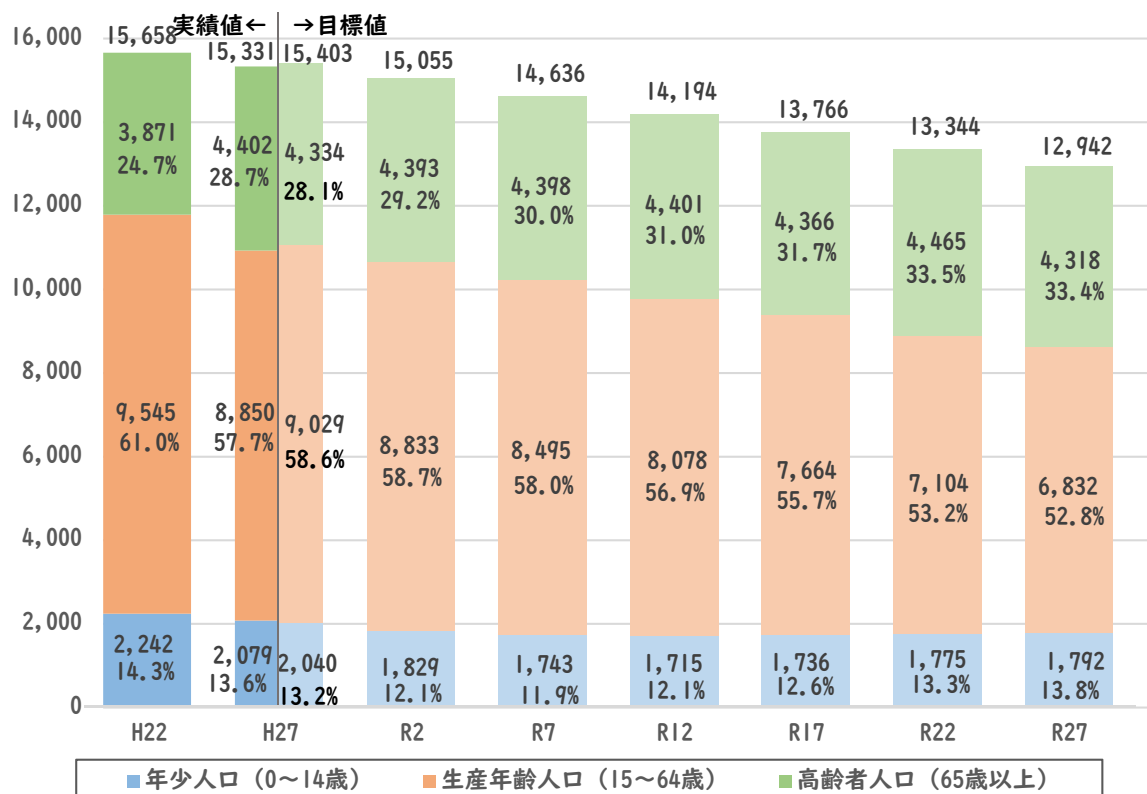
地区西部の山あいには形原温泉があります。一方、海辺には形原漁港があり、海から丘陵までの多様な自然を享受できることが地区の特色となっています。人口は15,331人と7地区中2番目に多く、市全体の約18.9%を占めています。

蒲郡市都市計画マスタープランにおいては、形原駅周辺を中心都市核の機能を補完する副次都市核として位置付けているほか、形原温泉周辺を広域的な観光レクリエーション拠点として位置付けています。

(2) 目標人口の推移

- ・生産年齢人口は、平成27(2015)年から令和27(2045)年の間に、8,850人(57.7%)から6,832人(52.8%)まで減少する見込みです。
- ・高齢者人口は、平成27年の4,402人(28.7%)から令和22(2040)年の4,465人(33.5%)をピークに増加する見込みです。形原地区では、市全体の動向とほぼ同じように高齢化の進行が見込まれます。

図 4-33 目標人口（形原地区）



※実績値は各年の国勢調査の結果（年齢不詳按分済）をもとに作成しています。

※目標値は蒲郡市まち・ひと・しごと創生人口ビジョン（平成22(2010)年国勢調査をもとに平成28(2016)年3月に策定）をもとに作成しています。

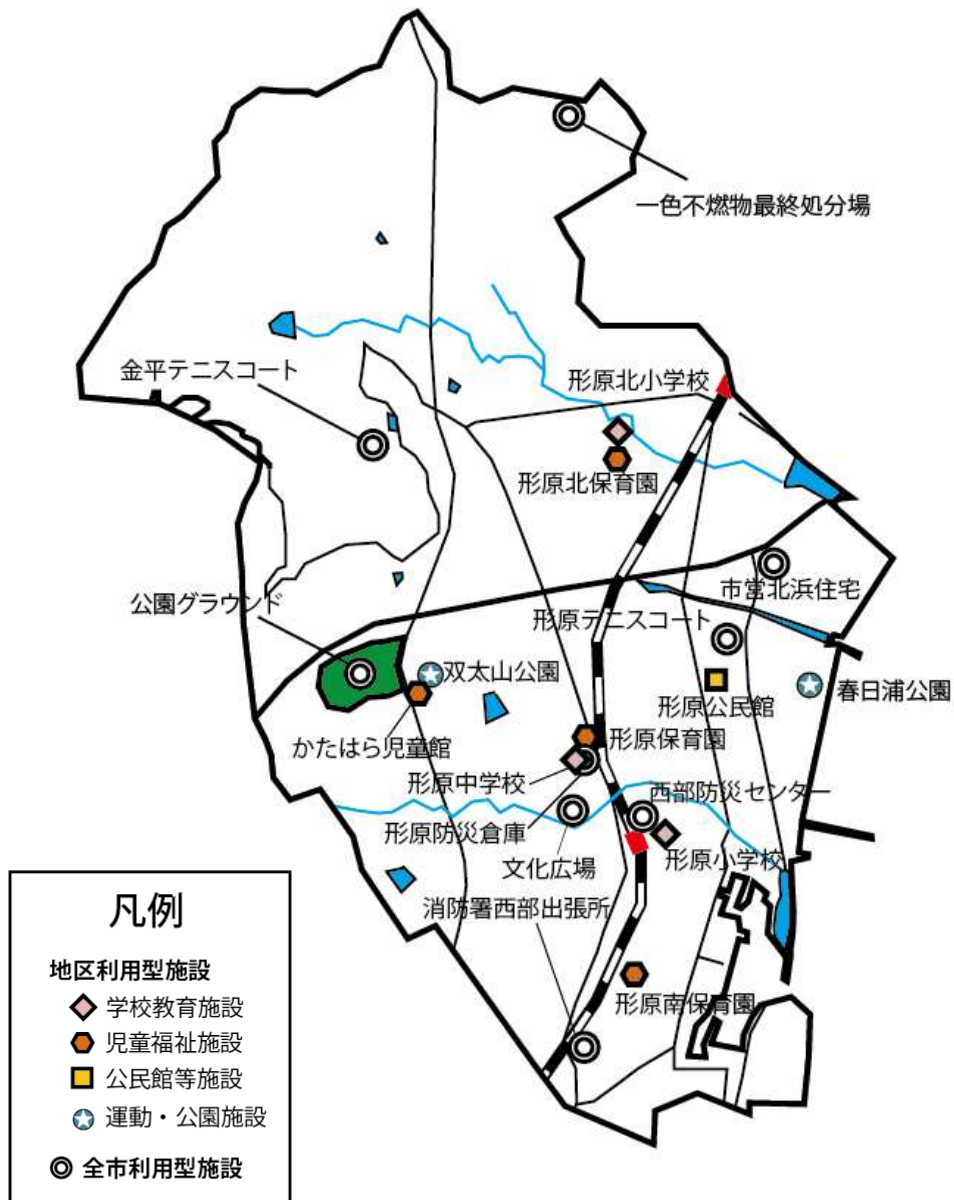
※平成27(2015)年のデータについては、実績値と目標値を併記しています。

出所：蒲郡市まち・ひと・しごと創生人口ビジョン、国勢調査

(3) 公共施設の配置状況

- ・ 合計 35,633 m²の公共施設が整備されており、地区内に比較的分散して施設が立地しています。

図 4-34 公共施設の配置状況（形原地区）



※小規模な施設は配置図に示しておりません。

(4) 老朽化状況・災害区域指定等状況

- ・地区利用型施設では、形原南保育園、形原北保育園、ひまわり児童遊び場の老朽化が進行しています。
- ・地区内の小学校、中学校、保育園、児童館はいずれも避難所に指定されています。
- ・全市利用型施設では、文化広場、金平テニスコート、一色不燃物最終処分場、市営北浜住宅、消防署西部出張所、西部防災センターの老朽化が進んでいます。

図 4-35 公共施設一覧（形原地区）

利用 種別	施設用途 (大分類)	施設用途 (中分類)	施設名称	延床 面積 (㎡)	建築 年度	老朽化 度	避難所指定			災害の危険区域等			
							指定	指定 緊急	地域	想定 震度	津波 浸水	高潮 浸水	土砂 災害
地区 利用型 施設	学校教育施設	小学校	形原小学校	6,261	S42	2.9	○	○		6弱	—	—	—
			形原北小学校	6,447	S41	2.7	○	○		6弱	—	—	—
		中学校	形原中学校	8,716	S40	2.7	○	○	○	6弱	—	—	—
	児童福祉施設	保育園	形原保育園	904	S45	2.8	○			6弱	—	—	—
			形原南保育園	1,201	S55	3.1	○			6強	—	—	—
			形原北保育園	921	S42	3.6	○			6弱	—	—	—
		児童館	かたはら児童館	349	H3	2.9			○	6弱	—	—	—
	公民館等施設	公民館	形原公民館	845	H21	1.2				6弱	—	～1.0	—
	運動・公園施設	公園	北浜公園	18	S54	対象外				6強	—	～2.0	—
			双太山公園	220	H1	2.5		○		6弱	—	—	—
			春日浦公園	78	H10	2.2				6強	—	～1.0	—
		児童遊園地等	下市児童遊園地	11	S42	対象外				6弱	—	～1.0	—
			金平児童遊園地	2	S49	対象外				6弱	—	—	—
			折坂児童遊園地	2	S56	対象外				6弱	—	—	—
			ひまわり児童遊び場	105	S42	3.0				6弱	—	～5.0	—
			鞍掛児童遊び場	2	S46	対象外				6弱	—	—	—
	スポーツ施設等	一色運動広場		6	S58	対象外				6弱	—	—	—
全市 利用型 施設	運動・公園施設	スポーツ施設等	公園グラウンド	2,046	S47	2.7				6弱	—	—	—
			文化広場	1,857	S58	3.3	○	○		6弱	—	—	—
			金平テニスコート	242	S62	3.5				6弱	—	—	警戒
			形原テニスコート	43	S53	対象外				6弱	～1.0	～5.0	—
	衛生施設	ごみ処理施設等	一色不燃物最終処分場	266	S57	4.1				6弱	—	—	—
	公営住宅施設	公営住宅	市営北浜住宅	3,423	S57	3.4				6弱	—	～1.0	—
	観光施設	観光施設	アジサイ園地駐車場	22	H1	対象外				6弱	—	—	警戒
		消防署	消防署西部出張所	305	S41	3.3				6強	—	—	—
			西部防災センター	1,041	S46	3.8				6弱	—	—	—
		消防・防災施設	形原防災倉庫	172	S57	2.6				6弱	—	—	—
			形原小大震災対策用器具格納庫	7	S55	対象外				6弱	—	—	—
			形原北小大震災対策用器具格納庫	7	S60	対象外				6弱	—	—	—
			形原中大震災対策用器具格納庫	7	H1	対象外				6弱	—	—	—
			形原4区大震災対策用器具格納庫	7	H10	対象外				6弱	—	—	—
			消防団8-1器具庫	22	S53	対象外				6弱	～0.3	～5.0	—
			消防団8-2器具庫	20	S48	対象外				6弱	—	—	—
			消防団8-3器具庫	58	S48	対象外				6弱	—	—	—

※データ掲載上の条件は 93 ページをご確認ください。

(5) 利用状況・コスト状況

- ・地区利用型施設では形原公民館で会議室等の貸出しを行っています。貸部屋等利用率は 35%程度となっています。
- ・全市利用型施設では 4 つのスポーツ施設等で施設の貸出しを行っています。公園グラウンド、金平テニスコートは貸部屋等利用率が 50%を超える一方、形原テニスコートの貸部屋等利用率は 15%程度となっています。
- ・地区利用型施設の市負担額の合計は約 3.9 億円で、地区人口 1 人あたりの市負担額は約 25.4 千円/人となっています。

図 4-36 部屋等の貸出しを行っている施設における利用率の把握（形原地区）

利用種別	施設用途（大分類）	施設用途（中分類）	施設名称	貸出箇所
地区利用型施設	公民館等施設	公民館	形原公民館	大ホール、中ホール、会議室 1、会議室 2、会議室 3、和室（西）、和室（東）
全市利用型施設	運動・公園施設	スポーツ施設等	公園グラウンド	陸上競技場、野球場
			文化広場	競技場 A、競技場 B、大会議室、小会議室、和室、作業場、多目的運動場、はなのき広場
			金平テニスコート	テニスコート（8 面）
			形原テニスコート	テニスコート（4 面）

利用種別	施設用途（大分類）	施設用途（中分類）	施設名称	貸部屋等利用率（%）	貸部屋等利用率（%）
地区利用型施設	公民館等施設	公民館	形原公民館	34.9	
全市利用型施設	運動・公園施設	スポーツ施設等	公園グラウンド	56.9	
			文化広場	26.0	
			金平テニスコート	52.5	
			形原テニスコート	14.5	

※貸部屋等利用率の値は 6 カ年度（平成 26（2014）～令和元（2019）年度）の平均値を掲載しています。
 ※公園グラウンド、金平テニスコート、形原テニスコートは、建築物等があるため掲載していますが、貸出しを行っている箇所はグラウンド等です。

図 4-37 公共施設の利用状況の把握（形原地区）

利用種別	施設用途（大分類）	施設用途（中分類）	施設名称	延床面積（㎡）	利用者数	平均園児・児童・生徒数（人）	平均入居率（%）	貸部屋等利用率（%）
地区利用型施設	学校教育施設	小学校	形原小学校	6,261	—	—	—	—
			形原北小学校	6,447	—	—	—	—
			形原中学校	8,716	—	—	—	—
	児童福祉施設	保育園	形原保育園	904	—	—	—	—
			形原南保育園	1,201	—	—	—	—
			形原北保育園	921	—	—	—	—
		児童館	かたはら児童館	349	21,090	73.2	0.210	—
	公民館等施設	公民館	形原公民館	845	26,315	90.2	0.107	34.9
	運動・公園施設	公園	北浜公園	18	—	—	—	—
			双太山公園	220	—	—	—	—
			春日浦公園	78	—	—	—	—
			下市児童遊園地	11	—	—	—	—
		児童遊園地等	金平児童遊園地	2	—	—	—	—
			折坂児童遊園地	2	—	—	—	—
			ひまわり児童遊び場	105	—	—	—	—
			鞍掛児童遊び場	2	—	—	—	—
全市利用型施設	運動・公園施設	スポーツ施設等	一色運動広場	6	—	—	—	—
			公園グラウンド	2,046	33,106	107.5	0.053	56.9
			文化広場	1,857	27,327	88.7	0.048	26.0
			金平テニスコート	242	16,657	48.2	0.199	52.5
	衛生施設	ごみ処理施設等	形原テニスコート	43	2,913	8.2	0.192	14.5
			一色不燃物最終処分場	266	—	—	—	—
			市営北浜住宅	3,423	—	—	—	95.1
			—	—	—	—	—	—
	観光施設	観光施設	アジサイ園地駐車場	22	—	—	—	—
			消防署	305	—	—	—	—
		消防・防災施設	西部防災センター	1,041	—	—	—	—
			形原防災倉庫	172	—	—	—	—
			形原小大震災対策用器具格納庫	7	—	—	—	—
			形原北小大震災対策用器具格納庫	7	—	—	—	—
			形原中大震災対策用器具格納庫	7	—	—	—	—
			形原 4 区大震災対策用器具格納庫	7	—	—	—	—
			消防団 8-1 器具庫	22	—	—	—	—
			消防団 8-2 器具庫	20	—	—	—	—
			消防団 8-3 器具庫	58	—	—	—	—

※利用状況の値は 6 カ年度（平成 26（2014）～令和元（2019）年度）の平均値を掲載しています。
 ※公園グラウンド、金平テニスコート、形原テニスコートの利用者数は、グラウンド等のデータです。

図 4-38 公共施設のコスト状況の把握（形原地区）

利用 種別	施設用途 (大分類)	施設用途 (中分類)	施設名称	延床 面積 (㎡)	市の支出				市の収入 (千円)	市負担額 (千円)	面積あたり 市負担額 (円/㎡)
					施設に 係るコスト (千円)	事業運営に 係るコスト (千円)	人に 係るコスト (千円)	指定 管理料 (千円)			
地区 利用型 施設	学校教育施設	小学校	形原小学校	6,261	35,053	9,274	2,700	0	90	46,938	7,497
			形原北小学校	6,447	31,220	9,566	2,700	0	90	43,396	6,731
		中学校	形原中学校	8,716	30,552	10,166	2,700	0	90	43,328	4,971
	児童福祉施設	保育園	形原保育園	904	6,691	20,023	65,967	0	15,316	77,365	85,599
			形原南保育園	1,201	5,590	21,176	79,867	0	15,397	91,236	75,985
			形原北保育園	921	4,126	14,921	44,933	0	15,196	48,785	52,946
		児童館	かたはら児童館	349	2,306	4,769	4,233	0	0	11,309	32,419
	公民館等施設	公民館	形原公民館	845	1,374	0	0	7,626	3	8,997	10,648
			北浜公園	18	0	0	0	4,442	0	4,442	253,838
	運動・公園施設	公園	双太山公園	220	0	0	0	6,663	0	6,663	30,306
			春日浦公園	78	0	0	0	3,808	0	3,808	48,516
			下市児童遊園地	11	150	0	0	0	0	150	13,779
		児童遊園地等	金平児童遊園地	2	597	0	0	0	0	597	257,328
			折坂児童遊園地	2	266	0	0	0	0	266	114,799
			ひまわり児童遊び場	105	204	0	0	0	0	204	1,938
			鞍掛児童遊び場	2	96	0	0	0	0	96	58,182
		スポーツ施設等	一色運動広場	6	2,084	0	0	0	0	2,084	347,306
全市 利用型 施設	運動・公園施設	スポーツ施設等	公園グラウンド	2,046	43,136	0	0	18,510	660	60,986	29,803
			文化広場	1,857	2,352	0	0	10,372	2,198	10,526	5,668
			金平テニスコート	242	7,317	0	0	1,826	539	8,604	35,513
			形原テニスコート	43	441	0	0	644	0	1,085	25,491
	衛生施設	ごみ処理施設等	一色不燃物最終処分場	266	24,507	1,737	11,050	0	10,081	27,213	102,305
	公営住宅施設	公営住宅	市営北浜住宅	3,423	7,834	0	1,738	0	13,923	-4,352	-1,271
	観光施設	観光施設	アジサイ園地駐車場	22	1,569	0	0	0	0	1,569	72,089
	消防・防災施設	消防署	消防署西部出張所	305	3,734	0	154,700	0	0	158,434	520,137
			西部防災センター	1,041	145	0	0	0	0	145	139
		消防資機材庫等	形原防災倉庫	172	0	0	0	0	0	0	0
			形原小大震災対策用器具格納庫	7	0	0	0	0	0	0	0
			形原北小大震災対策用器具格納庫	7	0	0	0	0	0	0	0
			形原中大震災対策用器具格納庫	7	0	0	0	0	0	0	0
			形原4区大震災対策用器具格納庫	7	0	0	0	0	0	0	0
			消防団8-1器具庫	22	5	0	0	0	0	5	231
			消防団8-2器具庫	20	4	0	0	0	0	4	177
			消防団8-3器具庫	58	47	0	0	0	0	47	799

※コスト状況の値は6ヵ年度（平成26（2014）～令和元（2019）年度）の平均値を掲載しています。

4-9 西浦地区の現状

(1) 地区の特色

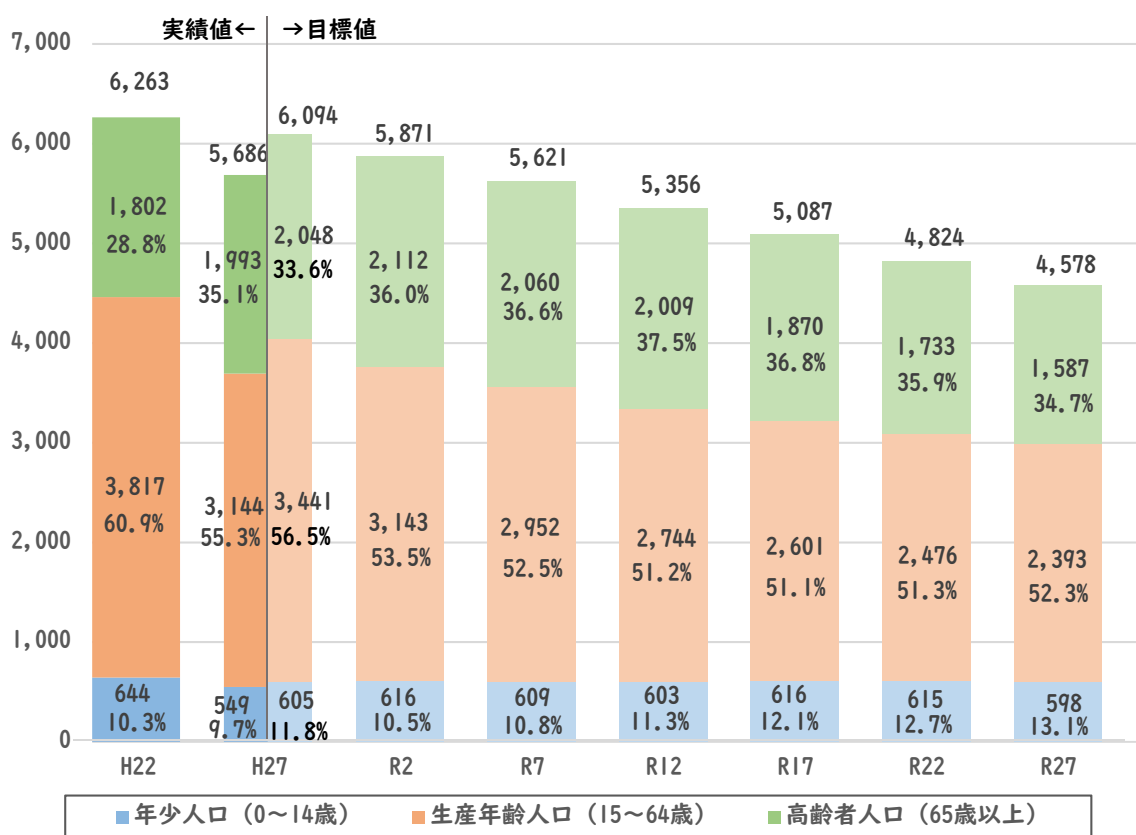
西浦地区は市南端部に位置し、地区北部の西浦駅を中心に市街地が広がっています。地区中西部には知柄漁港が立地するほか、地区南部は半島になっており、岬の先端部には西浦温泉があります。人口は 5,686 人と 7 地区の中で最も少なく、市全体の約 7.0%を占めています。

西浦温泉のある一帯は三河湾国定公園に指定されており、自然景観を活かした温泉保養地となっています。

(2) 目標人口の推移

- ・生産年齢人口は、平成 27 (2015) 年から令和 27 (2045) 年の間に、3,144 人(55.3%)から 2,393 人 (52.3%) まで減少する見込みになっています。
- ・高齢者人口は、令和 2 (2020) 年の 2,112 人 (36.0%) をピークに、令和 27 (2045) 年には 1,587 人 (34.7%) まで減少する見込みです。既に市全体の動向よりかなり早いペースで高齢化が進行しており、令和 2 (2020) 年以降は高齢者人口についても減少していくことが見込まれます。

図 4-39 目標人口（西浦地区）



※実績値は各年の国勢調査の結果（年齢不詳按分済）をもとに作成しています。

※目標値は蒲郡市まち・ひと・しごと創生人口ビジョン（平成 22 (2010) 年国勢調査をもとに平成 28 (2016) 年 3 月に策定）をもとに作成しています。

※平成 27 (2015) 年のデータについては、実績値と目標値を併記しています。

出所：蒲郡市まち・ひと・しごと創生人口ビジョン、国勢調査

(3) 公共施設の配置状況

- ・ 合計 28,978 m²の公共施設が整備されており、地区中心部に集中して施設が立地しています。

図 4-40 公共施設の配置状況（西浦地区）



※小規模な施設は配置図に示しておりません。

(4) 老朽化状況・災害区域指定等状況

- ・地区利用型施設では、西浦小学校、西浦中学校、西浦保育園、西浦公民館の老朽化が進行しています。
- ・西浦中学校の敷地には土砂災害特別警戒区域に指定されている部分があります。
- ・地区内の小学校、中学校、保育園、公民館はいずれも避難所に指定されています。
- ・全市利用型施設では、ユトリーナ蒲郡、クリーンセンター、西浦温泉レストハウス、西浦園地の老朽化が進行しています。

図 4-41 公共施設一覧（西浦地区）

利用種別	施設用途 (大分類)	施設用途 (中分類)	施設名称	延床面積 (㎡)	建築年度	老朽化度	避難所指定			災害の危険区域等			
							指定	指定 緊急	地域	想定 震度	津波 浸水	高潮 浸水	土砂 災害
地区利用型施設	学校教育施設	小学校	西浦小学校	6,242	S28	3.0	○	○		6強	—	—	警戒
		中学校	西浦中学校	7,004	S37	3.2	○	○		6強	—	—	特別
	児童福祉施設	保育園	西浦保育園	1,184	S57	3.1	○			6強	—	—	—
		児童館	にしうら児童館	491	H13	2.0				6強	—	—	—
	公民館等施設	公民館	西浦公民館	1,078	S51	3.1			○	6強	—	—	—
		児童遊園地等	橋田児童遊園地	2	S53	対象外				6強	—	—	—
全市利用型施設	運動・公園施設	スポーツ施設等	大知柄運動広場	11	S56	対象外				6強	～2.0	—	—
			南明柄グラウンド	20	S53	対象外				7	—	～1.0	警戒
	運動・公園施設	スポーツ施設等	西浦グラウンド	6	S54	対象外				6弱	—	—	—
			ユトリーナ蒲郡	1,977	H12	3.9				6弱	—	—	—
	保健・福祉施設	福祉センター等	クリーンセンター	7,139	H9	3.0				6弱	—	—	—
		ごみ処理施設等	リサイクルプラザ	3,265	H11	2.6				6弱	—	—	—
	観光施設	観光施設	西浦温泉レストハウス	140	S41	3.6				6強	—	—	警戒
			西浦園地	127	S44	3.8				6強	—	—	特別
			西浦温泉園地	76	S50	対象外				6強	～2.0	～5.0	警戒
	消防・防災施設	消防資機材庫等	西浦水防倉庫資材庫	9	H7	対象外				6強	～5.0	～0.3	—
			西浦水防倉庫	42	H25	対象外				6強	—	—	—
			西浦小大震災対策用器具格納庫	7	S56	対象外				6弱	—	—	—
			消防団 9-1 格納庫	136	H25	1.0				6強	—	—	—
			消防団 9-2 格納庫	20	S49	対象外				6強	～5.0	～0.3	—

※データ掲載上の条件は 93 ページをご確認ください。

(5) 利用状況・コスト状況

- ・地区利用型施設では西浦公民館で会議室等の貸出しを行っています。貸部屋等利用率は20%程度となっており、さらなる利用の促進が求められます。
- ・全市利用型施設では2つのグラウンドで施設の貸出しを行っています。南明柄グラウンドの貸部屋等利用率は20%程度となっています。
- ・地区利用型施設の市負担額の合計は約1.93億円で、地区人口1人あたりの市負担額は約33.9千円/人となっています。

図 4-42 部屋等の貸出しを行っている施設における利用率の把握（西浦地区）

利用種別	施設用途 (大分類)	施設用途 (中分類)	施設名称	貸出箇所
地区利用型施設	公民館等施設	公民館	西浦公民館	講堂、第1会議室、第2会議室、第1研修室、第2研修室、調理室、南館1階会議室（談話室）、南館2階会議室、南館図書室
全市利用型施設	運動・公園施設	スポーツ施設等	南明柄グラウンド	グラウンドA、グラウンドB、グラウンドC
			西浦グラウンド	グラウンド

利用種別	施設用途 (大分類)	施設用途 (中分類)	施設名称	貸部屋等 利用率 (%)	貸部屋等利用率 (%)
地区利用型施設	公民館等施設	公民館	西浦公民館	18.4	
全市利用型施設	運動・公園施設	スポーツ施設等	南明柄グラウンド	18.6	
			西浦グラウンド	46.5	

※貸部屋等利用率の値は6ヵ年度（平成26（2014）～令和元（2019）年度）の平均値を掲載しています。

※南明柄グラウンド、西浦グラウンドは、建築物等があるため掲載していますが、貸出しを行っている箇所はグラウンドです。

図 4-43 公共施設の利用状況の把握（西浦地区）

利用種別	施設用途 (大分類)	施設用途 (中分類)	施設名称	延床 面積 (㎡)	利用者数			平均園児・ 児童・生徒 数 (人)	平均 入居率 (%)	貸部屋等 利用率 (%)
					6年平均 (人)	1日あたり 平均 (人/日)	面積あたり 1日あたり平均 (人/㎡・日)			
地区利用型施設	学校教育施設	小学校	西浦小学校	6,242	—	—	—	235	—	—
		中学校	西浦中学校	7,004	—	—	—	108	—	—
	児童福祉施設	保育園	西浦保育園	1,184	—	—	—	95	—	—
		児童館	にしうら児童館	491	20,490	71.4	0.145	—	—	—
	公民館等施設	公民館	西浦公民館	1,078	36,884	129.9	0.121	—	—	18.4
	運動・公園施設	児童遊園地等	橋田児童遊園地	2	—	—	—	—	—	—
全市利用型施設	運動・公園施設	スポーツ施設等	南明柄グラウンド	20	13,382	37.6	1.863	—	—	18.6
			西浦グラウンド	6	2,654	17.3	2.698	—	—	46.5
	保健・福祉施設	福祉センター等	ユトリーナ蒲郡	1,977	38,153	127.1	0.064	—	—	—
	衛生施設	ごみ処理施設等	クリーンセンター	7,139	—	—	—	—	—	—
			リサイクルプラザ	3,265	—	—	—	—	—	—
	観光施設	観光施設	西浦温泉レストハウス	140	—	—	—	—	—	—
			西浦園地	127	—	—	—	—	—	—
			西浦温泉園地	76	15,120	243.9	5.790	—	—	—
	消防・防災施設	消防資機材庫等	西浦水防倉庫資材庫	9	—	—	—	—	—	—
			西浦水防倉庫	42	—	—	—	—	—	—
			西浦小大震災対策用器具格納庫	7	—	—	—	—	—	—
			消防団9-1格納庫	136	—	—	—	—	—	—
			消防団9-2格納庫	20	—	—	—	—	—	—

※利用状況の値は6ヵ年度（平成26（2014）～令和元（2019）年度）の平均値を掲載しています。

※南明柄グラウンド、西浦グラウンドの利用者数は、グラウンドのデータです。

※西浦温泉園地の利用者数は、海水浴場のデータです。

図 4-44 公共施設のコスト状況の把握（西浦地区）

利用 種別	施設用途 (大分類)	施設用途 (中分類)	施設名称	延床 面積 (㎡)	市の支出				市の収入 (千円)	市負担額 (千円)	面積あたり 市負担額 (円/㎡)
					施設に 係るコスト (千円)	事業運営に 係るコスト (千円)	人に 係るコスト (千円)	指定 管理料 (千円)			
地区 利用型 施設	学校教育施設	小学校	西浦小学校	6,242	33,815	8,165	2,700	0	90	44,589	7,143
		中学校	西浦中学校	7,004	30,349	8,487	2,700	0	90	41,446	5,917
	児童福祉施設	保育園	西浦保育園	1,184	8,531	20,289	72,833	0	17,046	84,608	71,433
		児童館	にしうら児童館	491	2,137	4,563	3,600	0	189	10,111	20,591
	公民館等施設	公民館	西浦公民館	1,078	2,858	0	0	7,405	67	10,196	9,457
		児童遊園地等	橋田児童遊園地	2	401	0	0	0	0	401	172,701
	運動・公園施設	スポーツ施設等	大知柄運動広場	11	1,712	0	0	0	0	1,712	151,490
			南明柄グラウンド	20	438	0	0	4,512	22	4,929	244,486
全市 利用型 施設	運動・公園施設	スポーツ施設等	西浦グラウンド	6	173	0	0	0	0	173	26,921
			ユトリーナ蒲郡	1,977	11,000	0	0	26,630	166	37,464	18,945
	保健・福祉施設	福祉センター等	クリーンセンター	7,139	365,000	302,234	59,033	0	185,501	540,766	75,753
		ごみ処理施設等	リサイクルプラザ	3,265	92,200	152,627	45,615	0	0	290,442	88,960
	観光施設	観光施設	西浦温泉レストハウス	140	249	0	0	0	0	249	1,784
			西浦園地	127	3,724	0	0	0	5	3,719	29,273
			西浦温泉園地	76	5,013	0	0	0	0	5,013	66,301
	消防・防災施設	消防資機材庫等	西浦水防倉庫資材庫	9	0	0	0	0	0	0	0
			西浦水防倉庫	42	0	0	0	0	0	0	0
			西浦小大震災対策用器具格納庫	7	0	0	0	0	0	0	0
			消防団 9-1 格納庫	136	89	0	0	0	0	89	652
			消防団 9-2 格納庫	20	5	0	0	0	0	5	227

※コスト状況の値は 6 ヲ年度（平成 26（2014）～令和元（2019）年度）の平均値を掲載しています。

令和２年度 蒲郡市公共施設白書

編集・発行 蒲郡市総務部公共施設マネジメント課

〒443-8601

愛知県蒲郡市旭町17番1号

TEL 0533-66-1111（代表）